

當ナル者有リ、例へバ難澁者ヲ憐ムノ情ハ救濟ノ事ヲ以テ其正當ノ消
費ノ條路ト爲スガ如シ。是故ニ若シ到底自己ノ力ニ於テ扶助シ得ベ
キニ非サル類ノ苦難ニ陷ル者ヲ目撃スルハ、恰モ正當ニ消費スルノ
路無キ感受性ノ衝動スルニ等シカルベク、其結果タル、智心及ヒ道德ノ
錯亂ヲ招クニ至ラントス。則チ斯クノ如キヲ有ルトキハ、情操ノ發作、
心身ノ上ニ反動シテ身軀若シクハ心意ノ衰弱ヲ來スヲ有リ、或ハ又全
ク正當ノ條路ニ違ヒタル條路ヲ經テ外ニ漏ル、ヲ有リ。例へバ得テ
救濟ス可キニ非サル汚穢鄙陋、赤貧ノ狀ヲ目撃スル、協合ノ如シ、激烈ナ
ル憐情ヲ發ストイヘ、之ヲ漏ラスノ條路無キガ爲メニ、狂亂ノ休裁ニ
出テ、暴動ノ間ニ消費スルヲ有リ、或ハ又此情操ヲ轉シテ肉慾ヲ逞フ
セソトスルノ條路ニ發セシメ、徒ニ事ヲ醉酩ニ托シテ慘狀ヲ忘レ心狀
ヲ易クセントスルニ致レリ。

サレバ教師ハ道德上ノ行爲ヲ獎勵セントスルニ當リ成ル可ク此ノ類
ノ場合ヲ避ケ、只タ正當ナル救濟ノ法ヲ經テ發情ヲ消散シ得セキ場合
ノミヲ選擇スル事ニ注意セザル可カラズ。即チ此目的ヲ達セシガ爲
メニハ、聞クニ忍ヒザル困窮、難澁、火災、難船、凍車ノ遭難、戰爭、飢饉等ノ故
細テ告クルヲ全ク避ケザル可カラズ。

善行ノ認識 善行ヲ認識スル事ニ關シテハ、二ツノ極端ノ避クベ
キ者アリ。其一ハ稱美過大ナル事是レナリ、稱美厚キニ失スルトキハ、
生徒他人ヲ救濟シ又ハ扶助シタル愛他ノ義舉ニ因テ生ズル満足ノ感
ヲ失ヒ、之ニ替フルニ行爲ノ徳ト稱美トヲ結合スル自足ノ情ヲ以テス
ルニ至ルノ弊アリ、而シテ稱美數回ニ及フハ、之ニ因テ己レニ感スル
快樂ニノミ留心スルヲ深ク成リテ、遂ニハ稱美ヲ得ント欲スルノ願望
ヲシテ行爲ノ徳ヲ研カントスルノ志念ヲ壓倒セシメントス。

之ニ反シテ若シ義舉アルヲ見ナガラ少シモ稱美ヲ加ヘザルトキハ、生徒其勉ムベキノ行爲ト然ラザル者トチ知ル所以ノ引指ヲ得ズ、又耐忍シテ善行ヲ勉メントスルノ獎勵ヲ得ザルベシ。經驗ニ依テ裁智既ニ十分ニ發育セシ大人ニ在リテハ、認識ノ有無ニ因テ本分ノ履行ニ影響スルヲ殆ト無シト雖モ、兒童ニ在リテハ認識ノ專之ヲ誘促シテ行爲ニ至ラシメ、之ヲ引指シテ爲ス當キ所ト爲ス當カラザル所トチ辨知セシムル所以ノ勢力ノ最モ有功ナル者ヲ爲スナリ。

斯クノ如キ認識ハ、顔色、音聲、褒詞ノ就レニ依リテナリトモ表示スルヲ得ベク、若シ時機事情其宜シキヲ得バ、深ク銘心シテ將來ニモ同様ノ行爲アラントスル勢烈ナル激因ヲ爲セリ。認識ヲ加フルニ於テハ必ス先ツ志念ヲ憶度セシテ緊要ナリ、志念ニシテ果シテ善良ナレバ、縱令其義舉ニ因テ一ノ善良ナル結果ヲダシ生セズモ、尙ホ且ツ稱美ヲ加ヘ

ザル可カラザルナリ。又義舉ニ因テ却テ惡シキ結果ヲ生スルコト有リタリト、只タ裁智ノ謬誤ヲ指示スルノミニ止マリテ、決シテ公然ト(又ハ隱然ト)非難ノ意ヲ表示スベキニ非ズ。又稱譽ヲ明告スルニ於テハ衆生徒ニ對シテ嚴密ニ公平ナランコトヲ要ス。輕忽ナル意癖若シクハ愛憎ヲ以テ稱美譴責ヲ加フルトキハ、爲メニ兒童ノ感受性ヲ刺傷シ、學校一般ノ德風ヲ破リ氣象ヲ害スルニ至ルベシ。

◎學校ノ管理 || 學校ニ於テ善良ナル秩序及ヒ善良ナル行狀ヲ確保センガ爲メニ用非ル一切ノ効力物ハ悉ク皆之ヲシテ道德上ノ教訓鍛鍊ノ方法ト爲スニ足ル者ナラシメザル可カラズ。學校管理法ノ全体ノ目的トスベキ所ノ點ハ各生徒ノ躬自ヲ督制スルノ能力ヲ發育セシメテ制馭シ難キノ情慾及ヒ願望ヲ正當ノ範圍内ニ閉塞セシメ、劣等

ナル性癖ヲシテ高尙ナル情緒ノ監督ニ順ハシメ、外ヨリ發スル誘促ニ依ラズ寧ロ内ヨリ自ラ發スル志念ノ結果トシテ善行ヲ修ムルニ至ラシムルニ在リ。其目的ハ徹頭徹尾道德ノ一ニ歸ス、而シテ苟モ嚴密ニ道德ノ事義ニ合ハザル一切ノ憶度ハ、皆此目的ヲ妨害シ、學校ノ德風ヲ破ル者トシテ排斥セザル可カラズ。

障礙ト成レル憶度 —— 往時ニ在テハ或ハ教師ハ威嚴ヲ保維スルヲ

必要トシ、或ハ規矩ノ貴尊ヲ辨明スルヲ必要トシ、或ハ秩序ノ爲メニ秩序ヲ主持セシムルヲ必要トシテ、之ガ爲メ大ニ精力ヲ徒費シタリ。然レモ若シ教師ト生徒トノ間ニ存スベキ關係ノ性質ヲ了解シ、管理法ニ關スル一切ノ計策ノ當否ハ全ク道德上ノ事理ニ照シテ裁決スルノ外無キ所以ヲ十分ニ理解スルトキハ、右ノ如キ憶度ハ皆忽チ消滅セシム。教師タル者一己一己ノ生徒ニ對シテ爲ス有ラントシ、或ハ學校ノ

全体ニ關スル計畫ヲ定メントスルニ際シテ、自ラ問フベキ所ノ者ハ、凡ソ他人ニ關係シテ爲ス有ラントスルニ際シテ道德上必ス問ハザル可カラザル所ノ者ト敢テ異ナルヲ無シ、即チ他無シ、此行ハ之ニ依テ影響ヲ蒙ムル人々ノ幸福若シクハ一般人ノ幸福ヲ資ケントスルヤ否ヤト云フ是レナリ。若シ肯定ヲ以テ此ノ問ニ答フルコトヲ得バ、則チ其行ハ正經ニシテ其結果有益ナリ、但シ預メ此行ノ繫ル所ヲ十分ニ領會シテ遺漏無カラントシテ要スルノミ。若シ否定ヲ以テ之ニ答フベキヲ見バ、其行ハ正經ニ非ズ、而シテ假令威嚴若シクハ規矩若シクハ秩序ノ之ヲ要スルアルモ、決シテ其レガ爲メニ正經ト成ルヲ無ク、又之ヲ實施スルノ經畫ヲ以テ正當ナリトスルヲ得サルベキナリ。

余輩ハ此序ニ言ハントス、若シ教師ニ於テ全ク其意志ヲ道德上ノ目的ニ留メ、眞實ニ生徒ノ幸福ヲ増進セシムルヲ願ヒ、且ツ教師タルノ地位及

ヒ處置ニ關係スル道德上ノ疑問ヲ解釋スルニ必要ナル智力ヲ有シ、平生此原理ヲ守テ須臾モ離レズ、一事一物ニ臨ム毎ニ、公正ト眞實トノ精神ヲ以テ取捨ヲ辨決セバ、自己ノ威嚴ハ求メズシテ備リ、規矩ハ求メズシテ明ニ、秩序ハ求メズシテ全キヲ得、殊サラニ意力ヲ用非テ此等ノ目的ヲ達セントスルノ要無キニ至ルベシト。

願フ可キ改革 〓 百折不撓ノ精神ヲ以テ一舉一止必ス善良ナル志念ニ出テシメ、苟モ善良ナル結果ニ非ザルヨリハ自ラ満足セザル道德上ノ觀念ヲ主法トシ、學校管理法ノ性質ニ關スル陳腐ノ觀念ト、教師タル者ハ格別ニ嚴重ナル地位ヲ占ムベシトスル舊弊ノ荒唐無稽ナル觀念トヲ削除スルトキハ、秩序ヲ保持スルノ方法ニ關スル從來ノ狂愚ナル想念消滅シ、勢力ノ主宰ニ易フルニ公道ノ主宰ヲ以テスルニ至ラントス。

最モ高尚ナル道德ノ標準ニ照シテ必要ナリトスル教師ノ資格ハ、第一ニ一事一行テシテ生徒ニ實益アル者ヲラシメントスル信實ノ願情、第二ニ依テ以テ方策ヲシテ目的ニ適合セシムルヲ得ル所以ノ關係ノ知識、第三ニ其從フ所ノ事業ノ爲メニハ身命モ忘ル、ノ熱心、第四ニ求メズシテ外ニ表ハレテ生徒ノ心服ヲ受タルニ適シタル性質ノ固有ノ威勢コレナリ。彼レ只タ自ラ親切心ヲ抱ケルノミニ非ズ、他ヲシテ親切ヲ感セシメザル可カラズ、只タ公正ニ處置スルノミナラズ、公正ヲ立テ、主トシ、其極メテ善美ナル、求メズシテ天下ノ服從ヲ博スルニ適セザラシメザル可カラズ。其交際ヤ禮節ニ合ヒテ自ラ生徒ノ禮讓ヲ盡ス所ト爲リ、其心情ヤ親切ニシテ自ラ生徒ノ親愛ヲ盡ス所ト爲リ、其處置ヤ公正ニシテ自ラ生徒ヲシテ公正ノ感ヲ以テ本原ノ念志ト爲サシメ、其行儀ヤ寬裕温順ニシテ自ラ生徒ヲ感化シテ尊貴和雅ヲラシメ、又

勸務ニ熱心シテ生徒ヲシテ熱心ヲ起サシメ、他ヲ愛シ、己ニ克チ、以テ來生ヲ天國ニ得ントスル貴尊ナル奮發勉強ヲ勸メサル可カラズ。
禁制 〓 不良ナル行狀ハ決シテ許容スベキニ非ズ、教師ハ之ヲ見ル毎ニ善ク其性質ヲ辨別シ、一々相當ノ方法ヲ以テ之ヲ處分セザル可カラズ。我意ニ任スルノ氣質ヲ見テハ活潑ナル義舉心ヲ獎勵シテ以テ之ヲ破ラザルヘカラズ、私欲ヲ見テハ他人ニ對スル交感心ヲ衝激シテ以テ之ヲ殺滅セサル可カラズ、無思想ノ習癖ヲ見テハ之ニ因ル過失ノ實罪ヲ剛強ニ要求シテ以テ之ヲ治療セザル可カラズ。且ツ不良ナル行狀ハ道德上ノ無智ニ因テ發スルノ多キヲ、猶ホ道德心ノ賤劣ナルニ因テ發スルノ多キガ如クナル所以ヲ領會シ、臆責刑罰ヨリモ寧ロ教育ヲ要スル場合ノ少ナカラザル事ヲ理會スベキナリ。騷擾、暴行、並ニ公然禮節ヲ破ル等ノ事ハ他ノ策ノ悉ク無効ナルヲ見レバ、身躰上ノ方策

ヲ編フテ用弁テナリトモ之ヲ禁制シ、機會ノ發スルヲ候テ道德上ノ方策ヲ施シテ道德上ノ能力ヲ振起セザル可カラズ。
間接ノ道德上感化力 〓 以上揭示シタル道德教育ノ實地施行法ハ主トシテ偶發ノ部ニ屬セリ。其要ヲ言ヘバ教師タル者生徒ノ身心ヲ圍繞スルニ道德上ノ心情ヲ振起養成スルニ適シタル感化力及ヒ効力物ヲ以テスヘシト云フニ在リ。然ルルトキハ生徒覺エズ知ラズ道德上ノ情感ヲ吸入シテ同化スベシ。即チ彼等ノ道德上ノ本性ヲ發育セシムルニ適當セル者ヲ數フレバ、第一ニ父母親友ノ撫育ニ因テ振起スル親愛、第二ニ他人ノ無私慾ノ行爲ヲ見テ爲ス摸擬、第三ニ難澁及ヒ不幸ニ會フ者ヲ目撃スルニ發スル交感、及ヒ第四ニ自身ヲ他人ノ地位ニ置クト想像シテ以テ行爲ノ結果ヲ益、十分ニ察知スルヲ得シムル所以ノ經驗コレナリ。在學ノ日ニ於テ實行シ得タル道德上ノ行爲ハ結

品シテ原理ト成リ、堅固ナル氣質ト成リテ、爾來特殊ノ場合ニ望ムゴトニ行狀ヲ制督シテ、道德ニ合セシムルノミナラズ、又遂ニハ性質ノ全体ニ浸透シ、道德上ノ行爲ヲシテ恰モ天性ノ如ク、不知不覺ノ際ニ發セシムルニ至ラントス。

怠慢ノ弊害 〓 右ニ云フ如キ間接ノ道德教育ヲ緩慢ニ附スルトキハ、最貴至尊ノ性質ヲ養生スルニ於テ、甚シキ妨害アリ。幼少ナル時ニ一旦我意、氣隨ノ常習ヲ生スルトキハ、生涯之ヲ十分ニ攘除スルコト殆ト至ク難キニ至ルヘシ。思想ノ將ニ開發セントシ、常習ノ尙ホ未ダ熟セザルニ當リテハ、心性ヲ左右スルコト容易ナリト雖モ、曲折已ニ出テ、活力流行ノ經路既ニ定マルトキハ、強勢ナル計策ヲ用非、爲メニ多量ノ能力ヲ徒費スルニ非ザルヨリハ、變改ヲ加ヘ難カルベシ。時期ノ上ヨリ言ヘバ、偶發^{即チ}ノ道德教育ヲ先ニシ、正式^{即チ}ノ道德教

育ヲ後ニシ、以テ道德ノ原理ヲ証明セントスルニ及テ、直接ニ意識及ヒ經驗ニ憑ヘテ、其破リ難キ所以ヲ確信セシムルノ材料トスルニ如カズ。思想及ヒ發動ノ自餘ノ衆部門ニ於テノ如ク、道德ノ修練ニ關シテモ、技術ハ必ず學說ノ前ニ出デザル可カラズ、則チ意識ノ將ニ開發セントスル幼年ニ於テ、知ラズ識ラズ發達シテ爾來實行シ來レル技術ヲ以テ直接ノ基礎トシテ、學說ノ開示スル所ノ哲學上ノ原理ヲ設定スルヲ以テ、正當ノ順序トス。

◎直接道德教育 〓 間接ノ教育法ニ依テ生シタル道德上ノ銘心ヲ補缺スルニ同シ、事目ニ關スル直接ノ學業ヲ以テセシメテ要ス。交感ヨリ發スルノ情緒ヲ漸次ヲ充實スルニ之ヲ誘起スル事情ト、正當ニ之ヲ費消スル所以ノ方法トニ關スル知識ヲ以テセザル可カラズ。道德

上ノ作爲ニ關スル感受性ヲ補修スルニ德行ノ普關理法ノ知識ヲ以テセザル可カラズ。道德ノ技術ノ局ヲ道德ノ學說ニ結ハザル可カラズ。今ヤ道理ヲ教授スル事ニ於テモ尙ホ他ノ諸學科ヲ教授スル事ニ關スル理法ト正ニ同一ノ理法ニ從フベキモノトス。先ツ第一ニ心意ヲシテ事實ヲ觀察シ、比較シ、分類スル事ニ熟練セシメ、然ル後ニ此等ノ事實ニ依テ推度スル事ヲ教授スベキナリ。此推度ハ漸次普遍抽象ニ進ミテ、遂ニハ道德ノ理法ノ最モ高大ナル者ヲ包抱スルニ至ラシムベシ。斯ク觀察ト經驗トニ由テ立テタル理法ハ以テ新シキ經驗ニ臨ムノ引指ト爲スヲ得ベキナリ。

格言及ヒ實行 凡ソ格言ハ心意ニ影響シテ道德上ノ性質ヲ振起スルヲ甚ク輕少ナル者ナリ。勸世文、道德上ノ規則、意見等ノ復誦、並ニ生徒ノ呼テ說法ト云フ所ノ者ハ殆ト全ク效能ヲ缺クト知ルベシ。格

言トシテ述ベタル眞理ハ、甚ク汎博ナルヲ常トスレバ、特殊具象ノ要求願望ニ臨ムハ全ク勢力ヲ失ヘリ。格言ニ依テ授ケントスル教訓ハ、各自ノ實驗ニ根據スル所無キ者ナルヲ以テ、心意ニ銘刊スルヲ甚ク淺薄ナリ。サリトテ之ヲ復誦スルハ只ク其弊ヲ重ヌルニ過ギズ。最初格言ノ字句ヲ聞クトキハ、多少ノ意味ヲ感セザルニ非ザルモ、日ヲ經レバ空々タル式目ト成リ、恰モ連續セザル音聲ヲ并ヘタルト一般、全ク意味ヲ失ヘリ。且ツ生徒ハ心ニ之ヲ了解スルノ才能未タ有ラザル時ヨリ式目ヲ貴重セヨト強ラル、テ見テ却テ言辭ノミニ留心シテ言辭ヲ以テ表示スル所ノ思想ヲ輕忽ニスルノ氣習ヲ生ズベシ、此氣習タル甚クシク道德並ニ知識ノ修長ヲ荼毒スル者ナリ。道德上ノ格言ヲシテ生徒ノ十分ニ了解スル所タラシメンガ爲メニハ、先ツ其格言ニ於テ指示スル所ノ格段ナル眞理ニ對スル道德上ノ感受性ヲ振起シ、且ツ

或ル現實ナル義舉ニ於テ此感受性ヲ發セシメザル可カラズ。
日常偶事ノ功用 前ニ陳述セシガ如ク、日常ノ偶事ハ以テ間接ノ
 教訓ノ用ニ供ス可キガ上ニ、又以テ直接ノ道德修業ノ料トモ爲ス可
 得ベキ者ナリ。或ル事件近隣ニ於テ出來シ、或ハ生徒ノ平素熱心修讀
 スル新聞紙ニ載録スルヲ見ルトキハ、教師之ヲ摘指シ、全級又ハ全校ノ
 生徒ヲシテ討議セシムベシ。此場合ニ關スル一切ノ事實ヲ網羅シ、相
 翻語スル言辭ノ如キハ成ル可ク調停ヲ試ミ、全体ヲシテ首尾連續セル
 一條ノ叙事タラシメテ、事實ノ關係ヲ詳ニセザル可カラズ。生徒ヲシ
 テ此作用ヲ贊ケシムベシ。斯クシテ生徒ノ交感心ヲ衝動シ、此事變ニ
 關與セシ諸人ノ種々ノ舉動ト其志念ナリト推察ス可キ所ノ者ト、此等
 ノ舉動ニ依テ諸人ニ及ボセル結果トヲ取テ裁斷ヲ下サシムベシ。此
 策ニ出ツルトキハ、生徒道德上ノ點ヨリシテ各自ノ舉動ヲ觀察スルノ

常習ヲ得、加フルコトニ由リ所得アルベシ、曰ク道德上ノ感覺ヲ醒起スル
 事、曰ク智力ヲ以テ正義ノ正義タル所以ヲ確認スル事、曰ク善業ヲ實行
 スルノ奮發心ヲ生ズル事是レナリ。
 又或ル時ハ學校ニ於テ起レル議論ヲ直チニ轉シテ以テ重大ナル道德
 上ノ推度ヲ爲サシムルノ機會トスルヲ得ベシ。即チ全校ノ生徒ヲ
 以テ裁斷ヲ組織シ証據ヲ舉ケテ判決ヲ下サシムルヲ得ベキナリ。
 茲ニ學校若シクハ近隣ニ於テ起レル事變ヲ以テ演習ノ資トスルニ於
 テ充分ニ注意セザル可カラザル者アルハ他無シ、成ル可ク偏頗若シク
 ハ怨恨ヲ生スルガ如キ事目、即チ校内ノ生徒ヲシテ黨ヲ分ケテ相互敵
 視セシムルニ至ルガ如キ事件ヲ避クヘキ事是レナリ。
文詞ノ功用 道德上ノ眞理ヲ解明セシガ爲メニハ、雜種ノ文詞上
 ノ拔萃ヲ以テ教科書ノ定規素讀ニ替フルヲ得ベシ。少シクモ心力ヲ

用キレバ諸家ノ著述中ヨリシテ殆ド各種ノ學校及ヒ特殊ノ場合ニ適
當シタル文章ヲ抜抄セシメテ容易ナルベシ。此等ノ演習ニ依テ得タル
教訓ノ價格ハ此等ヲ討論スルニ依テ感スル興味ノ深淺ニ比例スル者
ナリ。最モ高尚ナル意見ヲ述ヘタル文章ト雖モ、註釋又ハ評論ヲ加ヘ
ズシテ輕々ニ看過セバ殆ド何等ノ所得モ無カラズ、斯クノ如キハ恰モ
格言ヲ以テ道德ヲ教ヘントスルニ異ナラズ、思想ハ全ク中心ニ達セズ
シテ、只タ神經ノ反射作用ニ依リ言詞ヲ復誦スルノミニ止ルベシ。
此等ノ文詞上ノ拔萃ハ、直接ニ道德ノ教訓ト成レル外ニ又生徒ヲシテ
世界ノ最モ善良ナル著述ニ通曉シ、智力ノ範圍ヲ擴張シ、心意ニ充實ス
ルニ貴尊ナル思想及ヒ心像ヲ以テセシムルノ大功アリ。好尚モ亦自
ラ文雅ニ嚮ヒ、感覺及ヒ裁智ヲ導テ清淨高貴ナル者ヲ愛玩スルニ至ラ
シムベシ。

文詞ノ妄用 〓 凡ソ智力及ヒ道德ノ成長ヲ害スル者、臆劣ニシテ情
慾ニ奔ラントスル著作類ヨリ甚タレキハ無シ。此クノ如キ著作ニ耽
溺スルトキハ、心意若シ夢囈ナル安逸ニ沈マザレバ必ズ熱症ノ不安ニ
流レ、現實ニ在リ得ベカラザル事變ヲ喜ブノ念ヲ發シテ、到底人世通常
ノ事ノ次第ヲ追テ以テ満足セシメ難キ病性ノ顯情ヲ發セントス。此
類ノ文章ヲ好ムノ情ハ、恰モ有毒ナル贅肉ノ成長ノ如ク、遂ニハ活力ノ
總計ヲ併呑シ、凡ソ人ノ人タル所以ニ於テ貴重ス可キ者ヲ盡滅スベシ。
毫モ道德上ノ感情ヲ醒起スルコトハ無クテ、心意ヲシテ一切諸種ノ道德
上ノ制督ニ絶エザラシメ、遂ニハ全ク自制ノ能力ヲ滅却シ、一身ヲ以テ
輕浮情操ノ向フ所ニ順ハシム。此恐ル可キ結果ヲ豫防セシガ爲メ、
教師ハ絶エス奮勵シテ、人類思想ノ大家ト稱スルニ足ル諸士ノ著述ヲ
愛玩スルノ念ヲ養成セザル可カラズ。經驗ニ依テ之ヲ見ルニ、心意ノ

野鄙褻褻ナル事目ニ着セントスルヲ制止スル方法ノ有効ナル者ハ、反對ノ性質ヲ備ヘタル事目ヲ以テ之ニ裏充スルノ策ヲ措テ亦有ラザルナリ。

歴史ノ用 || 歴史ノ講究ハ、之ヲシテ直接ニ道德教育ニ關係アル者ヲラシムルヲ得ベシ。即チ歴史ニ見エタル種々ノ人物ノ行爲ヲ其境遇ノ事情及ヒ關係ニ對照シテ周密ニ稽查シ、一切ノ事情ヲ參考シテ以テ斯ル行爲アルニ至リシ所以ノ志念及ヒ其行爲ニ因テ社會ニ及ボシタル影響ヲ推度スベキナリ。又種々ノ人物ノ經歷ヲ其志念并ニ影響ニ關シテ對比較敵スベシ。人々ノ愛他若シクハ私利ノ性質ヨリシテ其國民若シクハ時世ニ及ボス所ノ結果ニ格段ノ注意ヲ施サ、ルヲ得ズ。先ツ一個々々ノ人物ヲ稽查シ、次ニ進テ國是政略ノ國民ノ福祉ニ及ボセル影響及ヒ國民一般ノ性質并ニ經歷ノ、文明ニ人世ニ及ボセ

ル結果ノ如何ニ論及スベシ。

又歴史ヲ授講スルノ際、其授講ノ法ヲシテ、國民ノ隆盛及ヒ國民ノ衰凋ノ、道徳上ノ原因ニ繫ル所多キ所以ヲ証明スルニ適セシモノヲ難キニ非ズ。即チ主義ノ得失ヲ論シ、一人一國ノ行狀ヨリ必然起ラザル無キ結果ヲ詳ニスベシ、又當今地球上ニ存在スル國民ノ自然ニ變遷シテ腕力ノ外ニ人ヲ制スル所以ノ者無カリシ時代ヨリ、漸次進歩シテ道徳上及ヒ智力上ノ勢力日ニ益、實効ヲ加ヘントスル文明ノ域ニ至レル次第ヲ説明スベシ。

具象例件

|| 凡ソ愛國ノ心ヲ獎勵スルノ効アル事ニシテ、我カ國民

ノ先祖亞米利加ニ開キタル人物ヲ今日ノ合ガ造化ト爭鬪シ、荒々タル原野ヲ轉シテ豐潤ナル農田ト爲シ、彼等ノ公正ノ權利ヲ奪ハントシタル政略ニ屈服セズシテ寧ロ數年ノ激烈ナル爭鬪ニ從事シタル比ノ艱難、辛勞、

自棄ノ博記ニ越ユル者ハ無シ。一國ノ自由ノ爲メニ憤戦スル英傑、一身ノ自由ノ爲メニ辛苦スル志士、良心ノ爲メニ艱難スル義人、及ヒ眞理ノ爲メニスル争闘勝利ハ、必スイツモ深烈ナル情感ヲ惹起シ、私利ヲ忘レテ眞理ノ爲メニ奔走スル事ヲ熱心賞賛スルノ念ヲ生セザル無シ。此クノ如キ人物事蹟ヲ以テ尙ホ幼少ナル兒童ノ心意ニ銘刊スルハ策ノ最モ得タル者ナリ。サル、フオリップ、シドニーノ負傷シテ死ニ垂タリシトキ、傍ニ伏セル兵士ノ終焉ニ臨ミ同氏ノ手ニ持テ一杯ノ水ヲ羨ムヲ見テ、彼レノ所須我レノ所須ヨリモ大ナリト言ヒツ、渴ヲ忍ヒテ杯ヲ讓リタルナドハ、雖レニマレ其傳ヲ讀ミ其書ヲ見ル者ノ心情ヲ高尚ニセズンバ非ザル道德上ノ一偉業ナリ。

歴史ノ講究ノ缺乏 〓 當時世上ニ於テ人ノ目シテ歴史ノ講究ナリト爲ス所ハ、道德上ノ點ヨリシテ殆ト何ノ價格モ無キ者多シ。歴史科

ニ於テ生徒ヲシテ本文ヲ如字的ニ暗記セシムルノ法ハ、直接ニ道德ノ進歩ニ反對スル結果ヲ生スベキヲ、猶ホ其智力ノ進歩ニ反對スル結果ヲ生スルカ如キモノナリ。徒ラニ意ヲ盲詞ノミニ注カシムルガ爲メニ、本旨ハ返テ第二段ニ置キ、或ハ全ク忽棄スルノ習慣ヲ生シ、道德ノ根據スル所タル關係ニ至リテハ更ニ意ヲ注クヲ無ク、終ニハ何事ニ就テモ關係ヲ輕視スルノ氣質ヲ生セントス。國民ノ年代記、戦争ノ細報、王統ノ變更等ハ之ヲ以テ高尚ナル眞理ヲ見得スル所以ノ事實ト爲シテ、コソ肝要ナレ、只マ其儘記憶セシムルノミニテハ、心意ノ發育ヲ助ケ、實地ノ儀範ヲ示シ、有徳ノ行狀ヲ勸ムルニ於テ更ニ所得無キ者ナリ。購求ノ法ニシテ單ニ歴史ノ事實ニ通曉スルノミテ以テ足レリトシ、事實ノ間ニ見ル可キ關係及ヒ旨趣ヲ憶度セントセザル者ノ如キハ、歴史ヲシテ最大價格アラシムル所以ノ元素ヲ悉ク缺キ、苟モ明智ニ合ヘル數

育ノ体系ニ於テハ實行スルニ足ラザル者ナリ。

道德理學——科級稍上進スルニ及テハ、實驗ト道德ノ因物的ノ講究

トニ依テ得タル歸納論及ヒ推度論ヲ結括シ、以テ道德ノ理學ト爲レテ
 循心的ニ之ヲ教示スベシ。此章ノ初部ニ掲載シタルガ如キ道德ノ原
 理ヲ周密ニ論辯シテ實例ヲ示スベシ。道德上ノ行爲ノ制限及ヒ道德
 上ノ本分ノ範圍ヲ嚴密ニ確定セザル可カラズ。生徒ヲシテ所須、權利、
 本分ノ結果及ヒ其相系屬スル次第ヲ了解セシメザル可カラズ。生徒
 ヲシテ道德上ノ裁斷ノ標準ニ熟通セシメ、以テ日常行爲ノ間ニ之ヲ使
 用スル、恰モ心意ノ一種ノ習性ノ如キアラシメザル可カラズ、且ツ一事
 一舉ト雖モ必ス先ツ其道德上ノ性質ヲ分解シテ後、始メテ之ヲ實行セ
 シムベシ。生徒ヲシテ慈善ノ思念ノ、苟モ人ノ人タル所以ノ性命ヲ完
 クセント欲セバ到底缺ク可カラザル元素ノ一タル事ヲ感知シ、他人ノ

幸福ヲ憶度スルノ缺ク可カラザルコト猶ホ自己ノ幸福ニ注意スルノ
 缺ク可カラザルガ如クナル所以ヲ見得シ、此世ニ人タルノ大目的ノ一
 ハ吾人ノ行爲ヲ修整シテ人類ノ幸福ヲ増進セントノ願望ヲ成ル可ク
 十分ニ充タスニ適當ナラシムルニ在ル事ヲ了解セシメザル可カラズ。
 人類ノ本分ニ關シテ此ニ言フ如キ見解ヲ取ルトキハ、人々ノ幸福ト公
 衆ノ幸福トヲ以テ一ニ致シ、其間ニ反對スルカ如キ者有リト見ユルハ
 畢竟人世ノ關係ニ就キテノ知識ノ未熟不完全ナルト、斯ク不完全ナル
 知識ニ依テ作爲スルトニ因テ出ツル者ナルコトヲ理會スルニ至ルハ
 シ。此見解ハ性命ト其應有ノ幸福トニ關スル關係ヲシテ廣濶尊大ヲ
 加ヘシム、又道德ノ基本ヲシテ直チニ人類ノ心性ニ根據スル者ヲラシ
 ヲ、道德上ノ理法ヲシテ新出ノ旨趣ヲ備ヘシム、委シク言ヘバ道德ノ規
 律ヲ以テ人類ノ外ニ存スル正權ヲ人類ノ間ニ迫行セントスルニ出ツ

ル者トセズ、本來人類ノ人類タル所以ノ一部ニシテ其幸福ニ必要ナル
 ガ上ニ又其存在ノ爲ノニスラモ缺ク可カラザル者トスルナリ。經驗
 チ廣ムルニ從ヒ、觀察上ノ事實ニ照シテ道德ノ規矩ニ順合スル事ノ欲
 我ニ利有ル所以明白チ加ヘ、遂ニハ智力ニ於テモ自ラ求メテ順合チ勉
 ムルニ如カスト悟了スルニ至ルヘキナリ。是ニ於テカ賢聖ノ格言並
 ニ彼ノ金律註前スニ如キモ新出ノ意味チ得、爾來之ヲ目シテ遵奉スベキ
 ノ命令ト爲サズシテ、注意スヘキノ要訣ト爲スニ至ルベシ。此等ノ格
 言、規律、吾人ノ願望チ抑壓シ自由チ減縮スル專斷ノ指揮トシテ發スル
 事止ミ、轉シテ性命チ完全ニシ一生涯隆渥ニスル所以ノ唯一ノ法策タ
 ル有益關係ノ修述タリ啓示タル者トシテ發スベシ。

◎社會ノ關係——就中道德上ノ行爲ノ引指トシテ有用ナル知識ハ

社會ノ關係ニ對スル者コレナリ。人類ノ幸福チ増大スル者ノ何タル
 チ知ラント欲セバ、必ス先ツ他人ニ涉與スル事物ニ就テハ如何ナル方
 向チ取ルベキヤチ決セザル可カラズ。志念ハ最モ潔白ナリト雖モ、豫
 メ此知識チ供ヘザレバ、重大ナル誤謬ニ陥リ易キ事チ以テ見レバ、社會
 學チ講究スルコト必須ノ一事ト做スナリ。教師此學ニ熟通スルルハ、生
 徒チシテ之ニ關スル事誼ニ熱心セシメ、コト亦難キニ非ザルベシ。蓋
 シ最初ニハ簡短ナル一般ノ演習チ毎周一回若シクハ二回ツ、命スル
 ニテ事足ルベシ。此等ノ演習ニ於テハ社會上ノ疑問チ明晰ニ指示シ、
 生徒チシテ成ル可ク十分ナル思想チ之ニ注カシムベシ、而シテ後教師
 自ラ親密ニ生徒ト共ニ討議シ、生徒チシテ自ラ道德ノ原理ニ照シテ裁
 決センコトチ勉強セシムベシ。
 此クノ如キ教育法チ施セバ得ル所ノ利益一ニシテ足ラズ。生徒ノ爲

ノニ口々ノ教場ノ課業ノ外ニ於テ思想ノ一新範圍ヲ開發シ、推理力ヲ誘促シテ社會ノ道德ニ關スル一切ノ關係ヲ觀察シ、各種ノ事實ヲ以テ一々其處ニ置キ、裁斷力ヲ教練シテ十分確定セル原理ニ從ヒ裁決ヲ下ス。トテ得セシメ、本分ノ標準ニ照シテ一切ノ行爲ヲ可否シ、道德ノ見解ニ訴ヘテ一切ノ疑問ヲ憶度スルノ必須ニ於テ道德ノ能力ヲ醒起スルニ至ルベシ。

家族 社會ノ表面ニ現ル、構造ハ煩雜ナリト雖モ、要スルニ皆親族ノ關係ニ根據セザルハ無シ。是故ニ愛ニ一條ノ疑問ヲ生ス、他無シ、夫タリ、婦タリ、父タリ、子タリ、兄タリ、弟タルノ本分ヲ如何ニ經理スルトキハ、家族一切ノ事件ニ關シテ精力ヲ浪費スル最モ僅少ニ、努力及ヒ撫育ノ配分最モ公平ニ、人々自由ノ制限最モ緩和ニ、各自權利ノ保護最モ周密ニ、相互相益セントスルノ願望最モ強大ニ、兒童ノ養育最モ懇切ニ、

剛毅尊重ナル性質ヲ發育セシムルノ機械最モ完全ナルヲ得ヘキヤト云フ是レナリ。道德ノ普關理法ハ此等ノ疑問ヲ十分ニ答釋スルノ關鍵ヲ呈セリ、然リ而シテ教師ノ務ムベキ所ハ、此理法ヲ分解シテ特殊ノ場合ニ適用スルノ路ヲ詳示シ、以テ其理法ノ精神ヲシテ生徒ノ心身ニ周透セシメ、道德ノ氣習ヲシテ深淵且ツ永久ナラシムルニ在リ。此序ニ云ハント欲スル者アルハ他無シ、此等ノ事ヲ綿密ニ討究スルハ古來東西ニ於テ道德家ノ子ヨリ親ニ對スル本分ヲ切論スルコト其當ヲ過キタルニ反シ、親ノ子ニ對スル本分ニ注意スルコト尙ホ未タ盡ササル所アルヲ發明スベキ事、是レナリ、其故他無シ、本分ヲ講スルノ書ハ親タル人ノ著作セシ所ナルヲ以テ、子ノ利ヲ保護スルコト未タ充分ナラザルニ因ルナリ。

一般社會 家族ニ尋テ攻究スベキ者ハ人世及ヒ社會一般ノ利害

コレナリ。其疑問ニ曰ク、吾人ト、同一社會ニ住ム吾人ノ同輩トノ間ニ存スル關係ハ何ゾ、而シテ此ノ關係アルノ故ニ吾人ノ上ニ生スル義務ハ何ゾ。吾人何ヲ以テ言論ヲ眞實ニシ、行爲ヲ正直ニシ、義務ヲ完了シ、契約ヲ履行スベキナリヤ。賣主ト買主トノ關係、傭主ト被傭者トノ關係、勞力者ト資本主トノ關係、等ニ繫ル疑問モ亦皆此部ニ屬ス。此等ノ事ニ關スル人類ノ道德ノ本性及ヒ知識發育スルトキハ、一方ニ於テハ資本主ノ非道ニ勞力者ヲ壓虐スルコト罷ミ、又一方ニ於テハ勞力者ノ凶惡ナル叛逆ヲ企テ、資本主ヲ苦シムルコトモ行ハレ難クナルベシ。其故他無シ、彼我ノ關係ヲ見得スルトキハ、各自ノ幸福ト衆人ノ幸福トノ間ニ親密相離レザル關係アル所以ヲ知り、公衆ノ善ヲ捨テ、獨リ一己ノ利ノミヲ計ルハ却テ世界一統ノ道德上ノ勢力ヲシテ我カ身ニ敵對セシメントスルニ外ナラザル所以ヲ悟ルベクレバナリ。

此事理ノ誇ル處ハ法律ノ圍籠トスル所ト合同セリ、而シテ法律ニシテ果シテ正義公道ト旨主チ一ニスル者ナラゾニハ、是レ只タ道德ノ異名タルニ外ナラザルナリ。其實法律ノ據テ立ツ所以ノ者ハ道德上ノ關係ニ於テ之ヲ命スルニ在リテ、法律ノ人世ヲ益スル所以ノ者ハ全ク道德上ノ原理ヲ統休スルガ故ナルノミ。

國政 政府ノ体面ヲ組成スル社會ノ編制モ、是レ亦人世ノ關係ノ一相ナリ、是ヲ以テ嚴密ニ道德ノ範圍ニ關屬セリ。人或ハ立法ノ一事ヲ以テ全ク道德ニ干渉スル所無キ者ナリト爲スト雖モ、余輩ノ所謂道德ナル者ノ定義ニ照シテ見ルトキハ、立法ハ道德ヲ措テ外ニ關與スル所無キ者ナルコト明白ナリ。政府ノ權力ニシテ正當ナラントスレバ、必ス被治者ノ同意ニ出ツベキ者ナルヲ以テ、人々ノ意志ヨリ出ツル所以ヨリ官ニハ則チ政府ノ本分ハ人々ノ本分ト符合セザル可カラズ、從テ

權利ヲ保護シ公益ヲ計ル事ヲ以テ其目的トスベキナル。今先ヅ政府ノ社會ニ對スル關係、國政ニ長タル者ノ權力本分、政府ノ行爲ノ制限、及ヒ制定律ニ應用シテ其確實ヲ辨明スル所以ノ標準等ノ知識ヲ有スルニ非ザレバ、此等ノ疑問ニ關シテ明智ニ合ヘル道德上ノ行爲アラソク難シ。公正ナル法律ヲ廢弛シ、必要ナル牽制ニ違反スルヨリ生スル者ハ無政府ナリ、是レ道德ノ反對ナリ、之ニ反シテ不正ナル典律ニ服従スルハ自由ヲ滅却シ、道德ノ發育ヲ障止ス。故ニ政府一切ノ事業ハ道德ノ標準ニ照シテ之ヲ裁決セザル可カラザルヤ明白ナリ。

實地ノ道德 〓 既ニ心意ニ充タスニ社會ノ關係ニ關スル知識ヲ以テスルコトヲ得タル上ハ、前ニ因物的ニ開示シタル道德ノ理法ヲ、今ハ個心的ニ適用シテ將來ノ行狀、新奇ノ經驗ニ當ルノ導指ト爲スコトヲ得ベシ。即チ格段ナル場合ニ於テ作爲スル所前ニハ試驗ノ体裁ニ出テレ

モ、今ハ熱慮ニ出テ、其結果ノ必ス有益ナルヲ十分ニ保證スベキナリ。遺德ノ理法ニ依倚スルノ安全ナル、猶ホ引力律ニ依倚スルノ安全ナルガゴトクナルヲ保證スルニ至ルチ期スベシ。

學校ニ於テノ應用 〓 學校ニ於テハ教師須ク道德ノ理法ヲ以テ廣ル可ク廣潤且ツ駁雜ナル日常數多ノ出來事ニ應用スルノ法ヲ示シ、以テ生徒ヲシテ其一切ノ行爲ノ道德上ノ關係ヲ稽查スルノ氣習ヲ生セシムベシ。身体及ヒ衣服ヲ清潔ニシ、教場ノ清淨及ヒ秩序ニ注意スル事ニハ如何ナル道德ノ原理ノ關係スルアリヤ。土足ノマ、ニテ教場若シクハ自宅ノ室内ニ入ル事、諸物ヲ其正當ノ場處ニ置ク事、亦ハ不注意ヨリ器具ヲ破壊スル事等ハ道德ニ稱ハザル所アリヤ。學校ノ秩序ヲ紊ル事ニ關シ、道德ノ命スル所ハ何ゾ、就學時間ニ遊ブ事ニ關スル者ハ何ゾ、不注意ニ關スル者ハ何ゾ、勉強ヲ怠ル事ニ係ル者ハ何ゾ、時間ヲ濫

費スル事ニ係ル者ハ何ゾ。又左ノ如キ疑問ヲ提出スルトキハ討論ノ
範圍ヲ一層擴張スルヲ得ベシ、曰ク

遊戲ハ必要ナリヤ、又道德ノ理法ニ順應スルヤ。踏舞、玉遊、刈板遊、及
ヒ其他ノ遊戲ハ如何。吾人ノ此等ノ遊戲ヲ好ミ若シクハ忌ムノ情
ノ幾分ハ教育ノ薰陶ノ結果ニシテ、幾分ハ道德上ノ思慮ニ係ル者ナ
リヤ。

抽闘博奕、及ヒ競馬ニ關シ道德ノ言フ所ハ何ゾ、酒類ヲ飲用スル事、及
ヒ之ヲ製造シ販賣スル事ニ關シテ言フ所ハ何ゾ、煙草ヲ飲ム事、商業
ニ於テ人ヲ欺ク事、贗造スル事、販賣スル物品ノ陋質ヲ隱匿スル事、等
ニ關シテ言フ所ハ何ゾ。

人々ノ自己ノ生計ヲ爲スノ義務アル所以ハ何ゾ。何故ニ人ハ他人
ノ所得ヲ蝕テ生活スルヲ不可トスルヤ。人何故ニ費用ヲ節約スベ

キニヤ。人ヲシテ勉勵シ將來ノ爲メニ備荒セシムルノ誘因ト爲
者ハ何ゾ。幼者及ヒ成丁ヨリ老者ニ對スル本分ハ何ゾ。

凡ソ此クノ如キ疑問ノ解答ハ、書物ニ就テ得ベキニ非ズ、又教師ノ臆斷
ヲ以テ妄リニ決スベキニモ非ズ。斯ル演習ノ有益ナルト否トハ、全ク
級生ヲシテ討論セシムルノ自由且ツ周密ナルト、生徒ヲシテ各一疑問
ニ關シ採集セシムル事實ノ十分ナルト、此ノ如キ事實ニ依テ立テタル
推度ノ正經ナルト、其推度ヲ叙述スルノ言辭ニ誤無キトニ依ル者トス、
之ヲ要スルニ、教師ノ事業ハ主トシテ指揮スルニ在ルベキヲ以テ、威權
ヲ振テ裁決ヲ下サントスルノ色ヲ避ケザル可カラズ、何トナレバ生徒
ヲ益スル所以ノ者ハ、決論ノ如何ニ在ルニ非ズシテ、寧ロ思想ヲ誘促ス
ルニ在ルナレバナリ。

道德教練ノ結果 || 家庭及ヒ學校ニ於テ斯クノ如キ教練ヲ施スノ

結果ハ第一ニ各自ノ生活ヲ隆渥、貴尊、高邁ニシ、正當ニ私利ヲ制督シテ
志念ヲ人類幸福ノ憶度ニ基據セシメ、人世ノ關係及ヒ義務ヲ示シ、有益
ナル事業ニ導クノ明智ヲ養成シ、室家ニ在テハ私慾ノ満足ヲシテ一般
ノ利益ノ下ニ位セシメ、社會ニ在テハ人類ノ權利ヲ欽崇シ、人類ヲ益ス
ルト否トテ以テ貴賤ノ分ル、所トシ、國家ニ在テハ其基礎ヲ人々ノ潔
白ニ開キ、其庇護ヲ最賤至弱者ニ及ボシ、衆人ノ發育ヲ最モ完全ニスル
ノ機會ヲ興シ、正義公道ヲシテ人々ノ天性ヨリ成リ立ツ、堅固ナル基礎
ニ根據セシメ、以テ大師^{基督}降來ノ時ノ豫言ヲ現成スルニ在リ、曰ク「地球
有^二平和^一、人界有^二慈心^一」ト

第十四章

一般之課程

◎緒言

教育事業ノ全体ヲ周密ニ稽查シ彰明スルノ便ヲ計リテ
茲ニ科級ヲ設ケ教育統系ノ全体ヲ十分ニ發展スルノ機會ヲ得タル學
校ニ於テ授クルタル編成シタル課程ノ全途ヲ揭示ス。全途ヲ四等科
ニ分ケ、各等科ニ三級ヲ置ク、乃チ平均十二年ニシテ全科級ヲ卒業スヘ
キモノトス。一學年ヲ等分シテ三學期トス、蓋シ此國普通ノ習慣ニ據
ルモノナリ。一學年ヲ分ケテ二學期或ハ四學期トスル學校ニ於テモ
若シ此課程ヲ採用セント欲スルトキハ、只タ各級ノ課業ノ細點ヲ變更

セノコトヲ要スルノミナレバ、教師容易ニ之ヲ計畫スルコトヲ得ヘシ。
此ニ叙列スル普通課程ノ詳細ヲ考査スルトキハ、科級ヲ立テザル學校
及ヒ地方ノ學校ニ於テ採用スヘキ課程ニ關シテモ、發明スル所アルベ
ク、且ツ無料級教育体系ノ顯著ナル缺典ヲ醫治センガ爲ニ用弁可キ方
法ニ關シテモ悟ル所アルベシ。

基本ノ原理 || 此課程ヲ編成スルニ於テハ、以上數章ニ詳論シタル
數條ノ原理ニ照シテ課目ヲ撰定シ且ツ叙列シタリ、即チ左ニ再録スル
所ノ如シ。

第一〇 || 教育ノ目的ニ二重ノ儀アル事、即チ一方ニ於テハ一切ノ器
能及ヒ能力ノ十分ノ發育ヲ計リ、一方ニ於テハ平生ノ實業及ヒ日々
ノ職務ヲ完クスルタメ最モ貴價アル知識ノ收得ヲ計ルベキ事。

第二〇 || 學校課業ノ各部ニ於テ精密ニ各能力ノ成長及ヒ其活動ノ

相互關係スル次第ニ應シテ心意一切ノ能力ヲ教練スベキ事。

第三〇 || 知覺上ノ諸能力ハ幼年ノ時最モ活潑ナル者ナル事、及ヒ知
覺上ノ知識ヲ以テ小學校一切ノ課業ノ基址ト爲スヘキ事。

第四〇 || 知覺上ノ諸能力ヲ發育セシムルタメ授クル**實物課業**ノ編
制ハ、之ニ依テ生徒ヲ導テ直チニ諸ノ理學ニ入ルノ門ニ達セシムル
ニ適シタル者ナルベキ事。

第五〇 || 各級ノ諸學科ヲ配合スルノ法ハ、其各科ヲシテ自餘諸科ヲ
補修セシメ、以テ一方ニ於テハ發育ヲ調和シ、又一方ニ於テハ印象ヲ
深淵ニスルニ適シタル者ナルベキ事。

第六〇 || 道徳力及ヒ斷定力即チ心意ノ反省的能力ヲ助クルニ最モ
善ク適シタル者ハ、知覺ヲ經テ得タル事實ヲ以テ成レル廣大ナル基
本ニ出ツル推度コレナル事、及ヒ知覺力ノ教練ノ益、擅大且ツ周到ナ

ルニ從ヒ、反省力ノ成績モ益々重要且ツ貴尊ナルベキ事。

第七〇 || 理學ヲ教授スル法ノ最モ宜シキヲ得タル者ハ、其發明ノ次第ヲ追ヒ、先ツ實物ヲ示シテ後ニ概括ニ涉リ、先ツ事實ヲ舉ケテ後ニ原理ニ進ムニ在ル事、及ヒ理學ヲ理解スルニ最モ善ク適當シタル順序ハ、人類ノ發育ヲ増進スルニモ無比ニ善ク適當シタル者ナル事。

第八〇 || 諸人日常ノ思想及ヒ職業ニ干涉スル所最モ深ク、且ツ一切尋常ノ事件ニ對スル行狀ヲ正クスルノ規律タルニ最モ善ク適當シタル諸學科ハ、又心意ノ鍛鍊ヲ催スタメニ最モ善ク適當シタル者ナル事、及ヒ之ヲ轉シテ最モ普通ノ語ヲ以テ言ヘハ、實用最モ少ナキ諸學科ハ心意鍛鍊ノ上ノ價格モ亦最モ少ナキ者ナル事。

第九〇 || 思想ノ諸部門ノ間ニ自然ニシテ動カシ難キ關係在テ存ス、是レ其相係屬スル次第ノ依テ定マル所タル事、及ヒ此係屬ノ次第ハ

是レ即チ諸科ノ授業ヲ學校ノ課程ニ編入セントスルニ當テ其時期ト方法トヲ定ムル所以ノ標準タル事。

第十〇 || 發育一般ノ爲メニ設クル學科ノ全途ハ、各生徒將來ノ事業即チ活動ノ範圍ノ何ヲラントスルニ關係セズ、衆生徒ニ對シテ同一ナルヘキ事、及ヒ職業上ノ目的ノ爲ニ學科ヲ變更スルハ高等ナル科級ニ至ルテ候テ施スヘキノ策ナル事。

第十一〇 || 各科級ノ學科ヲシテ其科級ニ屬スル生徒ノ發育ノ程度ニ精密ニ適合シ、之ヲ取捨變更セン事、最モ狹隘ナル制限ノ内ニ於テノ外ハ、大抵難キガ如キ者ナラシムル事。

第十二〇 || 各校ニ於テ習修セシムル學科ノ全体ハ、生徒ヲ導テ思想ノ各部門ニ至ラシムルノ介助タリ、且ツ終ニハ之ヲ誘テ各般ノ事業ニ達セシムルニ適當シタル者ナルベキ事。

◎一般ノ叙列法 || 此ニ左記ノ課程ヲ編成スルニ當リ遵奉スル所ノ叙列法ノ一般ヲ述フレバ、五ヶ條ノ學科ヲ以テ全途ニ貫徹セシメ、其中二ヶ條ハ本元ニ位シ、餘ノ三ヶ條ハ倍貳ニ屬スルモノトス。

本元ノ二ヶ條中ニ於テハ、外界ヲ教示スル「自然理學」ノ諸目ヲ以テ初頭ニ置ケリ、蓋シ此學ハ觀察ノ材料ヲ心意ニ給資シ、論理上ノ順序ニ關スル一切ノ觀念ノ由テ來タル所タル現象ノ繼起ノ次第ヲ示ス者ナレバナリ。次ニ人類及ヒ其事業ヲ討究スル「哲學」即チ「人文學」ノ諸目ヲ以テ第二ノ本元學科トシ、以テ「自然理學」ヲ補ハシム。蓋シ此學ハ一方ニ於テハ思想ノ材料ヲ給資シ、又一方ニ於テハ最モ高等ナル思想ヲ演習スルノ地タルニ最モ善ク適當シタル範圍ヲ開ク者ナレバナリ。

倍貳學科ノ三ヶ條ハ左ノ如シ。第一チ「語學」トス、即チ自然理學ノ諸目及ヒ哲學上ノ思想ヲ保存シ明述スルニ貴價アル者ナリ。第二チ「數度」

トス、即チ理學上ノ事物ヲ計量スルニ重價アル者ナリ。第三チ「好尙學」トス、即チ理學上ノ比例、均齊、調和ヲ明示スルニ起リテ、斯美ヲ鑑識スルニ終ル者ナリ。

自然理學總釋 || 自然理學ノ課目ハ人ヲシテ其境遇及ヒ境遇ニ應接シテ生存ヲ保存スル爲メニ遵奉セザル可カラザルノ要狀ニ通曉セシメ、人ニ給資スルニ各般ノ生産事業ノ基本ト爲ルメキ實用ノ知識ヲ以テスル者ナリ。

此等ノ理學ヲ考究スルノ材料ハ、人間至ル處トシテ存在セザルハ無シ、而シテ之ヲ攻究スルトキハ、觀察ヲ親切ニシ且ツ精密ニスルノ氣習ヲ養成シ、終ニハ何ニ依ラズ覺官ノ認識作用ノ能ク及フ所ニ存スル者ヲ取テ考究セザレバ措マザルニ至ラシム。此方向ニ於テ盡クスノ攻究ハ心意ヲ引テ實物ノ境界ヲ超越シテ其表示スル所ノ思想ニ到達セシ

ノ終ニハ現象ノ境界ヲ超越レテ之ヲ管理スル智力理法ニ性目スルニ至ラシムルノ効アリ。

理學ノ科 || 理學科ニ屬スル課目ヲ叙列スルニ當リテハ、憶度ス可

キ事ニケ條アリ、第一ハ諸課ノ繼續ノ次第ト、第二ハ其各一課中ノ諸目ノ繼續ノ次第ト是レナリ。

諸ノ理學ノ繼續スル次第ニ關シテハ金石學、植物學、及ヒ動物學コソ無機界及ヒ有機界ニ存在スル物体ヲ講明スル者ナルガ故ニ第一ニ修習セシコトヲ要スルモノナルヤ昭々タリ。此三課ノ前後ノ次第ハ、難易ノ差等如何ト、攻究ノ材料ヲ得ルノ便宜如何ト、生徒ノ心中ニ醒起シ得ヘキ歡喜ノ情ノ如何トヲ斟酌シテ之ヲ定ムベキモノトス。

物質ヲ物質トシテ講明スル此等ノ課業ノ次ニ置クベキハ、物質ノ全体ヲ管理スル勢力ヲ講明スル者、即チ物理學ト、物質ノ原子ヲ主宰スル勢

力ヲ講明スル者、即チ化學トナリ、而シテ最後ニ至テハ、以上ノ諸課ニ基ク概括ノ理ヲ開示スルニ課、即チ地質學ト星學トヲ授クヘキナリ。

地質學ノ如キモ、若シ之ヲ修ムルノ前ニ土石ノ結合ヲ明示スル所以ノ化學ト、古代ノ有機物ノ化石ト成テ土石中ニ留存スル所以ヲ解説スル植物學及ヒ動物學トノ知識アルニ非サリセバ、全ク理學上ノ價格ヲ有セザル臆想タルノ外無キナルベシ、又星學ノ如キモ、先ツ物理學ニ由來スル理法及ヒ原則ニ通曉スルニ非ザリセバ、只タ領會シ難キノ迷走ナルベキノミ。

初等科ノ諸級ニ於テハ、物体ノ資質モシクハ事實ノ最モ顯著ナル者ノミヲ教示シ、稍、上達スルニ及テ漸次精密ナル討究ヲ施シ、又一般ノ分類法ヲ教示スベシ。

夫レ諸ノ理學ノ相互關係スル次第ハ極メテ緻密ナル者ニシテ、甲ノ一

科ノ初步ハ乙ノ一科ノ稍、高尙ナル處ニ於テ討究スル爲メニ必要ナル者タルコト多クレバ、孰レノ一科ヲモ結了スルニ至ラザルノ前ニ、先ツ各科ノ初步ノ因物的課業ヲ授クルヲ得策トス。

上進セル科級ニ至リテハ、再ヒ各理學ノ次第ニ高尙ナル處ヲ授講シ、漸々討究ヲ細密ニシ、概括ヲ該兼ニス。

哲學即チ人文學總釋 〓 哲學即チ「人文學」ニ屬スル諸目ハ人類ノ、智カト道德トヲ備ヘタル有在タル所以ト、之ガ成蹟トヲ講明スル者ナリ。此學ハ注意ヲ外界ノ觀察ヨリ轉シテ心意ト心意ト所業トノ研究ニ著セシム、乃チ生徒ヲシテ心意ノ作用ニ熟通セシメ、之ヲ導テ開明ノ種々ノ程度ニ位スル社會ニ立テル人ト人トノ間ノ關係ヲ管理スル理法ヲ憶度スルニ至ラシムルノ効アリ。

哲學ノ科 〓 哲學科ニ屬スル課目ヲ叙列スルニ當リテモ、理學科ニ

於テ遵奉スル所ト同一ノ一般ノ順序ヲ遵奉スルモノナリ。即チ種種ノ課目ノ難易ノ差等ト相互係屬スル次第トニ準シテ之ヲ排列シ且ツ漸次科級ヲ進テ上進スル毎ニ各課目中ノ漸次高尙ナル處ヲ表示スルナリ。

地誌 〓 初等科ノ教場ニ於テ哲學ノ方ニ向テ取ラシムル第一歩ト做ス所ノ者ハ、庶物ノ課業ト、讀書ト是レナリ。場處ニ關スル課業ヨリ漸ク進ミテ地誌ニ入ル、地誌ハ一方ニ於テ「自然」ヲ講明シナガラ、又一方ニ於テハ人類ニ關スル事物ヲ講明スル者ナリ。其哲學ニ屬スル所以ニ就テ謂フトキハ、地誌ハ地球ノ居住者タル人類、人種、及ヒ人種ノ分別散布ノ事ヲ論スル者ナリ。即チ人類ヲ以テ有形勢力ノ發動ヲ被リ、又自ラ發動シテ有形界ノ状態ヲ變更スルノ効力アル實在トシテ憶度スル者ナリ、又其行爲ノ種々ノ範圍ニ於テスル人類ノ事業ヲ一般ニ叙述

スル者ナリ。
讀書ノ課業ハ漸次高等ニ上進スル者トス、乃チ生徒ヲ漸々誘導シテ終ニ文詞學ニ達セシメノヲ計ルモノナリ。

歷史 || 地誌ニ次テ合衆國ノ歷史ノ一目ヲ置キ、我カ本國ノ過去ニ關スル事實ヲ開示シ、我カ國民ノ現時ノ事情アルニ至リシ所以ノ原因ノ概略ヲ明示ス。此等ノ事ヨリ推度シテ、外界ノ事情及ヒ人類ノ行狀ノ國民ノ運命ヲ畫定スル事ノ上ニ於テ有スル効力ニ係ル普關理法ニ及フコトヲ得ヘシ。又此科ノ稍高尙ナル處ニ達スルニ及テハ、萬國史ヲ同様ニ授講シ、人類ノ思想及ヒ行爲ノ一層該博ナル範圍ヨリ推度シテ、同様ノ概括眞理ニ達セノヲ務ム。

文詞學 || 文詞學ヲ人類ノ歷史ノ一部タリ、人類ノ奮勵ノ一端タル者トシテ上等科ノ課目ニ加ヘ、因物的ニ授講ス、中學科ニ至ルニ及テハ

英吉利文詞學及ヒ萬國文詞學ノ一科ニ於テ其講明ヲ一層精密ニス。
國政 || 次ニ國政ノ一目ヲ置キ、人類ノ團結シテ社會ヲ結成シ邦國ヲ編制スル次第、斯ル編制ヲ管理スル社會ノ規律、及ヒ事情相同シカラサルニ從ヒ種々相異ナル政體ノ成長セシ次第ヲ講明ス。此一課ヲ攻究スルノ用ハ、明智以テ國士タルノ本分ヲ完クスルニ必要ナル特殊ノ知識ヲ得ルニ在リ。稍高尙ナル處ニ昇ルニ及テハ、道德學ヲ以テ之カ介助トス、又經濟學ノ科ニ於テモ同事ヲ詳説ス、而シテ歷史ト社會ノ狀態トヲ基礎トシテ、人類ノ幸福ヲ増進セントスル行爲ノ標準タルヘキ普關理法ヲ設定セントス。

心理哲學 || 此次ニ置クベキ一般ノ課目ハ心理學コレナリ、是レ注意ヲ思想ノ目的ノ上ヨリ傳シテ直チニ思想ノ本自及ヒ其健全ニ且ツ克壯ニ作爲スル所以ノ要狀ノ上ニ着セシムルモノナリ。此學ハ心意

ノ諸器能ヲ分解シテ各器能ノ本性及ヒ制限ヲ詳悉シ、思想ノ種々ノ條系ヲ殘ラズ搜索シテ正經ナル斷定ニ達スルノ方法ヲ明示シ、諸能力ノ發育ノ順序ヲ開陳シテ心意成長ノ各程度ニ必要ナル培養物ヲ敘述ス。此課ノ稍高尙ナル處ニ達スルニ及テハ、論理學ヲ授ケ、此ニ於テ再ヒ同事目ヲ憶度シテ歸納及ヒ演繹推理法ニ於ケル心意ノ特殊ノ作用ヲ明示ス。

道德哲學

—— 道德哲學ニ於テハ内省内心觀ノ課業ヲ敷衍シ、一己ノ心意ノ範圍ヲ出テ、其心意ノ他ノ心意ニ對シテ保持スル一切ノ關係ヲ包含セシム、此學ハ權利ノ所須ヨリ流出スル次第、本分ノ權利ヨリ流出スル所以ヲ詳示シ、又人類幸福ノ増進ヲ以テ一切行爲ノ德匪德及ヒ固有ノ價格ヲ判斷スルノ標準トスル所以ヲ詳示ス。

語學科總釋

—— 語學ハ理學及ヒ哲學ノ思想ヲ保存シ修述スル所以

ノ方便タル言語ヲ講明スル者ナリ。言語ハ思想ニ比スレバ下位ニ立ツト雖モ、亦到底思想ト離別シ難キ者ナリ、而シテ各科ノ知識ノ攻究ニ於テハ言語ノ研究ニ時間及ヒ注意ノ殆ト半分、若シクハ正シク半分ヲ要スベク、且ツ川井ベキモノトス。

語學ノ研究ニ於テ目的トスル所ハ、口說、作文ノ二法ニ於テ思想ノ修述ヲ細密且ツ容易ニスルニ在リ。斯ク語學ニ熟達シ、構成其宜シキヲ得タル句節ニ排列シタル最良言語ヲ以テ各般ノ思想ヲ修述スルヲ得ルハ、人類ノ能力ノ尤モ重大ナル要素ノ一タルノミナラズ、又以テ知識ノ淺深ヲ精密ニ檢討スルニ足ルモノナリ。

口說、作文ノ孰レニ於テモ、言語ノ用方ノ精巧ハ、先ツ修述セント欲スル所ノ思想ヲ明晰ニ理解シ、且ツ常ニ最モ有効ナル方法ニ於テ之ヲ修述セント勉ムル事ヲ專一トスルノ教練ニ依テ得ベキモノナリ。各科ノ

課業及ヒ學校各般ノ演習ハ、必ス皆生徒ノ言語ヲ利用スルノ能力ヲ助クルニ適シタル者ナラシメザル可カラズ。教師ノ事業ハ生徒ヲ誘導シテ言語ノ取捨及ヒ排列ヲ善長ニセシメ、且ツ修述ノ未タ明晰ナラザル處ヲ摘指シテ改良ヲ勉メシムルニ在リ。言語ハ思想ヲ修述スルノ方策ナレバ、之ヲ教練スルノ法ハ、須ク實用ノ際ニ成ル可ク偶然ニ出ツベキニテ、本元ノ注意ハ修述セントスル思想ノ上ニ留着セシメザル可カラズ。言語ノ理學上ノ編制及ヒ沿革ヲ説クハ既ニ哲學ノ科中ニ屬スル事ナルヲ以テ高尙ナル科級ニ讓ル。語學ノ科 || 語學通途ノ叙列ヲシテ左ノ數目ヲ包括セシム、曰ク口説并ニ作文ニ於テノ言語ノ用方ノ日々演習及ヒ最モ精緻ナル熟練、曰ク讀方、綴字、及ヒ筆法ノ藝術上ノ巨細、曰ク言詞ノ分類、曰ク句節論ノ規則ニ包藏スル所ノ構綴ノ理法コレナリ。

口説ニ於テノ用方 || 口説ニ於テノ言語ノ用法ヲ小學科ニ於テ授クルニハ、第一ニ完備セル章句ヲ以テ答辨センコトヲ要スル問題ト、第二ニ口頭ノ名狀ヲ要スル課業ト、第三ニ教師演説シ生徒再説スル小話ト、第四ニ生徒ヲシテ演説セシムル新發ノ偶事トヲ以テス。生徒ノ詞林ヲ擴張スルノ法ハ、其心意ニ新奇ノ觀念ノ啓發スル有ル毎ニ、之ヲ修述スル所以ノ新詞ヲ教示シ、思想ト修述ト相俱ニ進歩セシムルニ在リ。此等ノ口説ノ演習ヲ數年繼續シ、漸次變轉シテ事目上ノ復誦ニ換ヘ、此体裁ヲ以テ學校課程ノ全体ニ貫徹セシム目上ノ復誦トハ特殊ノ事復誦ヲ云フ。教科書ノ言詞ヲ暗記シテ復誦セシムルノ法ハ、決シテ取ルベキニ非ズ。作文ニ於テノ用方 || 作文ニ於テノ言語ノ用法ハ、直チニ物体ヨリ得タル演習ニシテ、單ニ一個ノ事實ノミヲ完全ナル章句ニ叙述シタル

者ヲ授ルニ起リ、次ニ二個乃至三個以上ノ事實ヲ叙述シタル者ニ移リ、遂ニハ連續セル說話トシテ一團ノ名狀ヲ叙述シタル者ニ至ル。此等ノ名狀ニ次クニハ、偶事ノ叙紀、前日ノ課業ノ再説、及ヒ定規ノ學校課業ノ事目中ノ少ナクトモ一箇ヲ日々書寫セシムル事ヲ以テス。

高尙ナル等級ニ至ルニ及テハ、此等ノ書寫演習ニ供スルニ、博物學課ニ於テシタル新奇ノ討究ノ結果、書籍ノ講究ニ依テ得タル歴史并ニ哲學上ノ略説、及ヒ最後ニ至リテハ生徒ノ自ラ爲セシ考察思念ノ結果ヲ含蓄スル論文ヲ以テス。

特別ニ言語ノ習練ヲ目的トスル各種ノ課業ニ於テ採ルベキノ順序ハ、生徒ヲシテ第一ニ題目ニ關スル一切ノ事實ヲ採集シ、第二ニ此等ヲ論理ニ合ヘル順序ニ排列シ、第三ニ熟考シタル一條ノ說話トシテ此等ヲ修述セシムルニ在リ。

語學科ノ定規作文課業ノ題トスル專目ハ、須ク當時研究スル或ル學科ト親密ニ關係スル者、若シクハ後日ノ課業ノ爲メニ要用ナル者、若シクハ既ニ結了シタル研究ヲ整頓シ補成スルノ効アル者タルベシ。先ツ作文ノ準備トシテ教場ニ於テ此ノ如キ題ニ就キテ十分ニ討論セシメ以テ思想ノ叙列ノ整頓ヲ前ニシ、經紀整シテ修述スル事ヲ後ニスルノ原理ヲ實際ニ迫行スベシ。

此ノ如キ初學ノ事目ヲ題トシテ作文ノ演習ハ、後ニ至リ思想ヲ論理的ニ叙列スルノ引指ト爲リ、平生連續ヲ整サズ、順序ヲ修メズシテ表示スル思想ノ間ニ一定ノ關係ノ存在スル事ヲ証明シ、又哲理上ノ觀念伴生ノ作用ニ依テ此等ヲ一層永久ニ記憶ニ固着セシムルノ効アリ。

現時歴史ト云フ一題ヲ設ケ、生徒ヲシテ當時ニ於テ最モ深ク社會ニ影響スル疑問及ヒ事變ニ關シ明智アラシモノヲ討ル。即チ研究ヲ生

徒ノ郷里ノ近隣ヨリ起シテ州ニ及ヒ州ヨリ國民ニ及ヒ遂ニハ世界ノ諸大國ニ於テ國家ノ爲メニ重要ナリトスル一切ノ疑問ニ涉ラシム。中等科及ヒ上等科ノ諸級ニ涉リテハ人類ノ職業ノ主要ナル者ヲ以テ作文演習ノ基本トス。此研究ハ生徒ヲ誘ヒテ諸科ノ工業ノ細故ニ關スル知識ヲ得工業ノ分類法及ヒ其緊要ノ度ノ差等ヲ比較セシムルノ爲メニス。哲理上ノ要領ニ於テハ各科ノ工業ノ人類ノ所須及ヒ願望ヨリ發生セシ次第并ニ外部ノ事情ニ因テ大ニ各科特異ノ啓發ニ影響シタル次第ヲ詳示ス。尙ホ高尙ナル科級ニ於テ生徒既ニ理學ノ階梯及ヒ歴史ノ諸目ニ通曉シ且ツ多少心意ノ作用ニモ明達スルノ機會ヲ得タルノ後ハ更ニ論文ノ題ニ供スルニ建築、繪畫、彫刻、音樂詩歌等ヲ包括スル技術ノ原理ト沿革トヲ以テス。最後ニ至リテハ哲學及ヒ其沿革ト古代并ニ近世ノ種

々相異ナル哲學統系ノ特質トヲ攻究セシム。言語ノ藝術上ノ細故即チ讀方、綴字、花字用方及ヒ句讀ハ小學上等科ノ全体ニ涉リテ科級ヲ追ヒ漸々高尙ナル處ヲ授ク。
文法及ヒ修辭學 〓 言語ヲ理學トシテ攻究セシムル事ハ第九級ニ於テス即チ此時ニ至ルニ及テハ生徒既ニ文法ノ原理ヲ了解スルニ十分ナル智力發達ノ度ニ達シタルモノトスレバナリ。次ノ級ニ至リテハ修辭學ヲ授ケ最後ニ至リテ言語ノ解剖ヲ演習セシム。解剖ノ演習ニ於テハ生徒ヲシテ言詞ノ構成及ヒ國語ノ生長ニ關スル近世ノ原語學者ノ攻究ノ結果ニ通セシム。自國ノ言語ヲ編密ニ攻究スルハ之ニ依テ第一ニ英語ヲ組成スル種々ノ國語ニ由來スル語源ヲ知リ英語ハ元ト徹通者ナレハ斯ク云フ也第二ニ通例世人ガ外國語ヲ研究スルニ依テ得ヘキ者トスル所タル言語ノ用方ヲ精密ニスルノ

才能ヲ得、第三ニ實際ノ事業ニ於テ著シキ價格ヲ有シ、且ツ哲學ノ研究ヲ繼續スルニ於テ裨益渺ナカラザル言詞分解ノ能力ヲ得ベシ。此類ノ研究ハ以テ古典語ノ教育ノ十分ナル者ニ換フルニ足ラズトスルモ、尙ホ且ツ古典ノ攻究ノ爲メニ極メテ有益ナル準備ト爲リ、淺薄ナル古典ノ攻究ニ比スレバ實際ノ價直ハ却テ大ナルベシ。

數學總釋 〓 數學ノ諸目ハ、理學上ノ事物ヲ計量スル所以ノ者ナリ。之ヲ修ムレバ、分量上一切ノ關係ハ得テ知ル可キナリ。數學ノ者タル、元來具象理學ノ諸科ニ因由シ、從テ其諸科ニ從屬ストイヘル、尙ホ且ツ此等ノ理學ニ通曉センガ爲メニ缺ク可カラザル者タリ、故ニ學校事業ノ始ヨリ終ニ至ルマテ、常ニ數學ヲシテ理學ノ諸科ト正密ニ併行セシメザル可カラザルナリ。

數學ノ研究ヲシテ勤學ニ供ス可キ一切ノ時間ヲ專占セシメ、或ハ未タ

其根據スル所タル諸科理學、及ヒ之ヲ開示スルノ介助ヲ爲スニ因テ數學ヲシテ價格アラシムル者タル諸科理學ヲ修メザル前ニ、獨リ數學ノミ高尙ナル處ヲ授クルカ如キハ策ノ得タル者ニハ非ズ、

數學ノ科 〓 初等科ノ諸級ニ於テハ、始メ實物ニ依テ數ノ初步ヲ教ヘ、算術ノ原本ノ運算法ニ熟通スルニ至ルマデ數量ノ單純ナル結合ヲ十分ニ習修セシム。初等科ニ於テノ實地演習ハ主トシテ之ヲ既ニ研究ヲ卒ヘタル事目ニ屬スル者ニ採リ、或ハ又當時研究スル他ノ諸科ノ課業ヲ證明スルノ効アル者ヲラシム。

小學課程ノ全途ニ涉リテ、實例ヲ以テ媒介トシテ時々教授スル數學ノ理法ト同時ニ教授スル諸ノ具象理學ト常ニ相併行シ相照應セシムルノ主義ヲ成ル可ク充分ニ履行セザル可カラズ。

通常ノ實地算術ニ熟通スルニ因テ得ル所ノ算術ノ鍛鍊ハ、以テ算數ノ

事ニ關スル教育ノ爲ニ十分ナルモノト認メタリ、是ヲ以テ所謂高等算術ナル者ニ於テ往々開示スル算數ノ妙用ハ悉ク之ヲ省ク。數量ヲ實地ノ問題ニ應用スルノ業ニシテ、世ニ稱シテ智算ト謂フ所ニ屬スル推理作用ヲ包含スル者ハ、之ヲ上等科ノ最後ノ二期ニ讓ル、蓋シ此時ニ至レバ、生徒既ニ其智力ヲ過當ニ勞セズシテ斯ル事業ニ堪ユルニ十分ナル發育ノ度ニ達スルモノト爲スヲ以テナリ。此ノ如キ濫習ヲ初等科及ヒ中等科ニ置クノ慣例ハ有害ナリトス、蓋シ通例年齒尙ホ長スルノ後ニ非ザレバ斯ル使用ニ堪ユル成熟ノ度ニ達セズトスル器能ヲ強テ衝動スルガ上ニ、他ノ方向ニ使用セバ利得一層著大ナルヘキ光陰ヲ填塞シ、且ツ正當ナル時期ニ至ルヲ俟テ授クルニ比スレバ夥多ノ日月ヲ要スベケレハナリ。中學科ニ於テハ、代數、幾何、及ヒ三角術ノ本然ノ原理ヲ周密ニ學習セシ

メ、各一步ノ証佐トスルニ生徒ノ日々實驗スル所ト理學ノ成蹟トナ心中ニ連結セシムルニ適シタル實例ヲ以テス。幾何及ヒ代數ノ原理ヲ實地測量ニ、求積法ニ、重學ニ、星學ニ應用シテ、此等ノ理學ノ階梯ヲ彰明スルニ足ルノ効アツシム。

好尙學總釋

完備シテ哲理ニ合ヘル教育ノ体系ニ於テハ、嗜好ヲ

修練シテ斯美及ヒ其活用ヲ鑑識シ、以テ美ノ觀念ヲ現實形樣ニ現成シ來タルヲ得シムルノ重要ナル、智心器能ヲ修練シテ斯具ヲ鑑識セシメ、道德器能ヲ修練シテ斯善ヲ鑑識セシムルノ重大ナルニ讓ラザルモノトス。斯美ニ達スル事ハ、之ヲ以テ格段ナル方向ニ於テノ特殊ノ發育ナリトセンヨリモ、寧ロ萬般ノ事業ノ至局ナリトスベキニ似タリ。

好尙學ノ科

行儀ニ關スル好尙ノ修練ハ、一般ノ禮節、態度ノ從容

及ヒ音聲ノ閑雅ニ注意シ、野鄙粗暴ノ行狀ヲ制止シ、常ニ他人ノ身位ヲ

尊敬セントスルノ氣習ヲ養生スル事ヲ以テ主旨トス。
 又身躰及ヒ衣服ヲ清潔ニシ、衣服ノ体裁ヲ治メテ身躰ニ適合シ一般ノ
 功用ニ順應セシメノ事ニ注意シ、衣服ノ染色、身躰ノ裝飾ニ注意シ、歌場
 ノ器具ノ保護及ヒ排列ニ注意シ、吾人日々ノ豫樂ニ必要ナル物品ノ適
 合及ヒ調和ニ注意スルニ依リテモ好尚ノ修練ノ由テ入ル所ノ路ヲ得
 ベシ、此等ハ皆人力ノ能ク及フ所ノ者ナリ。花卉ヲ使用スル事、及ヒ其
 他之ニ類スル簡便ナル飾裝法ニシテ衆人ノ資力ノ能ク及フ所ニ在ル
 者ハ皆以テ有功ノ介助ト爲スベシ。

文詞學 純然タル文辭學上ノ各般ノ攻究ニ於テモ常ニ右ト同一
 ノ目的ヲ達スル事ヲ眼目トスヘシ。生徒ヲ導テ貴尊ナル思想及ヒ事
 業ノ美ヲ見得セシメ、詩歌及ヒ文章ノ大家カ筆力ヲ振テ此ノ如キ思想
 行爲ヲ修述シタル文詞ノ形樣ノ美ヲ鑑識セシムベキナリ。

書學 手ヲ教練シテ以テ意志ノ命ビテ忠實且ツ敏捷ニ履行セシ
 ムルノ一事ハ、教育ノ目的中ノ尤モ肝要ナル者ノ一ニ居レリ。此ニ取
 ル所ノ學校課程ニ於テハ習字及ヒ書學ノ演習ヲ以テ斯ク手ヲ鍛練ス
 ルノ方策ト爲スナリ。

習字ニ於テハ生徒ヲシテ各一字母ノ正密ナル形樣ト位置トニ熟通セ
 シメ、而シテ後俊速ニ且ツ讀下シ易ク書寫スルコトヲ得ル至ルニ足ル
 習練ヲ受ケシム。

書學ニ價格アル所以ノ者ハ、之ニ於テ第一ニ形樣ノ觀念ノ表示ヲ正密
 ニシ、第二ニ手并ニ眼ヲ教練シ、第三ニ技術ノ修業ノ高尙ナル處ヲ補成
 スルニ在リ。書學演習ノ叙列方ハ、同時ニ研究スル他ノ諸科ト契合セ
 シメ、以テ一方ニ於テハ書學ヲシテ理學ノ補助タラシメ、又一方ニ於テ
 ハ理學ヲシテ書學ノ補助タラシメ、計ル。

生徒ヲ導指シテ直接ニ實物ヲ臨慕セシメ、又近易ノ形様ヲ各様ニ結合セシメテ、工夫畫學ノ基本トスベシ。

又畫學ノ實際上ノ價格ヲモ憶度シ、其演習ヲシテ殆ト各般ノ理學并ニ工藝ニ跨涉セシメタリ。畫學ノ練習ニ依テ得ル鍛鍊ハ、各種ノ職業ニ於テ日々有用ナルコト、自餘一切ノ學校課業ニ依テ得ヘキ所ニ勝ルモノトス。教師ニ取リテハ、其生徒ニ教示センコトヲ要スヘキ大抵ノ課業ヲ彰明スルノ方策トシテ實ニ無比ノ價格アリ。

音樂 〓 唱歌ヲ以テ好尙修練ノ一課トシテ學校ノ各等科ニ於テ授ク可シ。初等科ニ於テ授クル唱歌演習ハ、第一ニ生徒ノ心性ヲ喜ハシ、第二ニ漸次音樂ノ嗜好ヲ修練シ、第三ニ相當ノ音樂ノ練習ヲ資助シ、第四ニ學校一般ノ調和ヲ進ムルニ適シタル旋律ヲ以テ成立スベシ。後ノ諸等科ニ於テモ、音樂ノ藝術ヲ繼續シ、且ツ純全ニ因物的ナル數條ノ

課業ヲ以テ音樂ノ理學調律、旋律、等ノ如キヲ云フヲ提出教示スヘシ。苟モ普通學校ノ教育ニシテ唱歌ノ藝術并ニ音樂ノ理學ノ階梯ヲ包含セザル者ハ、未タ以テ完全ト爲ス可カラザルナリ。

躰操 〓 躰操演習ノ躰ノ健康、智心ノ克壯ヲ增進スルニ於テ價格アルコトハ、夙ニ世ノ許ス所ナリ、然レドモ尙ホ是ノ上ニ好尙ノ修練ニ關シテモ最モ緊要ノ者タル所以ヲ知ラザル可カラザルナリ。演習ヲ取雜ニスルニ依テ筋骨ノ發育ヲ和諧シ、之ヲシテ直チニ意志ノ命令ニ應スルニ適當ナラシム。且ツ演習ノ性質ノ律度ニ稱ヘルニ因リテ運動ノ律度ヲ正シクス、是レ運動并ニ容儀ノ從容ヲ來タスニ於テ最モ缺ク可カラザル要素ノ一ナリ。

小學初等科

此ノ科ニ屬スル三級及ヒ中等科ニ屬スル一級ハ當今我邦ノ學制ニ於テ尋常科ト稱スル者ニ當ル

一般ノ說明 〓 初等科ヲ組成スル三級ノ課目ノ叙列法ハ左ノ如シ。

- 第一。〓 演習ハ悉ク因物法ニ出ツ、蓋シ知覺ノ諸能力ヲ教練シ、心意ニ蓄藏スルニ將來ノ爲メニ最モ須要ナル知識ヲ以テセンガ爲メナリ。
 - 第二。〓 成ル可ク生徒ヲシテ其研究スル所ノ物品ニ接觸セシムル事ヲ要用トス、蓋シ筋骨ノ教練ヲシテ知覺ヲ補助セシメ、印象ヲシテ一層深淵且ツ永久ナラシメンガ爲メナリ。
 - 第三。〓 演習ノ種類ヲシテ甚タ參差駁雜ナラシム、即チ間斷無ク注意ヲ醒起シ、純音ニ因テ疲倦ヲ生スル事ヲ避ケンガ爲メナリ。
- 各般ノ演習ヲ指揮スルニ當リ、教師須ク目的トスル所ヲ明白ニ畫定シ、

此目的ヲ達センガ爲メニ必要ナルベキ準備ハ預メ之ヲ爲スベシ。後ニ投クル所ヲシテ必ス前ニ授ケタル所ヨリモ一段進歩シタル者ナラシメザル可カラズ、若シ此點ニ於テ盡サバ、爾所アレバ、當日ノ課業ハ無効ニ歸シタルモノト謂フベシ。

素讀ノ演習ハ、端ヲ單語ニ開クノ法ヲ取ルモ、或ハ又句節ニ開クノ法ヲ取ルモ可ナリ。先ツ第一ニ觀念即チ言詞ノ所又ハ思想即チ句節ノ所ヲ開示シ、生徒喜テ之ヲ心ニ留ムルニ至ルヲ候テ、其觀念其思想ヲ表示スル所以ノ言詞句節ヲ授クルヲ善シトス。即チ生徒ノ注意ヲシテ主トシテ實有ノ知識ヲ爲セル者ノ上ニ著セシメ、オキ、其間偶、然、ニ求メズシテ字母ノ名稱及ヒ音訓ヲ習得セシメ、ソノ計ルヘキナリ。此演習ニ於テハ誦讀ニ供スル各一句節ヲシテ必ス生徒ノ十分理會スルニ堪ユル思想ヲ表示スル者ナラン、且ツ誦讀ノ法ヲシテ同一句節

チ口ニ言フトキト更ニ異ナルヲ無カラシム可キナリ。素讀ニ供スル言詞ヲ以テ恰モ一別立スルモノ、如クニシテ誦讀スルノ法ハ決シテ許ス可キニ非ズ。教師タル者善ク此事ニ注意セバ、則チ世人ノ往々目シテ學校教育ニ已ミ難キノ弊ナリトスル率長ニシテ自然ニ戻レル純音誦讀法ヲ防止スルヲ得ヘシ。

綴字課業ハ生徒ノ平生使用スル言詞ト、生徒ニ開示セントスル新觀念ヲ修述スルニ必要ナル新言詞ヲ以テ成リ立ツ者ナルベシ。

平生生徒ノ躬自ラ使用スル所ニ比スレバ遙ニ高尙ナル言詞ヲ學習セシムルハ策ノ得タル者ニ非ズ、何トナレバ若シ斯ク用非ル光陰ヲ他ノ方ニ用非タラソニハ其利益一層大ナルコト有ル可キガ上ニ、注意ヲ觀念ヨリ轉シテ言詞ノ上ニ著セシムルノ弊アリ、單ニ專斷記憶ノミニ想フルニ因テ把住力ヲ適當ニ勞スルノ恐アリ、全ク無用ニ属スル類ノ知

識ヲ以テ心意ニ充實スルノ患アリ、剩サヘ條理ニ合ヒタル方法ヲ以テ必須ノ綴字方ヲ習得スルノ路ニ於テ重大ナル障礙ヲ爲セバナリ。

初等科ニ於テハ之ニ属スル諸ノ學科ヲ左ノ數頃ニ分ツ、曰ク「自然學」曰ク「語學」曰ク「數學」曰ク「好尙學」コレナリ。「自然學科」ノ部ニ於テ研究セシムル所ハ、生徒ヲ導テ諸科ノ理學ニ人ヲシムルニ適シタル實物教育ノ、現實ニ聯絡スル者ナリ。哲學即チ人文學ヲ授クル爲メニハ別ニ課目ヲ立テズ、之ニ属スル者ハ悉ク理學ト語學トノ中ニ合併ス。

兒童ノ自發遊戲ヲ許シ且ツ獎勵スルノ外ニ、定規運動ノ一課ヲ設ケテ初等科ノ最初ヨリ之ヲ實施シ、其終尾ニ至ルマテ曾テ間斷無カラシムヘシ。此等ノ演習ハ或ハ音律ニ合ヒ、或ハ誦數ニ從ヒテ整齊ナル躰操上ノ運動ノ体裁ニ出テシムルヲ善シトス、然ルトキハ此業ヲシテ愉快ナル休憩ヲラシメ、之ニ因テ習學復誦ノ疲勞ヲ修補シ、銳氣ヲ回復スル

「ヲ」ヲ得ヘシ。此法ハ、娛樂ヲ與フルノ外ニ遊戯ヲ轉シテ筋骨ノ運用ヲ充分ニスルノ一助タリ、且ツ軀體ノ動止ヲシテ從容、易學ナラシムルノ効アリ、是ニ於テ一舉ニシテ身體ノ修練ト好尚ノ修練トノ二ヲ資助スルコトヲ得ヘシ。

各地ノ科級ヲ立テザル學校及ヒ科級ヲ立ツル學校ノ初等科ニ於テハ、必ス左ノ用具ヲ備フベシ、即チ讀書ニ用ヰル掛圖、建築ヲ摸スルニ用ヰル木片、級中ノ各生徒ニ一個ツ、ヲ貸與スベキ、「洋」「フ」「尺」「ト」「尺」及ヒ「ヤ」「ル」「ド」「歩」木尺、及ヒ堅牢ナル組紐ヲ以テ製シタル「ロ」「ッ」「ド」「尺」半「ラ」「フ」「テ」「ト」「ロ」「ッ」「ド」「ギ」「ル」「コ」「バ」「イ」「ン」「ト」「ク」「ウ」「オ」「ル」「ト」及ヒ「ベ」「ッ」「ク」「洋」共ニノ量機、并ニ此等トモニ用ヰル砂ヲ容レ置ク箱一個、天秤一個、并ニ「ア」「ボ」「シ」「ユ」「ボ」「ア」「量」「機」「ツ」「ロ」「イ」「量」金及ヒ「ア」「ボ」「シ」「カ」「リ」「一」「量」「機」ノ諸位ヲ示ス馬「フ」「シ」「イ」法數個、十二個ノ部分ヨリ成リ立ツ方尺一個（但シ各部ノ厚一寸）及ヒ幾何學上定規面形及ヒ

體形ノ離形ヲ容ル、ノ箱一個是レナリ。此等ハ皆體形及ヒ廣義ニ關スル限定ナル實地上ノ概念ヲ生徒ニ授クルニ必要ナル者トス。今斯ル裝置ヲ完備セントスルニ於テモ費ス所、十「弗」ヲ越エザルベシ、而モ此等ヲ使用スルニ因テ省約スルヲ得ヘキ、光陰ノ價格ハ幾倍スルヲ知ラザルナリ。

第一級

文部省令第八號ノ尋小學校第一級ニ當ル

第一學期即チ秋期

自然理學科

植物ノ課業——「葉」「即」チ形狀、構造、名稱。植物課業ニ於テハ教師先ツ葉ノ一般ノ形狀ヲ指示シ、而シテ後其主要ナル諸部分ヲ指示ス。此等

ノ部分ノ名稱ヲ教ヘ生徒ヲシテ此等ノ名稱ヲ他ノ葉ノ諸部分ニ應用セシム。次ニ葉ノ邊端及ヒ筋經ヲ指示スベシ。斯クテ葉ニ關スル種々ノ觀念漸次啓發スルニ從ヒ、生徒ヲ指揮シテ此等ノ觀念ノ實例トスルニ足ル標品ヲ採擇セシム、而シテ凡ソ尋常ノ葉ハ悉ク稽查シ名狀シ盡クシテ漏ス所無キニ至ルマデ此課業ヲ繼續スベシ。

動物ノ課業。|| 人體ノ諸部分即チ胴體、上肢兩腕、下肢雙脚、頭、頸、手、足、眼、耳、鼻等。手ト足トヲ比較ス。犬、猫ヲ取テ、兩者ノ諸部分ヲ比較ス。

場處ノ課業。|| 机上及ヒ室內ニ在ル諸物体ノ場處並ニ相對ノ位地例ハ何々ノ右、何々ノ前、又ハ横ナド云フヲ相對ノ位地ト曰フ也以上ヲ塗板ニ圖寫ス。

口說演習。|| 毎日一個ツ、近易ノ物体ヲ取テ稽查名狀シ、其部分名稱、數量ヲ開示ス。

語學科

讀法。|| 掛圖及ヒ塗板ヲ以テ言詞單及ヒ句節ヲ誦讀ス。

綴字。|| 其レト無ク偶然ニ字母我國ノ五音ハハ五十音ニ對ス又ノ名稱ヲ提出ス。

作文。|| 當日ノ課業ニ見エタル言詞ヲ悉ク石盤ニ楷書ス。

數學科

體形ノ課業。|| 平面、平面ノ種類、平面ノ區分、即チ表面、邊端、隅角。點。及ヒ線ト云フ名目ヲ開示シ、應用ス。

尺量ノ課業。|| 尺量ヲ表ス一般ノ名目ヲ開示ス、即チ大及ヒ小、長及ヒ短、廣及ヒ狹、厚及ヒ薄、深及ヒ淺、高及ヒ低。

數量ノ課業。|| 計數方、實物ヲ以テ十以下ノ數ヲ加算及ヒ減算ニ依テ結合ス。

好尚學科

書學。|| 工夫書學ニ着手シ、木片ヲ用テ之ヲ投ク、二線、三線、四線、五線ノ

結合。
唱歌。|| 日々出席ノ衆生徒ヲシテ唱歌ヲ演習セシム。音樂ハ兒童ヲシテ容易ニ記憶シ得テ吟唱スルヲ喜フニ至ラシムルニ適シタル簡單ナル旋律ニ合ヘル者ヲ起ルヲ教トイフ音ヨリ成リ立ツ者ヲ善シトス。隊伍進行ニ通用ス可キ種々ノ音調ヲ教ヘ、体操ノ演習ニ添ヘテ唱歌セシム。

第二學期即冬期

自然理學

動物ノ課業。|| 犬及ヒ猫ヲ温習ス。牛及ヒ馬ヲ名狀シ、比較ス。食草類及ヒ食肉類トイフ名目ヲ分別シ應用ス。
彩光ノ課業。|| 原色即チ青、黃、赤ヲ開示シ、應用ス。

場處ノ課業。|| 方角ヲ開示ス。左右、前後、上下。室ノ諸部分、即チ壁、天井、牀板。此等ノ部分ノ方角。方角ノ諸點、即チ東、西、南、北、東、西、東南、西、南、北。主點、及ヒ半主點トイフ名目ヲ教示シ、應用ス。

語學科

口授演習。|| 物体ノ名狀、即チ其諸部分及ヒ部分ノ數ノ名狀ヲ日々繼續ス。生徒ヲシテ連續セル說話トシテ名狀ノ要領ヲ述ヘシム。生徒ノ自由會話ヲ獎勵ス。
讀方。|| 掛圖及ヒ塗板ニ依テスル言詞及ヒ句節ノ誦讀ヲ繼續ス。第一讀本ニ着手ス。
綴字。|| 掛圖又ハ書物ニ依テ讀方ニ供セシ所ヲ模寫スルニ依テ綴字ヲ修メシム。始メテ新語ヲ提出シ、使用スルゴトニ必ス十分ニ之ヲ學習セシム。

作文〇〇 讀方ノ課業ニ見ユタル言語ヲ石盤ニ楷書セシム。

數學科

體形ノ課業〇〇 諸線即チ直線、曲線、縱線、橫線、斜線。諸角、即チ直角、尖角、

鈍角。

尺量ノ課業〇〇 尺量ヲ表示スル名目ヲ溫習ス。〔インチ尺及ヒフィート〕

尺ヲ提出シ、實用ス。生徒ヲシテ兩者相對ノ大小ヲ發見セシム〔即チ

シト尺ハ、インチ尺ノ十二倍ニ等

此課業ニ於テハ先ツ〔インチ尺〕ヲ級中各名ノ生徒ニ附與シ、教師生徒

ニ命シテ善ク熟視セシメタルノ後、之ヲ収メテ眼ノ及ハザル所ニ藏

置ス、サテ生徒ヲシテ豫メ備置スル紙線ノ中ヨリ長サ其尺ニ均シト

思フ分ヲ切り取ラシメ、サテ再ヒ前ノ尺ヲ持チ出タシテ之ト紙片ト

ヲ比較セシム。次ニ又生徒ヲシテ長サ其尺ニ等シト思フ線ヲ引カ

レムベシ、而シテ其線稍、精細ニ其尺ニ符合シ、其尺ノ長サノ觀念ノ稍、
限定ナル者ヲ得ルニ及テハ、則チ之ニ教フルニ、インチト云フ名稱ヲ
以スベシ。

又、インチ尺ヲ十二個合スレバ以テフィートノ觀念ヲ開示スルニ足ル

ベシ、然ル後フィートト云フ名稱ヲ教ヘテ各生徒ニ附與スルニ、フィート

尺ヲ以テスベシ。之ト同一ノ次第ヲ追テ、ヤルド及ヒロツドノ觀念

ヲモ開示シテ其名稱ヲ授クルコトヲ得ヘシ。然ル上ハ、全級ノ生徒

ニ附與スルニ、ヤルド尺及ヒロツド尺ヲ以テシ、之ヲ以テ教場ノ内外

ニ在ル品物ヲ實地ニ尺量スルノ業ニ熟練セシムベシ。

數量ノ課業〇〇 十以下ノ數ヲ乘法及ヒ除法ヲ以テ結合スルヲ實物

ニ依テ教フ。

好尚學科

畜學〇 〓 工夫書學ヲ繼續ス、十個以下ノ線ノ結合。十個以下ノ線ヲ應用シテ近易ノ物体ノ輪廓ヲ圖スルヲ教フ。
唱歌〇 〓 唱歌ノ日々演習ヲ繼續シ新奇ノ音調ヲ教フ。

第三學期即チ春期

自然理學科

植物ノ課業〇 〓 幹、枝、根、及ヒ皮ヲ稽查シ、名狀ス。相異ナル種類ヲ比較シ分類ス。

動物ノ課業〇 〓 羊及ヒ其他ノ家畜ヲ名狀シ、前ノ二學期ニ於テ研究セタル動物ト比較ス。兔、灰鼠、及ヒ鼠ヲ稽查シ、比較ス。蠶、齒類ト云フ名目ヲ開示ス。

動物ノ課業ヲ教授スルノ作法ヲ言ヘバ、第一ニ現物ヲ以テ級生ニ示

スチ善トス。少シク注意ヲ用レバ、犬、猫ハ言フニ及バズ、或ハ兎ナドチ得ルサヘ難キニ非ザルベシ。若シ此動物ヲ教場ニ提出シ難キ場合アラバ、生徒ヲシテ其在リト知ル處ニ行キテ觀察ヲ遂ケシムベシ、又斯クノ如クスル事モ難キ場合ニハ、圖書ニ依ルベシ。例ヘバ牛馬等ノ如ク教場ニ提出シ難キ動物ニ關スル課業ヲ授クルトキハ、教師翌日生徒ニ應答セシムヘキ問題ヲ出ダシ、オキ、之ニ勸諭シテ觀察ヲ施シ、且ツ觀察シテ得タル所ヲ名狀スルヲ勉メシムヘシ。
場處ノ課業〇 〓 室ノ種々ノ部分ノ位地ヲ温習セシム。室内ニ在ル諸物体ノ場處及ヒ位地ヲ指示シ、教室及ヒ其内ニ在ル諸品物ノ圖ヲ塗板ニ畫ス。

語學科

口〇 說演習〇 〓 物体ノ名狀ヲ日々繼續ス。物体ノ諸部分ノ位地及ヒ動

用ヲ開示シ名狀ス。生徒ヲシテ其自ラ目撃セシ偶事ヲ話説セシム。

教師先ツ奇談ヲ陳述シ、生徒ヲシテ再述セシム。

讀方〓〓 第三讀本ノ續キ。發音ノ元素ヲ復習シ分類ス。

綴字〓〓 一切ノ新單語ヲ始メテ提出スルタビゴトニ稽査シ且ツ綴ラシム。

作文〓〓 石盤ニ言詞ヲ書寫スルヲ繼續ス。印刷文字楷書ニ代ヘテ

漸次筆書文字草書ヲ提出ス。始メ單一ノ事實ニ依リ次ニ數條ノ事

實ヲ結合シタル物体ノ名狀(即チ記述)ヲ書寫セシム。

數學科

体形ノ課業〓〓 平面ヲ復習ス。諸三角ヲ開示シ、構造シ、分類シ、命名ス、

即チ直角三角、尖角三角、鈍角。

尺量ノ課業〓〓 インチ尺及ピ、フット尺ヲ復習ス、又、ヤルド尺及ピ、ロツ

ト尺ヲ開示シ、實地課業ニ使用ス。此事ヲ辨理スルノ方法ハ前學期ノ課業ニ關シテ既ニ名狀シタル所ニ準フ。生徒躬自ラ此等ノ尺量ヲ用テ椅子、机、及ヒ其他ノ器財用具ノ長短并ニ教場ノ堅横ヲ計量スルヲ練習セシム。此課業ヲ現實ニ施行セバ、一方ニ於テハ愉快ナル事業ヲ爲シ、又一方ニ於テハ廣袤及ヒ遠近ノ觀念ヲ深ク心意ニ銘

刊シテ永ク消絶セザラシムベシ。

數量ノ課業〓〓 十以下ノ數ノ諸結合法ヲ温習ス。數字ノ用方。百以下ノ數ヲ列記ス。

好尚學科

書學〓〓 直線ヲ用テ工夫書學ヲ繼續ス。前學期ノ体形課業ニ於テ開

示シタル諸角ヲ温習シ、分類シ、以テ原本結合三角、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形、十角形ヲ製スルヲ如キ

フイノ基本ト爲ス。

唱歌ノ日々演習ヲ繼續ス。每期授業ヲ始ムルトキ先ツ唱歌ヲ授ケ其後トイヘル衆生徒懈倦シテ課業ニ留心スルヲ難ンズルノ色見ユル毎ニ唱歌ヲ授グルチ宜シトス。

第二級

文部省令第八號ノ尋常小學校第二級ニ當ル

第一學期即チ秋期

自然理學科

植物ノ課業ニ庭園菜草即チ其名稱形様功用。各種菜草ノ食物ニ供ス可キ部分例ヘバ大根及ヒ葱ノ根ノ如キ馬鈴薯等ノ藕ノ如キ芹菜及ヒ大黃等ノ莖ノ如キ莧菜ミツバダ及ヒ蕪菁等ノ葉ノ如キ漿菜等ノ菓實ノ如キ穀物等ノ種又ハ粒ノ如キ是レナリ。此一學期中ノ日々ノ演習ニ供フルニハ只タ庭園ニ生スル通常ノ菜草ヲ悉ク稽查ス

ルノミニテ事足レリ。現物ヲ目前ニ置クトキハ以テ生徒ノ歡喜ヲ促スノ効アルベシ。

動物ノ課業ニ鵝七面鳥鷺鴨及ヒ其他生徒ノ熟知スル鳥類。各類ヲ名狀シ自餘ノ鳥類ト比較ス。鳥ト哺乳動物トヲ比較シ類似點及ヒ差違點ヲ指示ス。

場處ノ課業ニ方角ノ演習ヲ繼續シ敷衍ス。現物ニツキ長短大小ヲ計量ス。配法ヲ定メテ四分五分ノ割合ノ觀念ヲ開示ス。一定ノ配法ヲ以テ教場ノ圖面ヲ塗板ニ畫ス。

語學科

口說演習ニ物体ノ名狀ヲ繼續シ特ニ其資質ヲ詳示ス。物体ヲ稽查シテ發見シタル觀念即チ發香、蓋香、柔軟、多竅、包緘、易碎、易枉、彈力等ヲ教示ス。此等ノ資質ノ名稱ヲ開示シ使用ス。奇談ヲ再說ス。偶事

ヲ撰否ス。教師音訓首詞ノ用方文章ノ構造ニ係ル誤錯ヲ指斥シ生徒之ヲ改正ス。

讀方〇 第二讀本ニ着手ス。一切ノ課業ニ於ケル誦讀ノ法ヲシテ快活ナラシメ且ツ發聲ヲシテ自然ナラシム。絶エズ生徒ノ注意ヲ制シ之ヲシテ言詞ノ自体ノ上ニ着セズシテ寧ロ其表示スル所ノ思想ノ上ニ着セシムメシ。夫ノ純音無靈ナル機械的誦讀方ハ決シテ許容ス可キニ非ズ。

綴字〇 新出ノ言詞ヲ一々綴ラシムルヲ從前ノ如クス。教師注意シテ初發ヨリ誤錯無キ綴字方ヲ模倣セシメ決シテ生徒ヲシテ謬妄ナル綴字ヲ目撃セシム可キニ非ズ若シ一度之ヲ目撃シテ腦髓ニ銘刊スルトキハ後ニ排除スルヲ甚難キモノナリ。

作文〇 前ニ口説シタル簡單ナル物体ノ名狀ヲ完全ニ記述セシム。

第一學年中ハ生徒ヲシテ印版文字ヲ臨摹セシムルヲ善シトス即チ其形樣ヲ心中ニ銘刊スルヲシテ一層速迅ナラシメソガ爲メナリ。同年末期ニ至ルニ及テハ掛圖ヲ用弁或ハ塗板ノ上ニ書シテ羅馬文字ト筆書文字トヲ併ヘ示スヘシ然スレバ生徒自然ニ筆書態ヲ採用スルヲ覺ユヘキナリ。第二學年ノ初ヨリハ筆書文字ノミヲ作文并ニ其他ノ用ニ供セシムヘシ。

數學科

体形ノ課業〇 諸直角形ヲ開示シ構造シ分類シ命名ス。并行方形不等邊併行方形不等邊方形ヲ開示ス。

尺量ノ課業〇 諸量斗即チギル量、ポイント量、クワ、ルト量、及ヒ、ガルロ、ン量ヲ提出シテ砂又ハ其他之ニ類スル物ヲ實地計量セシム。生徒ヲシテ諸量斗ノ相對ノ大小ヲ自ラ發見セシム。

數量ノ課業 || 五以下ノ數ノ加算表及ヒ減算表。百以下ノ十一法。

加標減標及ヒ均標ノ用法。常用ノ記數法ヲ十一位ヲ進ムル當今

好尚學科

書學 || 工夫書學ヲ繼續ス。三角形ヲ復習シテ新結合ノ基本トス。

線及ヒ三角形ヲ以テ近易ノ物体ノ輪廓ヲ表現ス。

唱歌 || 日々簡單ナル唱歌ヲ授クルヲ從前ノ如クス。躰操ニ合セテ

唱歌セシム。新シキ音調ヲ教フ。

第二學期則テ冬期

自然理學科

動物ノ課業 || 近易ノ諸動物ノ復習。圖畫ヲ以テ同課業ヲ繼續ス。

獅子、虎、象、シアラ、鹿、熊、猿ヲ教示ス。諸哺乳動物ノ普關分類法。生徒

ノ既ニ知ル所ノ動物ニ就テ自ラ目撃セン所ヲ以テ此分類法ノ基本

トスベシ。生徒既ニ觀察ヲ施シテ得タル猫ノ知識ト、圖畫ノ補助ト
アルトキハ、之ニ依テ獅子及ヒ虎ノ形模、大小、特質ヲ了解セシムルヲ
容易ナルベシ。

光彩ノ課業 || 原色ヲ復習ス。諸亞色即チ綠色、橙色、紫色ヲ開示シ、適

用ス。原色ヲ結合シテ亞色ヲ生スル次第ヲ説明ス。各校ニ於テ色

圖ヲ備置スベキノミナラズ、教師須ク水彩繪具ヲ講求シ、之ヲ以テ原

色ヲ混合シテ亞色ヲ生スルヲ實地ニ教示スヘシ。生徒ヲシテ躬

自ラ此事ヲ爲サシムベシ。

場處ノ課業 || 教場ノ周圍ニ位スル諸物ニ就テ場處及ヒ相對ノ位置

ヲ研究ス。戶外ニ於テ遠近ヲ測重シ、配法ヲ以テ塗板上ニ圖面ヲ製

語學科

口。說。演。習。|| 性。質。ニ。關。ス。ル。物。体。ノ。名。狀。ヲ。繼。續。ス。易。燃。性。易。鎔。性。可。着。火。性。透。明。透。光。不。透。明。等。ノ。性。質。ヲ。發。見。シ。適。用。セ。シ。ム。○
讀。方。|| 第。二。讀。本。ヲ。繼。續。ス。前。學。期。ニ。於。テ。注。意。シ。タ。ル。所。ト。同。一。ノ。諸。點。ニ。注。意。シ。殊。ニ。生。徒。ヲ。シ。テ。不。良。ナル。讀。方。ニ。陷。ラ。シ。メ。ザ。ル。事。ニ。深。ク。留。心。ス。ベ。シ。○

綴。字。|| 一。切。ノ。新。出。言。詞。ノ。綴。方。ヲ。學。バ。シ。ム。ル。ト。從。前。ノ。如。シ。○
作。文。|| 物。体。ノ。名。狀。ヲ。記。述。セ。シ。ム。ル。ト。繼。續。シ。敷。衍。ス。偶。事。ヲ。演。舌。シ。奇。話。ヲ。再。說。シ。テ。演。習。ノ。參。差。ヲ。計。ル。○

數 學 科

体。形。ノ。課。業。|| 諸。直。線。形。ノ。溫。習。分。類。命。名。多。角。形。ヲ。因。物。的。ニ。開。示。シ。分。類。シ。命。名。ス。幼。穉。圖。ノ。小。豆。課。業。ヲ。此。ニ。モ。舉。行。ス。ル。ト。キ。ハ。利。益。ア。ル。ベ。シ。○

尺。量。ノ。課。業。|| 量。斗。ニ。關。ス。ル。授。業。ヲ。繼。續。ス。○
一。レ。ル。量。ヲ。教。示。シ。併。セ。テ。實。地。ニ。應。用。セ。シ。ム。○

數。量。ノ。課。業。|| 十。以。下。ノ。加。算。表。及。ヒ。減。算。表。并。ニ。百。以。下。ノ。十。一。法。○
斗。上。ノ。數。ヲ。加。算。及。ヒ。減。算。ノ。例。ト。シ。之。ニ。據。テ。實。地。演。習。ヲ。舉。行。ス。○

好 尚 學 科

畫。學。|| 工。夫。畫。學。ヲ。繼。續。ス。直。角。形。ノ。諸。種。ヲ。結。合。ス。此。等。ニ。類。ス。ル。形。ヲ。備。ヘ。タ。ル。近。易。物。体。ノ。輪。廓。ヲ。畫。ス。○
唱。歌。|| 日。々。ノ。簡。單。ナル。音。調。ノ。唱。歌。ヲ。繼。續。ス。新。シ。キ。音。調。ヲ。教。フ。○

第 三 學 期 即 チ 春 期

自 然 理 學 科

植。物。ノ。課。業。|| 植。物。ノ。種。子。形。狀。成。長。ノ。方。法。功。用。分。類。○
種。子。ノ。名。狀。ヲ

以テ語學課業ノ基本トス。
動物ノ課業〇〇 蛙ヲ稽查シ定義ス。兩棲類及ヒ兩棲的ト云フ名目ヲ
開示シ應用ス。魚類ヲ稽查シ及ヒ名狀ス。此等ノ動物ノ諸部分ヲ
前ニ研究セシ諸動物ノ諸部分ト比較ス。
場〇〇ノ課業〇〇 學校ノ周圍ニ在ル品物ノ測量及ヒ製圖ヲ繼續ス。各
生徒ノ自宅ヨリ校舎ニ到ルノ沿路ヲ名狀シ製圖セシム。

語學科

口〇〇說課業〇〇 性質ニ關シテノ物体ノ名狀ヲ繼續ス。粘着性固着性吸
收性永存性收縮性及ヒ其他之ニ類スル稱号ヲ以テ表示スル觀念ヲ
開示シ應用ス。物体ヲ動物植物礦物ニ分類スルヲ演習セシム。
教師名狀シ生徒ヲシテ再說セシムル所ハ成ル可ク毅然タル一定ノ
項目ニ屬スル者ヲラシムベシ。

讀方〇〇 第二讀本ヲ結了ス。母音及ヒ清音ニ關スル特別ノ練習。
綴字〇〇 一切新出ノ言詞ノ綴方ヲ教フルヲ從前ノ如クス。
作文〇〇 物体ノ名狀。書寫ヲ繼續ス。動物及ヒ植物ノ課業ヲ以テ作
文課業ノ基本トス。文字ノ形狀大小斷續ニ特別ノ注意ヲ加フ。句
節ノ初メニ花文字ヲ用弗ルヲ教フ。

數學科

体形ノ課業〇〇 直線ヲ以テ邊トスル不定規圖形。以前ノ課業ノ溫習。
体形ノ結合ヲ修メシメテ傍ヲ畫學課ノ用ニ供ス。
尺〇〇ノ課業〇〇 測量家ノ鎖尺ヲ提出シ使用ス。鎖尺ノ區分及ヒ其已
ニ學ヒ得タル尺量ニ對スル關係ヲ説明シテ實地ニ應用ス。
數〇〇ノ課業〇〇 加算表及ヒ減算表ヲ結了シ溫習ス。尺量ノ課業ニ於
テ計量セシ所ヲ以テ加算及ヒ減算ノ演習ノ基本ト爲スモ可ナリ。

好尚學科

書學 〓 角度、三角形及ヒ四邊形ヲ用テスル工夫書學。記憶ニ依テ圖形ヲ再現ス。近易ノ物体ノ輪廓ヲ圖畫セシム。
唱歌 〓 日々ノ唱歌演習ヲ繼續ス。相貌ニ關スル特別ノ練習。

第三級

文部省令第八號ノ尋常
小學科第三年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

自然理學科

植物ノ課業 〓 小麥、稗麥、燕麥、大麥、黃蜀葵、馬鈴薯及ヒ其他食料トス可キ内國ノ植物ヲ稽查シ、名狀ス。其他ノ有用ナル近易ノ植物ヲ稽查シ、名狀ス。

動物ノ課業 〓 蜥蜴及蛇ヲ稽查シ、名狀ス。鰐魚及ヒ玉鱗ノ如キ大ナル爬虫類ヲ圖面ニ依テ名狀ス。其構造及ヒ常習ヲ説明ス。
地誌 〓 繪圖ヲ用テ村邑若シクハ學區ヲ研究セシム。市街、主要ナル建築及ヒ其他ノ興味ヲ促スニ足ル物体ノ所在。製圖ニ用非ル假約文字ヲ提出シ使用ス。

語學科

口説演習 〓 物体ノ名狀ヲ繼續ス。物体ヲ固形体、流動体、又ハ瓦斯体ニ分類ス。酸味、甘味、辛味、拙味、發香、芳香、等ノ性質ヲ開示シ應用ス。
綴字 〓 第三讀本ニ着手ス。子音及ヒ清音ニ特別ノ注意ヲ加フ。
綴字 〓 音及ヒ文字ニ依テ讀本ニ見エタル單語及ヒ新出ノ言詞ヲ綴ラシム。名稱ト音ト綴ト異ニ差別ハ英蘭ルナリ。語中無音ノ字母ヲ指名ス。

作文。|| 毎日少ナクトモ一篇ノ作文ヲ書寫セシム。近易ノ事曰ニ就
キ討議シ、然ル後諸概念ヲ結合シテ記述セシム。記述課業ノ体裁、花
文字ノ用方及ヒ句讀ノ用方ニ注意ヲ加フヘシ。臨時課業ヲ提出ス。

數學科

体裁ノ課業。|| 曲線ヲ邊トスル体形、圓形、卵形、橢圓形等ヲ稽査シ名狀
ス。書學課業ノ序ニ此等ノ体形ヲ開示ス。
重量ノ課業。|| 天秤ヲ使用ス。「アポデ、ポア、常ノ、チノス」及ヒ「ボン、ド」量
ヲ提出シ、量目ヲ計ルコトヲ實地ニ就キ練習セシム。
數量ノ課業。|| 五以下ノ乗算表ヲ編成ス。重量ノ課業ニ於テ演習ス
ル所ヲ以テ乘法ノ實例トス。乘標ヲ提出シ、使用ス。

好尚學科

書學。|| 工夫書學ヲ繼續ス。曲線ヲ開示シ、分類シ、及ヒ結合ノ基本ト

シテ使用ス。物体ノ輪廓ヲ畫ス。記憶ニ依テ圖形ヲ寫出ス。
唱歌。|| 唱歌ヲ繼續ス。毎月少ナクトモ二個ノ新音調ヲ教フ。樂譜
ヲ提出ス。

第二學期即々冬期

自然理學科

動物ノ課業。|| 鳥類ヲ温習シ、繪畫ヲ以テ此課業ヲ繼續ス。鷹、鷲、鶴、鴉
鳥、鷓鴣等ヲ示ス。鳥類ノ構造奇異ナル者、即チ泗鳥、沙鳥、抓鳥等。
光彩ノ課業。|| 以前ノ課業ノ温習。第三色ヲ提出シ、應用ス。生徒ヲ
シテ教師ノ指揮ニ從ヒ水彩畫具ヲ使用シ、調合セシム。
地誌。|| 自然ノ區分。丘、山、溪、原、泉、河、谷、半島、地峽、濱岸、池湖等ヲ因物的
ニ示ス。一ノ丘ト一ノ溪トヲ觀察スルハ、之ニ依テ以上枚舉スル

各樣ノ自然區分ノ觀念ヲ生スルヲ得ベシ、而シテ此クノ如キ觀察
ヲ施サシメタルノ後ニ非サレバ、決シテ此等ノ名目ヲ包含スル地誌
上ノ課業ヲ授クベキニ非ズ。既ニ此クノ如キ觀察ヲ施サシメタル
ノ後ハ生徒ヲ導テ略ホ正經ナル定義ヲ立テシムルヲ容易ナリ。

語學科

口說演習 || 性質ニ關スル物体ノ名狀ヲ繼續ス。物体ヲ天成及ヒ人
造ノ二部門ニ分類ス。可銘性、不可銘性、發音性、反射性、等ノ性質ヲ
示シ、應用ス。

讀方 || 第三讀本ヲ繼續ス。雜種讀書ニ着手ス。

綴字 || 近易ノ言詞ヲ綴リ、及ヒ新出言詞ヲ始メテ使用スル毎ニ綴ラ
シムルヲ從前ノ如シ。書籍若シクハ塗板ニ記載スル單語ヲ正シ、
書寫セシメ、生徒不正ノ綴字法ニ染染スルノ隙無カラシム。

作文 || 日々一章ツ、記述セシムルノ法ヲ繼續ス。思想ヲ陳述スル
ノ順序ニ特別ノ注意ヲ加フ。臨時課業ヲ繼續シ且ツ敷衍ス。

數學科

體形ノ課業 || 實物ヲ用テ幾何學ノ諸固形體ヲ示ス。圓形、球形、三角
鏡形、圓柱形、等。孰レノ學校ニ於テモ必ス幾何學上ノ固形體ノ各種
ヲ標示スル木片ノ一箱ヲ備置スベシ、即チ生徒ヲシテ此等ノ體形ニ
熟通セシメ且ツ其心中ニ於テ永ク此等ノ體形ト其名稱トヲ聯合セ
シメ、シテ爲メナリ。生徒ヲシテ此等ノ名稱ヲ其指示スル所ノ形體
ニ類似スル自然及ヒ人造ノ物体ニ應用セシムベシ。

重量ノ課業 || 「チンス」重及ヒ「ボン」重ヲ温習ス。「ク」ヲ「トル」
「ハンド」
ツド、ウエイト」ト等ノ名目ヲ提出シ應用ス。

數量ノ課業 || 十二至ル迄ノ乘算表ヲ編成ス。専ラ重量ノ課業ニ於

ヲ經驗スル所ヲ以テ乘算ノ實地演習ニ供ス。

好尙學科

書學〇〇〇〇 曲線角ヲ開示ス。曲線及ヒ角度ヲ用テスル工夫書學。此等
ヲ曲線ノ輪廓ヲ有スル物体ニ應用ス。暗記ニ依テ圖形ヲ書ス。
唱歌〇〇〇〇 唱歌ノ毎日演習ヲ繼續ス。新シキ音調ヲ教フ。樂譜ノ演習
ヲ繼續ス。

第三學期即チ春期

自然理學科

植物ノ課業〇〇〇〇 以前ノ課業ヲ溫習ス。植物ノ一般ノ形狀、木類、草類、
木類、草類。芽苗及ヒ其漸次發育スル次第ヲ稽查シ、比較シ、分類ス。
葉、其形狀、構造及ヒ名稱。

動物ノ課業〇〇〇〇 以前ノ課業ノ一般ノ溫習。有脊動物ト云フ名稱ヲ開
示シ、應用ス。有脊動物ノ數類屬、哺乳動物類、鳥類、爬虫類及ヒ魚類
ヲ比較シ、各類屬ノ生徒ノ既ニ知ル標品ヲ列記ス。
地誌〇〇〇〇 都會、即チ所在ノ丘、溪、河、池、道、鐵道、村邑。生徒ノ
曾テ到リシ隣村及ヒ此ニ至ルノ沿路。都會ノ繪圖ヲ編成シ、講究ス、
又生徒ヲシテ之ヲ塗板及ヒ石盤ニ畫セシム。

語學科

口〇說演習〇〇 構造ヲ功用ニ適當セシルムトニ關シテ物体ヲ憶度ス。
石筆、石盤、書物、椅子、机、卓、手桶等。名狀及ヒ敘述ノ演習ヲ繼續ス。
讀方〇〇〇〇 第三讀本ヲ繼續ス。發音ノ原素母音子音ヲ分類シ、溫習ス。
綴字〇〇〇〇 熟知スル言詞及ヒ新出ノ言詞ノ綴ヲ教フル。前ノ如シ。
作文〇〇〇〇 日々名狀、敘述、及ヒ再說ヲ書寫セシム。即席課業ヲ繼續ス。

數學科

体形ノ課業 || 諸種体形ノ温習及ヒ分類。尺量即チ堅幅及ヒ厚チ開示シ、線形、面形、固形等ノ名目ヲ開示シ應用ス。

價格ノ課業 || 合衆國通貨ノ種々ノ記號ヲ因物的ニ揭示ス。合衆國ノ剛貨。

數量ノ課業 || 乘算表ヲ完了シ復習ス。乘法ノ雜種演習、但シ甘トシテ重量ノ稱號ヲ基トスル者。

好尚學科

畫學 || 曲線ヲ以テスル工夫畫學ヲ繼續ス。曲線ヲ應用シテ、葉花草、虫等ノ輪廓ヲ描寫ス。畫學ノ課業ヲ以テ博物學科中既ニ履踐セシ

課業ノ復習ニ當ツ。唱歌 || 日々ノ唱歌ヲ繼續シ、新音調ヲ學習セシメ、樂譜ノ演習ヲ繼續ス。

小學中等科

當今我邦ノ學制ニ於テハ別ニ中等科ノ名義ヲ用キズ之ニ屬スル三級ヲ尋常高等ノ二科ニ分當ス

一般說明 || 小學中等科ニ屬スル三級ノ課業ハ大抵因物法ニ據ルモノトス、其初等科ノ課程ト異ナル所ハ範圍一層廣濶ナルト、事實一層

詳細ナルト、人文學ニ涉ル事目ヲ包含スル漸ク多キトニ在リ。語學ノ課業ニ於テハ、修述ノ法ノ據テ立ツ所タル思想ノ範圍ヲシテ成

ル可ク廣濶ナラシメ、且ツ此ニ採ル所ノ作法ニ依レバ、本元記憶ヲ思想ヨリ轉シテ修述ノ上ニ着セシムルノ患少ナカルベキナリ。

凡ソ言語ヲ用井ルノ精巧ハ思想ノ釋然タルト、修述ノ熟練トニ因テ成タルモノナリ。口說ノ演習ヲ特ニ首要ノ地位ニ置キ、之ニ依テ生徒ヲ導テ種々ノ觀察

及ヒ討究ノ範圍ニ入ラシメソト計ル。各生徒ヲシテ其思想ニ下ク
スニ成ル可ク十分ナル効力ヲ有セル言語ヲ以テスルノ能力ヲ得シメ
ソト計ル。

讀書科ニ於テハ、讀本ノミニ依頼スル教練ノ純音ヲ破ラシタメ、數多ノ
雜種事目ヲ誦讀セシム、且ツ之ガ排布ノ次第ヲシテ生徒ヲ引テ直チニ
思想ノ高大ナル範圍ニ達スルニ便ナラシム。且ツ又誦讀ニ供スル事
目ノ種類ヲ精選シテ心意ニ填充スルニ善良ナル心像ト高邁ナル情操
トヲ以テスルニ適當セシメ、務メテ德風ヲ紊ルニ至ルベキ詩文ヲ窮覽
セントスルノ意向ヲ驅除ス。

特別ノ作文課業ニ於テハ、三級トモニ涉リテ工業上ノ事目ヲ以テ基本
トス、即チ此類ノ事目ハ、第一ニ有益ノ知識ヲ給資シ、第二ニ大ニ諸ノ自
然理學ノ缺ヲ補フノ効アリ、第三ニ一切ノ作文事業ニ於テ成功ヲ期セ

ソカタメ必要トスル三段ノ作用即チ觀念ノ積集、排列、修述ヲ完全ニス
ルタメニ十分ナル範圍ヲ開ケマナリ。

第六級ニ於テハ、漸次ニ注意力ヲ物質ノ上ヨリ轉シテ物質ヲ管理スル
勢力ノ上ニ着セシメ、先ツ原因ノ尋究ヨリ起テ、直チニ哲學ニ進入スル
ノ引指ト爲ラシメソト計ル。

中等科ニ屬スル學科ノ一般ノ分解ニハ好尙學上ノ修練ヲ特殊ノ課目
トシテ置カズ、是レ蓋シ此修練ヲ度外ニ置クヘキガ故ニ非ス、畢竟施ス
ヘキ方法ノ巨細ハ、採ル所ノ統系ノ如何ニ從テ大ニ異ナル所アルニ因
リ、一定ノ分解ヲ以テ推ス可カラザレバナリ。

書學ハ中等科ノ初ヨリ終ニ至ルマテ毎日之ヲ授業スベシ。主トシテ
生徒ニ習得セシメソト務ムヘキ諸點ハ、一ニ鉛筆ヲ用使スルノ手續、
二ニ實物ノ攷究及ヒ描寫ニ因ル觀察能力ノ發育、及ヒ三ニ元素ヲ結合

シ實地ニ就テ新匠圖ヲ粉作スルニ必要ナル想像力ノ修練コレナリ。此等ノ目的ヲ達セシカ爲メ、先ツ生徒ヲシテ成圖ヲ臨摸セシメ、之ニ依テ美術ノ原理ニ從ヒ、自然及ヒ人工ノ形樣ヲ寫シ、或ハ記憶ニ依テ圖ヲ案シ、或ハ口授ニ準テ圖ヲ畫シ、或ハ實物ニ依テ圖ヲ製シ、或ハ自ラ新奇ノ結合ヲ工夫スル等ノ技倆ヲ鍊ラシムヘシ。音樂モ亦中等科全体ニ涉レル毎日ノ課業ノ一ニ居ルベシ。全級ノ生徒ヲシテ毎日數分時間ツ、幾度モ唱歌セシムルヲ善シトス。每學期中ニ三箇乃至六箇ノ新音調ヲ學習セシムヘシ、且ツ音樂ヲ誦讀スルノ術ニ關シテモ漸々高等ナル課業ヲ授クヘシ。體操課業ヲ繼續シテ毎日數度之ヲ演習セシメ、每度五分時間乃至十分時間ニ至ルヲ善シトス。時々新奇ナル體操方ヲ教ヘ、以テ生徒ヲシテ歡喜ノ情ヲ失ハザラシムベシ、且ツ斯クスレバ筋骨ノ教練ヲ色々駁雜

ニスルノ効モアルベシ。大抵ノ學校ニ於テハ通氣ノ備ヘ殆ト全ク無キヲ常トス、是ヲ以テ各學時午前午後第一學時第二學時トスノ第一時間ノ終ニ於テ躰操ヲ演習セシメ、第二時間ノ終ニ於テ休息セシムルトキハ、每一時間ニ一回ツ、窓戶ヲ扉クテ得テ、新鮮大氣ヲ十分ニ給實シナガラ、冷風ニ因テ生徒ノ健康ヲ害スルノ患ヲ除クテ得ベシ。

第四級

文部省令第八號ノ尋常小學校第四年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

自然理學科

植物ノ課業——葉ヲ復習シ、分類ス。植物成長ノ理法ヲ稽查シ、名狀ス。常綠木、落葉木、外長植物、內長植物等ノ名目ヲ開示シ、實地ニ應用ス。

動物ノ課業——虫類ノ研究、蠅—蚊—蜂—甲虫—此等ノ一般ノ形狀及ヒ部分。關節動物トイフ名目ヲ開示シ應用ス。

地誌——天氣即チ大氣ノ狀態、暑寒—乾濕—爽氣及ヒ不爽氣。大氣ニ關シテ用キル溫度、潤氣、及ヒ健康ト云フ名目ヲ開示ス。氣候ト云フ兼該ナル名目ヲ開示シ氣候ニ影響スル事情ノ最モ著明ナル者ヲ因物的ニ指示ス。風嵐、其一般ノ方向及ヒ影響。

語學科

口說演習——植物、動物、及ヒ地理ノ課業ヲ事目ノ順ニ排列シ、復誦シ、以テ口說演習ノ首要ナル材料ト爲ス。各課業ニ於テ思想ヲ精密ニシ、修述ヲ明瞭且ツ平易ニセシムルコトヲ殊サテ注意スベシ。
讀書——第三讀本ヲ繼續ス。一週間ニ一回若シクハ二回ツ、生徒ヲシテ書籍又ハ新聞ニ載スル所ノ既話ヲ採擇シ、朗讀セシム。情緒又

ハ思想ヲ表示スルノ面色、相貌ニ特別ノ注意ヲ加フ。思想ヲ正當ニ演舌スルノ結果トシテ曲聲及ヒ讀聲ノ事ヲ示ス。

綴字——一切新出ノ言詞ヲ始メテ用キルルニ於テ十分ニ熟習セシム。科語ハ教師之ヲ明瞭ニ塗板ニ書寫シ、生徒ヲシテ騰寫セシム。
習字——每時定規演習ノ中ノ一課ヲ撰テ綿密ニ書寫セシメ、一科ノ事

目ノ説明ヲ十分ニスル事ト其諸ノ部分ノ排列ヲ正當ニスル事トニ特別ノ注意ヲ加ヘシム。人類ノ職業ヲ以テ特別ノ書寫課業ノ基礎トス。農業、禾穀培養—農作スル禾穀ノ種類—必要ナル勞作—地ヲ鋤ク—苗ヲ植ウル—種ヲ播ク—耕耘—鋤田—收納—異種禾穀ヲ收納スル作法—掌圖—作法—產物。

數學科

尺量ノ課業——方寸「イン」方尺「フ」方步「ヤル」ヲ因物的ニ教示シ、應用

量ノ課業 || 「グレイン」「ペンニーウエイト」「オンス」「ポンド」「ロイ」
量ヲ因物的ニ教示ス。化數法ヲ以テ數學ノ演習ノ基本トス。
算術 || 五以上ノ除算表。記數法及ヒ句點ヲ切テ數ヲ讀ム方。復習
課業。

第二學期即チ冬期

自然理學科

動物ノ課業 || 蝸牛、沙蜆、海蛤、牡蠣等ヲ稽查ヒシノ、且ツ其部分ヲ比較
ス。又此等ヲ前ニ研究セシ諸ノ動物ト比較ス。軟体動物ト云フ名
目ヲ提出シ、應用ス。
彩光ノ課業 || 以前ノ課業ノ温習。諸ノ雕色ヲ説明シ、且ツ之ガ實例

ヲ示ス。最も普通ナル雕色ヲ命名シ、且ツ日常所用ノ物体ニ就イテ
其應用ヲ示ス。

地誌 || 學校所在ノ郡、表面—川—丘—溪—泉—湖—街道—鐵道—村
邑、各生徒ヲシテ學校所在ノ郡ノ地圖ヲ十分ニ攻究セシメ、且ツ躬
ラ之ヲ製セシム。

語學科

口說課業 || 諸科ニ屬スル事目ニ關シテ口說セシムル事ヲ繼續シ、追
次其体裁ヲシテ完全ニ進マシメ、材料ヲシテ廣濶ニ嚮ハシム。每週
一回ツ、各生徒ヲシテ其自ラ觀察シ或ハ輕驗セシ新奇ノ偶事ヲ一
ケ條ツ、說話セシム。

讀書 || 第三讀本ヲ繼續ス。每週一回若クハ二回ツ、生徒ノ採擇ニ
係ル雜種ノ文章ヲ誦讀セシム。教師愉快ニシテ且ツ生徒ノ氣象ヲ

高尙ニスルニ適シタル說話ヲ採擇シ、級生ヲシテ之ヲ誦讀セシム。生徒ニ教ヘテ博識ノ士ガ事ヲ修述スルノ体裁ニ家数多少ノ特異ナル所アルヲ觀察セシム。

綴字ニハ綴字ノ演習ハ用アルニ當テ新奇ニ提出スル官詞ノミニ限ルベシ。毎日一個乃至二個ノ新詞ヲ習得セシメ、以テ生徒ノ詞林ヲ修クニ而モ確實ニ擅長セシメテ計ル。官詞ヲ提出スルニ先キ立チテ先ツ其表示スル所ノ觀念ヲ開示シ、此觀念ニ因テ件ノ官詞ノ意味ヲ説キ起スノ順序ヲ踐ムベシ、此法ハ初メヨリ罔然タル官語上ノ定議ヲ授クルニ勝レリ。教師生徒ノ果シテ新出官詞ノ意味ヲ十分理解セシヤ否ヤヲ究定セント欲セバ、須ク之ニ命シテ件ノ官詞ヲ以テ思想ヲ修述セシムベシ。

作文ニハ當日ノ定規課業中ノ一ヲ完全ニ書寫セシムルノ法ヲ繼續ス。

職業ノ特別研究ヲ繼續ス。果實生産ノ業。果實ノ種類、即チ林檎—梨—桃—葡萄—櫻實—梅—草莓—ナス—苺—黒莓等。家畜及ヒ其生産物、即チ馬—牛—羊—豚—鶏—七面鳥—鷺鳥—鶯等—牛肉—羊肉—豚肉—鶏肉—牛酪—乾酪—毛。動物ヲ飼養スルニ緊要ナル事狀ノ或ル者ヲ教フ。

數學科

形ノ課業ニハ正則直角形ヲ尺量シ、面積ヲ計算スルノ法ヲ以テ算術上ノ演習ノ基本トス。方形—斜方形—不等邊斜方形—長方形—二邊並行方形—三角形—五角形—八角形。

重量ノ課業ニハ「アボシカリイ」^量ノ「グレイン」^量「スクルーナル」^量「ドラクム」^量「オンス」及ヒ「ポンド」ヲ提出シ應用ス。算術ノ演習ニ使用スル化數法。算術ニハ十以上ノ除算法。首トシテ体形及ヒ重量ニ基據スル乘法及

七 除法ノ演習。

第三學期即チ春期

自然理學科

植物ノ課業。|| 木ノ幹皮根枝及ヒ葉ヲ稽査シテ特ニ其効用及ヒ相互ノ關係ニ注意セシム。樹液ノ流動及ヒ其効用。草木ノ冬睡ト凋衰ヲ差別ス。

動物ノ課業。|| 海盤車ヒドロゾアヲ稽査シ名狀ス。之ニ類スル他ノ動物トイヘ。標品ヲ得ル毎ニ研究セシム。射形動物トイフ名目ヲ提出シテ其實例ヲ示ス。動物一般ノ温習并ニ之ヲ射形動物軟体動物關節動物有脊動物ノ四科ニ區分スル事。

地誌。|| 郡ヲ繼續ス。順序ヲ正シテ一切ノ都會ヲ地圖ニ布置シ之カ

名稱及ヒ相對ノ位地ヲ十分ニ學習セシム。氣候產物。人民及ヒ其職業。學區都會村邑市府及ヒ郡ノ役員并ニ各自ノ職務。國政ヲ因物的ニ開示スルノ端緒ヲ開ク。例ヘバ「役員ヲ選舉スル者ハ誰ソ」地方ノ被委任者即チ委員ノ職分ハ何ソ」都會又ハ市府ノ収稅官及ヒ定稅官ノ職務ハ何ソ」捕吏又ハ巡查ノ職分ハ何ソ」治安裁判廳判事ノ職分ハ何ソ」郡役所ノ役員ハ何々」郡裁判所ニ長タル者ハ誰ソ」該裁判所ノ効用ハ何ソ」此外ニ郡裁判所ニ屬スル役員ハ誰々ソ」郡ニ屬スル建築ハ何々ソ」各一建築ノ効用ハ何ソ」。

語學科

口說演習。|| 諸科ニ屬スル事目ノ口說ヲ繼續ス。各生徒ヲシテ每週一回ツ、新奇ニ工夫シテ定規課業ノ外ニ出ツル物体ヲ名狀セシム。讀方。|| 第三讀本ヲ結了ス。雜種ノ文章ヲ採擇シテ誦讀セシムルヲ。

ヲ繼續ス。生徒ヲシテ歡喜ノ情ヲ發セシメ且ツ高尚ナル氣象ヲ生
セシムルニ適當シタル材料ヲ包含スル文章ヲ採擇セヨトニ特別ニ
注意ス。

綴字〇 〓 新出言詞ヲ綴ルノ演習ヲ繼續ス。句節ニ於テ之ヲ用弁ルノ
事情ニ依テ言詞ノ意味ヲ確知セシム。

作文〇 〓 學校ノ定規課業ノ一ヲ日々記述セシム。職業ノ研究ヲ以テ
記述演習ノ基本トスルヲ繼續ス。穀類其他ノ農業產物ヲ食物ニ
製スル事。磨粉職即チ麪粉—穀粉—「カナイユ」糖—割麥粉—燕麥

澱—澱粉—穀糊等。麵包職即チ其製法及ヒ產出。肉職即チ醃藏—
鹽藏—燻乾等。牛酪及ヒ乾酪職即チ其製造ノ作法。罐詰牛乳。菓

實職即チ其晒糖法及ヒ保存法晒乾—砂糖漬—醃漬—保存。

數 學 科

形體ノ課業〇 〓 直線形ノ尺量法ヲ繼續ス。測量家ノ面積尺ノ稱号ヲ

表示シテ例件ヲ掲ク。

價格ノ課業〇 〓 英國貨幣ノ稱號ヲ因物的ニ教ヘテ實例ヲ示ス。化數

法ヲ以テ算術習練ノ基本トス。

算術〇 〓 乘算表及ヒ除算表ヲ溫習ス。記數法及ヒ讀數法ヲ溫習シ數
衍ス。

第 五 級

文 部 省 令 第 八 號 ノ 高 等
小 學 科 第 一 年 級 ニ 當 ル

第 一 學 期 即 チ 秋 期

自 然 理 學 科

植 物 ノ 課 業 〇 〓 樹 木 槭 樹 — 山 手 櫟 — 榿 樹 — 櫻 — シ カ モ ー ル 蕨 花 — 櫻

— 楡— 槐— へムロツク— 柏— 松— スプ— ールス等。 樹木ノ特異形状
樹木ノ分類、即チ林樹— 菓樹— 陰樹— 裝樹— 木材ニ適當シタル樹木
等。 土着植物、外來植物ト云フ名目ヲ開示シ、應用ス。

動物ノ課業— 動物ノ食物。 食物ノ種類、及ヒ之ヲ得ルノ路ハ如何。
種々相異ナル氣候ニ於テ最モ盛多ナル食物。 動物ノ氣候及ヒ食物
ニ適應スル事。

地誌— 州、其境界、表面、丘、山川、湖、氣候、產物、動物。 生徒ヲシテ一定ノ
配法ニ從テ塗板及ヒ紙片ノ上ニ州ノ輪廓ヲ畫セシム。 種々相異ナ
ル境界ノ長短、及ヒ種々ノ方向ニ於テ州ヲ横斷シテ一ノ點ヨリ他ノ
點ニ達スル距離ニ關スル演習。 生徒ヲシテ天然ノ區分即チ山川等
ニ依ル區分ヲ言テ悉ク書入レシム。 地圖既ニ成熟スレバ之ニ就テ問題ヲ發シ
テ攻究ヲ盡サシム。 凡ソ地誌ニ關スル課業ニシテ有効ナルハ製圖

ノ右ニ出ツル者無シトス。 製圖ハ生徒ノ心中ニ確實ナル心像ヲ起
シ、此ニ於テ場處ノ相對ノ位地ヲ確定スル、他ノ事業ニ因テ得難キ
モノアリ。 初メハ粗荒ナル境線ヲ畫スルヨリ起テ漸ク微細精密ニ
進マシムベシ。

語 學 科

口說課業— 諸學科ニ屬スル事目ヲ以テスル口說演習ヲ繼續ス。 各
生徒ヲシテ每週一回ツ、林叢ニ生スル植物又ハ虫類ヲ觀察シ名狀
セシム。

讀方— 第四讀本ニ着手ス、生徒ヲシテ歴史又ハ人ノ傳ノ要略ヲ誦讀
セシム。 教師當日生徒ヲシテ誦讀セシメントスル事項ヲ十分ニ開
示シ、或ハ適宜ノ問題ヲ發シテ説明ヲ盡クスベシ。 生徒ヲシテ詩編
ヲ拔萃シ、教場ニ於テ誦讀セシム。

綴字〇〇 綴字ノ演習ハ首トシテ種々ノ學科ニ關シテ習得セシムル必要ナル新出ノ言詞ノミニ限ル。語尾ノeノ字ニ關スル規則ヲ教ヘテ實地ニ習練セシム。

作文〇〇 毎日一編ツ、定規作文ヲ書寫セシム。職業ノ研究ヲ以テ綴寫作文課業ノ基本ト爲ス。衣服ノ製造ニ供スル物質。綿布、麻布、毛織、絹布。綿布―種類―培養法―摘取、除種、包裝。苧及ヒ麻―培養法―蒔入、被枯、破碎、打麻、梳麻。毛織―產出法及ヒ調製法。絹布―桑蠶飼養法、繭取法、卷取法。

筆法〇〇 筆法ヲ以テ特別ノ一課トシテ授ル事ハ此級ニ於テ始ムルテ適當トス。是レヨリ先キ教師往々生徒ノ筆法ノ謬誤ヲ非難、矯正シテ偶然母字ノ形模及ヒ書方ノ大概ヲ習得セシメタルモノト假定ス。生徒ノ員數少ナキ學級ニ於テハ斯クノ如キ習練ノミニテ十分ナル

メシ、何トナレハ教師タル者各生徒ノ字形ニ注意シテ、讀下シ易ク、且ツ温雅ナラシメシムルヲ計ルノ餘假アルベケレバナリ、但シ此二事ノ外ニ書法教育ノ目的ト爲スベキ所ノ者ハ有ラズ。然リト雖モ、稍、廣大ナル學校ニ於テハ特別ニ筆法ノ一課ヲ設クルヲ必要ナリ、而シテ此學期ヨリ第一習字本ニ着手セシムレバ利益少ナカラズ、爾後第二、第三、以下順テ進テ授ケ、科級ノ進歩ニ準シテ習字ノ演習ヲ漸々高尙ニスヘシ。

數 學 科

尺〇〇 課業〇〇 尺量ノ稱號ヲ結了ス、即チ「フア」ロソグ「マイル」リ「グ」三哩ヲ以テ「ト」做ス等ヲ授ク。生徒ヲシテ自ラ表ヲ製作セシム。加數法ヲ以テ算術上ノ演習ノ基本トス。

算術〇〇 綿長ナル除法ノ特別練習。本然ノ規則ノ温習并ニ其實地應

用。

第二學期即十冬期

自然科學科

生理。消化。消化機即チ一齒牙一門齒一凸頭齒一臼齒一齒牙ノ齒
 生一食道一胃臟一反芻動物ノ諸胃臟一胃臟ノ發作一胃臟ニ於テ食
 物ノ經過スル變化。肉食動物ヲ其齒牙ニ依テ分類ス、即チ一破碎ス
 ル齒牙ヲ供ヘタル破齒類一楷碎スル齒牙ヲ備ヘタル臼齒類一齧咬
 スル齒牙ヲ備ヘタル齧齒類一齒牙ヲ備ヘザル無齒類。
 彩色ノ課業。各色ノ濃淡ト純濁トヲ開示シ、其主ナル者ニ名ヲ命シ
 テ近易ノ物体ニ應用ス。按スルニ濃淡ハ同色光線ノ分量ノ多寡ニ因リ純
 濁ハ白光ノ混入ノ分量ノ多寡ニ因ルモノナリ。
 地誌。州ヲ繼續ス。郡ノ名稱并ニ位置一人民一職業。主要ナル市

府一其所在一其位置ヲ書定セシ所以ノ事物一各市府ノ人民ノ主要
 ナル職業。州ノ政治州政ノ課局一州吏一州廳一主府一州獄一州立
 救濟院一州會議員ノ撰舉一生徒ヲシテ地圖ヲ制作研究セシム。

語學科

口說演習。諸學科ニ屬スル事目ノ口說ヲ繼續ス。每週一回ツ、生
 徒ヲシテ其觀察シタル所ニ依テ霜、雪、氷、又ハ其結果ヲ名狀セシム。
 讀方。第四讀本ヲ繼續ス。歴史及ヒ人ノ傳ノ要略ヲ繼續ス。溫雅
 ナル詩篇ノ拔萃ヲ配憶ニ委シテ時々誦吟セシム。
 綴字。新出言詞ノ綴字ヲ繼續ス。實例ニ依テio及ヒeiノ用方ニ係
 ル規則ヲ開示シ應用ス。
 作文。每日一箇ツ、定規作文ヲ書寫セシム。職業ノ研究ヲ繼續ス。
 編及ヒ毛ヲ以テ反物ヲ製造スル職業、即チ一摘取一梳毛一紡績一復

結—紗綸—織方—染方—毛織ノ附露方—剪露方—仕上—印花布ノ
摺方。紙職、磨碎—注水—延—テ片葉ト作ス事—乾ス事—仕上。

數學科

廣。素ノ課業。——方尺ノ稱號ヲ因物的ニ投教シ、實例ヲ舉ケ、應用ヲ示ス。
方、インチ及ヒ方、フットヲ表示スル木片ヲ取用シ、生徒ヲシテ此等ノ
尺量ノ確然ナル觀念ヲ得シメ、フット角、一、フット角、一、インチ厚
ノ木板十二枚ヲ備フルハ、以テ方、フットヲ表示スルニ便利ナルヘ
シ。又此ノ如キ木板中ノ一枚ヲ取テ十二條ニ分畫シ、各條一、イン
チ角、一、フット長ナラシメ、又其中ノ一條ヲ取テ十二分セバ、其各一分
ハ一方、インチヲ爲スベシ。
算。術。——原數—因數法—最大法數—本然律則ニ關スル習練。

第三學期即チ春期

自然理學科

植。物。ノ。課。業。——食用ニ供スル植物ノ部分、即チ—根—莖—葉—花—實
—髓—汁。此基本ニ據ル尋常植物ノ分類法。食糧ニ供シ、或ハ食物
ノ調製ニ用ル普通ノ物品、即チ—沙穀米—桃椰米—海苔—米—肉
桂—肉豆蔻—黃蜀葵—珠芽—芥—胡椒—砂糖草—槭樹西洋諸國植
材—大根等。
生。理。——血液、即チ—成分—製産—循環。心臟—動脈—靜脈—毛細管。
毛細管ニ於テ血液ノ經過スル變化。
地。誌。——州ノ課業一般ノ溫習。近隣諸州ノ要略、大小及ヒ相對ノ位置。
合衆國諸州ノ名稱并ニ聯合聯合トハ北方諸州、東產物ヲ異ニスル五
地邦、即チ—草地方—麥地方—穀及ヒ煙草地方—米及ヒ綿地方—砂

糖地方。地球ノ全体ニ關スル事物、即チ一形狀及ヒ大小一水陸ノ分別。大陸及ヒ陸ノ大區分、其類似點及ヒ差違點。大洋、其區分及ヒ分支。授業此點ニ達スルヲ期シテ地球儀ヲ提出シ、各回ノ課業ニ於テ之ヲ使用スベシ。

語學科

口說演習。語學科ニ屬スル事目ノ口說ヲ繼續ス。生徒各名ヲシテ每週一回ツ、植物ノ成長ニ關シテ試驗ヲ施シ其得ル所ノ事實ヲ報告セシム。

讀方。第四讀本ヲ繼續ス。新聞紙ヨリ當日ノ新聞ヲ誦讀セシム。生徒ニ教ヘテ教場ニ於テ誦讀スルタメ教師ノ指命スル事項ニ關スル論說ヲ搜索セシム。

綴字。新出言詞ヲ綴ラシムルヲ繼續ス。shノ音ニ關スル習慣ヲ

教ヘ之ヲ表示スルタメ用ル母字ノ如何及ヒ其是レ又ハ彼レヲ用ル場合ノ差同。

作文。每日一編ツ、定規作文ヲ演習セシム。職業ノ研究ヲ繼續ス。既ニ注目シタル物産ヲ變シテ特殊ノ物産ト爲ス事。毛布職、衣服一フランクケット一毛氈等。綿布及ヒ麻布、卓掛ノ麻布一寢登用ノ麻布一窓掛等。草物類、本靴及ヒ半靴一馬具一皮櫃一皮帶一鞴鞋一皮衣等。紙類、書翰一印刷紙一包袱紙一圖引紙等。自餘ノ物産、糸類一組絲類一繩類一蓆類一毛皮類一帽子類。

數學科

形狀及ヒ尺量ノ課業。當學年中ニ履踐ヤン事業ノ總体ノ溫習。算術。最小等數。既ニ授教セシ規則ノ總体ノ溫習及ヒ練習。

第六級

文部省令第八號ノ高等
小學校第二年度ニ當ル

第一學期即チ秋期

自然理學科

植物ノ課業。食物ヨリ外ノ用ニ供スル植物。木材類、樫、松、胡桃、櫻、栗、ヘム、ロック、榎、杉、花利木、マホガニー等、織素類、棉、苧、麻、馬尼羅、ジュート、藥材類、規那樹、大黃、龍舌草等、染草類、藍、茜草、蠶木、黃顏料草、膽脂編等、嗜好物類、茶、咖啡、加々亞、馬提、魔醉藥類、煙草、芽苧、ハシ、イシ等、木工用材類、竹、椰子ノ葉、草類、掃木々々、山芹華、サライ、省藤、栓樹、柳、象牙木等、裝飾用材類、陰隱草類、形樣艶美ナル草木又ハ美麗ナル花若

シクハ葉ヲ有スル草木。

生理。呼吸機關、即チ氣管、氣管肢、肺臟。空氣ト生活トノ關係。

新鮮空氣ノ緊要。穢汚ノ根原。動物ノ氣息ト呼吸ト燃燒ト不洩池沼ト腐敗セル動物質ト腐敗セル食物。魚類及ヒ其他ノ下等動物ノ呼吸。

勢力ノ課業。大氣、即チ風、風力、微風、大風、颶風、暴風、龍上。

水ト砂嵐ト風車ト帆舞船。引力、即チ墜體ノ方向ト鉛垂ト重量ト物體ノ重量ト比較ト固形體ノ重量ト流動體ノ重量ト瓦斯體ノ重量ト

水平面ト液面ト種種輕重ト異ニスル液ノ位置。

地誌。南亞米利加略圖ヲ製ス。位置ト形狀ト邊境ト山脈ト高原ト原野ト川河ト氣候ト產物ト礦物ト動物。

語學科

口說演習。|| 諸科ニ属スル事目ノ口說ヲ繼續ス。每週一回ツ、一課ノ授業ニ属スル種々ノ課業ヲ結合シ連續セル演說ノ体裁ヲ以テ之ヲ陳述ス。

讀方。|| 第四讀本ノ續キ。例ヘバニヤガラ瀑、マンモス洞、ヨセマイト溪、エルローストンノ熱泉等ノ如キ天然ノ景色ヲ撰ビ生徒ヲシテ其紀事ヲ教場ニ於テ朗讀セシムベシ。

綴字。|| 新出言詞ノ綴方ヲ繼續ス。ハノ長音ヲ表現スル爲メ用井ル種々ノ母字及ヒ母字ノ結合ニ注意セシムベシ。

作文。|| 毎日一編ツ、定規作文ヲ書寫セシム。職業ノ研究ヲ繼續ス。家屋建築。材料即チ木材―板類―石―瓦。材料ノ調製即チ斷去―剥皮―鋸截―笈法―切石―製瓦。作用―大工職、左官職、積瓦職等。

數學科

廣義ノ課業。|| 佛國ノメートル統系ノ線尺。稱号及ヒ之ト通例用井ル尺量ノ稱号トノ比較。

算術。|| 分數。本然ノ原理ヲ因物的ニ教示ス。分數ノ種類。甲種ノ分數ヲ乙種ニ化スル法。除法ノ關係ヨリ起ル規則。

第二學期即チ冬期

博物學科

生理。|| 動物ノ体温―如何シテ發生スルヤ―如何シテ保存スルヤ―體温ヲ生スル食物―動物ハ如何シテ寒氣ヲ防禦スルヤ。動物ノ食物及ヒ氣候ニ對スル關係。人工ヲ以テ暑氣及ヒ寒氣ヲ防禦スル法。衣服ヲシテ氣候ニ適應セシムル事―氣候異ナルニ依テ着用スル衣服異ナル事―衣服ノ種々ノ異類ノ用法―材料―染色。溫度ノ急變

— 急變ノ結果。溫度ニ關スル衛生理法。
彩光ノ課業。|| 彩光ノ限定比例。太陽七光。對色。彩光ノ調和。彩
光課業全体ノ復習。

勢力ノ課業。|| 温熱ノ空氣ニ及ホス結果、温氣ト冷氣トノ重量ノ比較
— 大氣平稱ノ錯動— 大氣ノ循環— 風陣— 烟筒— 烟— 通氣。瓦斯ノ
重量— 浮泡— 輕氣球— 瓦斯ノ散布。

地誌。|| 南亞米利加ヲ繼續ス。諸國— 人民— 人種— 奇異ノ風俗及ヒ
習慣— 人智— 工業— 國々ノ輸出— 政府— 宗教— 人民ノ社會ノ有様
— 美術及ヒ内地修良ノ事業。市府— 大小ノ比較— 位置如何— 何ニ
因テ各市府ノ位置ヲ畫定セシヤ— 何ヲ以テ有名ナリヤ。

語學科

口。說。演。習。|| 事目ヲ分テスル復誦ヲ繼續ス。復誦ヲ結合シテ辨論ノ

体裁ヲ爲サシムル演習ヲ每週一回ツ、繼續ス。時々詩篇及ヒ文章
ノ復誦ヲ以テ口說ノ演習ヲ參差スルモ可ナリ、但シ其詩文ハ生徒ヲ
喜ハシムルニ足ルモノナラント要ス。

讀方。|| 第四讀本ヲ繼續ス。生徒ヲシテ人類ノ奇異ナル住居若シク
ハ異常ナル器具ノ紀事ヲ選擇シテ教場ニ於テ朗讀セシム。
綴字。|| 新奇ナル官詞ノ綴方ヲ繼續ス。及ヒiノ長音ヲ表示スル
種々ノ字母及ヒ結合ニ注意ス。

作文。|| 毎日一篇ツ、定規作文ヲ書寫セシム。職業ヲ繼續ス。木細
工業— 指物職— 橋大工職— 家根板職— 籠職等。石工業、建築用ノ石
— 道路ノ傍ニ敷ク石— 石碑— 學校用及ヒ屋根葺用ノ石盤— 石筆。
家具— 石灰— 漆灰— 壁土— 鹽。

數學科

式 書 錄 物 植

種	類	本基ノ類分
	木木卉 喬灌草	質性ノ莖
	木木 盤葉 常落	存保ノ葉
	類類 着來 土外	土 國
	類類 長長 外内	法ノ長生
	類類 花花 有無	無有ノ花

尺量ノ課業。メートル系統ヲ繼續ス。量目。メートル系統ノ稱號ト通例用ル尺度トノ比較。算術。分數ヲ繼續ス。化數法ノ習練。心算分解ニ依テ設定シタル方法及ヒ規則。分數ノ加法及ヒ減法。

第三學期即チ春期

自然理學科

植物ノ課業。花ノ有無ニ關シテ植物ヲ稽查ス。有花植物及ヒ無花植物ナル名目ヲ提出シ應用ス。左ノ如キ書式ニ順シテ植物ヲ列記ス。

生理。|| 人工防寒法ヲ繼續ス。住居—採温ノ工夫—洞窟及ヒ地下房
室—得失。家屋ヲ温ムル法—康藝—焔爐—温氣—蒸氣—通氣—衛
生理法。

勢力ノ課業。|| 水力—水流レテ水平ニ歸スルノ趨向—流水ノ勢力—
水車。水ノ壓力—熱ノ水ニ及ホス結果。蒸發—大氣中ニ在ル水ノ
分量—風ニ因ル濕氣ノ循環—凝結—霞—雲—霞—雨—雪。
地誌。|| 北亞米利加洲ノ略圖ヲ製ス—位置—形狀—邊境—山丘—高
原—平野—川河—湖水—氣候—產物—動物—礦物。

語學科

口說演習。|| 事目ヲ分ケテスル復誦ヲ繼續ス。每週一回ツ、復誦ヲ
結合シテ辨論ノ体裁ヲ爲サシムル演習ヲ繼續ス。

讀方。|| 第四讀本ヲ結了ス。生徒ヲシテ諸國ノ奇異ナル習慣ノ敘事

ヲ探探シ教場ニ於テ朗讀セシム。

綴方。|| 新出言詞ノ綴方ヲ繼續ス。oughノ種々ノ發音ニ注意ス。

作文。|| 毎日一篇ツ、定規作文ヲ書寫セシム。職業ヲ繼續ス。鐵工。

作法—採鑛—冶金—鑄鑄—ブツリシ鑄鍛—オルリング未詳。產物鑄鐵

—鍊鐵—録鐵—鋼。特種製產鐵ヲ鑄テ焔爐、皿、車輪ト爲ス法—鐵

ヲ卷テ釜板ニ分五厘乃至五分厚ノ鐵板ニシテ蒸氣機關鐵道線鐵等

ト爲ス法—鐵ヲ鍊テ釘、螺、鍵、輪ト爲ス。

數學科

重量ノ課業。|| 「メートル」統系ヲ繼續ス。重量ノ稱号。「アポデユボア」

量統系ノ稱号ト比較ス。「メートル」統系ノ復習。

算術。|| 分數ヲ結了ス。乘法及ヒ除法。熟練ノ爲メニスル雜例。

小學高等科

我邦當今ノ學制ニ於テ定ムル所ノ高等小學科ニ比スレバ更ニ高尚ナリ但シ當科ト中學科トヲ合レテ本邦學制ノ尋常中學科ニ割スル者ト見バ大過無キニ觀カラン

一般ノ說明 高等科ニ於テハ授業稍深ク分解ニ涉リ且ツ漸ク進テ推理力ノ運用ヲ要スル課目ヲ包括ス。理學科ニ於テハ第七級ヲ以テ物理學ノ因物科ヲ結了スルモノトス。此ノニ於テ特ニ目的トスル所ハ原因ノ範圍内ニ於テ討尋推理スルノ機會ヲ生徒ニ與ヘ又生徒ニ給資スルニ勢力ニ關スル初步ノ知識ヲ以テシテ進テ他ノ學科ヲ理會スルノ補助トシ且ツ彼等ヲシテ中等科ニ至ルニ及テ同一ノ學科ヲ一層精密ニ講究スルニ堪エシムルニ在リ。生理學ヲ繼續シ第八級ヲ以テ之ヲ結了ス。蓋シ此學ヲ故サラ編密ニ教示セントセズ只タ動物上ノ課業ニ次テ之ヲ研究セレノ以テ學生ヲ

シテ動物ノ生活諸種動物ノ相互關係人體ノ構造人體ノ主要ナル部分ノ官能及ヒ健康ヲ確保セシメガ爲メ選舉スベキ理法ニ關スル一般ノ知識ヲ得シメノヲ計ルモノナリ。此研究ハ將ニ退校シテ實際ノ業務ニ就カントスル者ニ取リテ無比ニ緊要ナリ且ツ尙ホ勸學セントスル者ニ取リテモ進テ稱廣大ナル專門ノ課業ヲ修メシガ爲メニ甚タ有益ナル準備ト爲レリ。植物學ノ課業ハ各級ノ春期中ニ每週二回ツ、之ヲ授ク蓋シ春ハ花ヲ採集シテ攻究スル爲メ最モ便利ナル時候タルヲ以テナリ。斯ク措置スルハ生徒常ニ植物ニ留心スルノ念ヲ發ヒ彼等ヲシテ中學科ニ至ルニ及テ高尚ナル課業ヲ取ルニ適當ナラシムルヲ得ヘシ。地誌學ヲ繼續シ結了ス。地誌ノ演習ハ自然及ヒ國政地誌ノ事實並ニ天文地誌ノ事實及ヒ原理ヲ包括スルモノトス。礦物學ノ一端ニ關ス

ル課業ヲ授ケ學生チシテ鑛物界ノ事實ヲ觀察スルノ氣習ヲ得シメ、且
 ヲ後ニ至リ地質學ヲ修ムルノ準備ト爲ス。
 語學科ニ於テハ下ノ諸級ニ在テ施行セシ如ク特別ニ口說演習ト稱ス
 ル者ヲ置カズ、蓋シ目下研究スル課目ニ關スル誦讀及ヒ教場ノ討論ハ
 以テ此類ノ練習ヲ爲サシムルニ十分ナリトスレバナリ、第七級以後ノ
 讀方ハ全ク英米ニ有名ナル著作家ノ著書中ヨリ精選シタル文詞ノ抜
 抄ヨリ成立スルモノトス。此ニ指名スル所ノ諸家ノ如キハ、生徒チシ
 テ成ル可ク多岐ニ涉リテ深ク文辭ヲ伺ハシメ、之ヲ導テ文辭ノ種々ノ
 範圍ニ至ラシメ、ノチ目的トシテ選擇シタルモノナリ。
 此類ノ演習ニ關シテ成功ヲ期セント欲セバ必ス先ツ此等ノ諸家ノ著
 書ヲ供用スルノ路ヲ開カザル可カラズ。公立學校文庫ノ設アルハ、
 往々斯クノ如キ文庫ニ於テ見ル如キ無益無用ノ書籍ニ替ヘテ此等チ

得ノ極ノテ易シ。若シ適當ノ書籍ヲ購求スルノ備無キハ、生徒チ
 レテ少ナクトモ各、一巻ツ、ヲ買得セシメ、ノチ難キニ非ザルベシ、之ハ
 加フルニ教師ノ自ラ給資スルニ絶ユル所ヲ以テセバ、所須ノ冊數ノ大
 半ヲ供用スルノチ得ルニ至ラントス。
 生徒チシテ下文ニ指名スル著述家中ヨリ教師ノ指揮訓諭ニ依テ拔萃
 チ爲サシメ、教場ニ於テ之ヲ朗讀シ討論セシメテ、一般ノ文態ト著者ノ
 精神トヲ十分ニ理解セシムベシ。稍、下等ニ置クベキ著述家ニ至リテ
 ハ、教師ノ隨意ニ他ノ著述家ヲ以テ之ニ替フルモ不可無シ、然リト雖モ
 世人ノ許シテ人智ノ率先ト做ス所ノ諸家ニ至リテハ、決シテ忽棄スベ
 キニ非ザルナリ。稍、深ク哲學ニ涉與スル著述家ノ如キハ、姑ク之ヲ省
 キ、中學科ノ文詞科ノ高尚ナル程度ニ讓リテ其著述ヲ講究セシム。
 作文ニ關シテハ第七級及ヒ第八級ニ在テ、尙ホ人類ノ職業ヲ繼續シテ

每週二回ツ、ノ作文課業ノ基本トス。此等ノ論文ノ材料ハ自宅ノ近傍ノ人々ノ職業ヲ觀察シ或ハ引用書ニ付テ之ヲ搜索セシムベシ。各學校ハ必ズ善良ナル百學節府ヲ一部ツ、備ヘザル可カラズ。第九級ニ至リテハ、目下研究スル學科ノ一般ヲ以テ作文演習ノ料トスルニ十分ナルモノトス。

若シ下ノ諸級ニ於テ此一課業ヲ十分誠忠ニ實行シ、毎日少ナクトモ一章ノ作文ヲ書寫セシムルハ、生徒其思想ヲ字句ニ表示スルニ熟練シテ、作文ナル語ヲ聞クモ敢テ恐怖セザルニ至ラソ、且ツ往々諸方ノ學校ニ於テ施行スル如ク每週若シクハ二週ニ一回ツ、別ニ作文ヲ書寫セシムルノ要モ無カルベシ、又全校ノ生徒ノ公會ニ於テ故サヲ修辭上ノ演習ヲ授クルニ及バス。生徒ヲシテ斯ク日々書寫課業ニ就カシムルハ、此類ノ勉勵ヲ單ニ衆生參觀ノ時期ノミニ限ルノ場合ニ於テハ

リモ遙ニ繁多ナル事目ニ涉タラシメ、且ツ思想并ニ修述ニ關シテ遙ニ十分ニ此等ノ事目ヲ講究セシムルヲ得ベシ。教師ハ只ダ級生ノ論文中ヨリ其善良ナル者ヲ撰擇スベキノミ、且ツ生徒ヲ催迫シテ常ニ十分ノ力ヲ竭サシメント勉ムル事ナレバ、此等ノ作文ハ即チ生徒ノ力量ノ最高點ヲ証示スルモノタルベシ、何ソ必ズシモ全校ノ參觀ヲ缺タソヤ。此方策ハ道德上ノ結果ニ於テモ善ク其目的トスベキ所ニ符合スル者ナリ。何トナレバ、是レ素ヨリ外見ヲ飾ルヲ以テ目的トセズ、從テ之ニ因レバ生徒ヲ誘フテ實力ヨリモ寧ロ外貌ヲ主トセシムルニ至ルノ難無ケレバナリ。

一般ノ試験、即チ全校生徒ノ公會ヲ開テスル試驗ニ於テハ、口說演習ヲシテ重モニ、與深キ事目ニ係ル誦讀ト討論トヲ以テ成立スル者ナラシムベシ。時々此等ニ換フルニ素讀及ヒ辨法ヲ以テスルモ可ナリ、蓋

シ世人ノ雄辨法ヲ貴重スルコト大ニ其當チ越エタリト謂フ可シ。夫レ一切ノ口説課業ニ於テ目的トスル所ハ生徒ヲシテ最モ有効ナル秩序ヲ追テ思想ヲ修述シ、且ツ辯説シ、或ハ辯説ノ爲メ起立シナガラ題目ニ就キ思維スルノ能力及ヒ精工ヲ得シムルニ在リ。此精工ハ一定ノ事目ニ關スル所ヲ明晰ニシテ首尾連結セル辯論ノ体裁ヲ以テ演説スルノ熟練ヨリ來ルノ外無キ者トス、而シテ雄辯法、即チ他人ノ述ヘ置キタル所ヲ其マ、口演スルノ法ハ、此業ニ於テ益スル所極ノチ少ナシ。サリトテ英米ノ最モ優等ナル著述家等ガ最モ佳美ナル体裁ヲ以テ表示シ置キタル最モ高尚ナル思想ヲ以テ記憶ニ委シ、或ハ復誦スルノ業モ、自ラ一種ノ價格アル者ナレバ決シテ忽棄スベキニ非ザルナリ。

第九級ニ於テハ英文典ヲ特別ノ課業トシテ授クルコト着手シ、且ツ結了ス。生徒ヲシテ既ニ數年ノ間絶エズ官語ノ用法ニ熟練セシメタル

コトナレバ、文法ヲ研究セシムルニ用井ル時期甚ダ多カラズト雖モ、又以テ此形式上ノ研究ヲ結了スルニ足レリトス。此科ノ各級ニ於テハ正式綴字法ヲ省ケリ、蓋シ新出ノ言詞ヲ習得スルト、日々ノ書寫演習トハ以テ此類ノ練習ヲ十分ニスルノ料タルニ足レバナリ。英語綴字法ニ關スル些少ノ規則ヲ漸次提出シ、且ツ種種ノ根元ノ音便ヲ現ハスニ用井ル字母及ヒ字母ノ結合ニ注意セシムベシ。

書學ハ高等科ノ始ヨリ終リニ至ルマデ繼續シ、自然及ビ模表ノ形樣ヲ結合シテ原造ノ圖案ト爲ス演習ノ漸々高尚ナル者ヲ授クベシ、又藝術上ノ標識ヲ得ルノ關鍵ト爲ル可キ圖案ノ模寫及ヒ直チニ實物ヲ臨摸スルノ課業ヲ授ク。第九級ニ於テハ遠近經營法ノ原理ヲ因物的ニ提出シ應用スベシ。

唱歌ノ演習モ此科ノ全期ニ涉リテ毎日繼續スベシ。毎月少ナクトモ

二個ノ新音調ヲ學習セシム、而シテ生徒高等科ヲ卒ヘテ中學科ニ入ル
ニ及デハ既ニ如何ナル音樂ニテモ簡單ナル者ハ容易ニ之ヲ目讀スル
ヲ得ルニ至ラシムベシ。
日々体操學ノ自在演習ヲ繼續シ、例ヘバ球竿、輕棍棒、木環、木製啞鈴、及ヒ
穀物ヲ充テタル小囊ノ如キ輕便ナル機械ヲ漸次提出スベシ。此練習
ニ於テ目的トスル諸點ハ、健康ヲ促進シ、筋骨ヲ鍛練シテ精密且ツ準度
ニ稱ヘル運動ニ堪エシメ、身軀ノ均稱ヲ保持シ、從容ニシテ彈力アル運
動ヲ修練スルニ在リ。下ノ諸級ニ於テノ如ク、時宜ヲ計リ、体操ニ從事
セシムルノ時ヲ以テ少ナクトモ每一時間ニ一回ツ、教場ノ通氣ヲ十
分ニスルニ適シタル者ナラシムベシ。

第七級

文部省令第八號ノ高等
小學校第三年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

理學科

勢力ノ課業——粘着性—凝聚性—凝聚力ノ度—實例—毛細管引力—
其性質及ヒ結果、運動—慣性—運動ノ原因—運動ノ結果—運動ノ
方向—單一勢力ニ因ル運動ノ方向—數箇勢力ニ因ル運動ノ方向—
複合動力運動—運動ノ急突障止ノ結果—摩擦力—圓道運動。離中
力及ヒ求中力。

鑛物ノ課業——當學期中每週二回ツ、金屬及ヒ其形象並ニ資質ノ課
業ヲ授ク。鐵、銅、亞鉛、臬、客爾、金及ヒ銀ヲ稽查シ、且ツ性質ヲ比較ス。

水銀及ヒ安質母尼ヲ同様ニ稽查ス。

地誌——北亞米利加洲ヲ結了ス、—國政上ノ區分—政府—人民—山來—人種—性質—人智—工業—住居—食物—衣服—人民ノ氣候及ヒ其他ノ自然ノ事情ニ適應スルノ有様。市府—位置如何—其現ニ位スル所ニ在ルノ理由如何—自然ノ利益—人工ノ補助—大小ノ比較—主要ナル工業。

語學科

讀方——第五讀本ニ着手ス。文辭學ノ講究ニ入ルノ引指ト爲ル可キ演習ニ着手ス。シヤコブ、アボット、デイッケンズ、プライヤント及ヒロングフェルロウノ拔萃ヲ教場ニ於テ朗讀ス。此等ノ文詞家ノ著書中ヨリ生徒ヲシテ其文態及ヒ精神ノ大概ヲ伺ハシムルニ足ル拔萃ヲ朗讀セシム。諸家ノ略傳ヲ教示シテ各家ノ著述中ノ著明ナル

者ヲ列記ス。

作文——人類ノ職業ノ研究ヲ繼續シ之ヲ以テ作文課業ノ基本トス。玻璃及ヒ陶器製造—陶器ノ異類—用井ル所ノ材料—製法—玻璃器板玻璃—玻璃鏡。練瓦—洋針—縫針—時計ノ製造。印刷—活字植付—摺立。其他或ハ近隣ニ在リ、或ハ其記事ヲ得ルヲ易キ類ノ製造事業。一週中ノ他ノ三日ノ作文ハ當時研究スル所ノ理學及ヒ文辭學ニ關スル者タル可シ。

數學科

算術——小數ニ着手シテ之ヲ結了ス。小數ノ命辭ハ通常ノ記數法ヲ小數點ノ右ニ演ヘタル者ナルヲ証明ス。小數ノ運算。小數ヲ合衆國通質及ヒメートル統系ノ尺量并ニ重量ニ應用ス。

第二學期即十冬期

理學科

勢力ノ課業——溫熱—溫熱傳達ノ法—射出—導達—溫熱ノ物体即チ固形体、流動体、及ヒ瓦斯体ニ及ボス結果—溫熱ノ導体—不導体—溫熱ヲ水ニ應用スル事—蒸發—蒸發氣—蒸氣—熱沸。寒冷—寒冷ノ防禦—氷—氷結ノ結果—雪—氣候及ヒ植物ノ上ニ及ボス結果。

礦物ノ課業——每週二回ツ、普通ノ礦物ニ關スル課業ヲ授ク、青石—灰石—沙石—石盤。學校ノ近傍ニ在ル石屬ノ主要ナル者ヲ稽查シ比較ス。生徒ヲシテ種々ノ石屬ノ大概ヲ辨知セシムルニ十分ナル注意ヲ此課業ニ施スベシ。

地誌——歐羅巴洲、—略圖ヲ製ス—位置—形狀—邊境—高處—山丘—高原—平野—一般ノ斜面—水流—川河—湖水—氣候—産物—動物

—礦物—諸ノ邦國ノ位置—國々ノ表面及ヒ産物ノ比較。

語學科

讀方——第五讀本ヲ繼續ス。文辭學ノ演習ヲ繼續ス。ウイッチェル、ロウエル、ルイサ、アルコット及ヒアルビングノ拔萃ヲ朗讀ス。但シ此等ノ拔萃ヲシテ生徒ノ容易ニ理解スルニ堪フベク、且ツ歡喜ノ情ヲ起スニ適シタル者ヲラシム可シ。此等ノ文章家ノ略傳及ヒ其著述ノ目錄ヲ編成ス。

作文——人類ノ職業ヲ繼續ス。所謂通商即チ賣買。學校ノ近傍ヨリ賣リ出タス物品。農家ノ販賣スル物品、—誰ニ販賣スルヤ—如何ニ運漕スルヤ。通商ニ従事スル者ノ名稱—荷賣商—店賣商—大商賣。貨物運搬ノ法、—人ノ脊ニテスル運搬—馬—騾—百露駱駝—駱駝—象、等ニ積テスル運搬—荷車—鐵道車—運河船ニ積テスル運搬—副

水、河流及ヒ海洋ノ帆船船並ニ蒸氣船ニ積テスル運搬。巨大ナル通商郎チ所謂交易。

數學科

算術〇〇〇〇 名號數料ヲ重量、尺量、等ノ冊號ニ着手ス。前ニ因物的ニ教示セシ重量、尺量及ヒ價格ノ表ヲ製シテ之ヲ復習シ且ツ敷衍ス。上昇化數法及ヒ下降化數法。化數法ニ關係スル心意作用ヲ明晰ニ表示シ、之ニ順スル解釋ヲ爲ス。此等ノ作用ヨリ出ヅル規則。

第三學期即チ春期

理學科

勢力ノ課業〇〇〇〇 引力、引力ノ中心、平稱、靜定ノ理法、大氣ノ重量、一、唧筒、晴雨計、間歇泉、噴出泉、掘鑿井。空氣ノ壓力、海洋平

面ノ氣壓、山峯ノ絕頂ノ氣壓、深達礦穴ニ於テノ氣壓。雷光雷鳴

一、越歷、如何シテ發生スルヤ、如何シテ導達スルヤ。

礦物ノ課業〇〇〇〇 每週二回ツ、礦物ノ課業ヲ授ク。學校ノ近傍ノ石屑

及ヒ地層。小石、砂、粘土、由テ出ヅル所ノ如何、重層、如何シテ生

セシ者ナリヤ。

植物學〇〇〇〇 每週一回ツ、植物上ノ課業ヲ授ク。冬月ニ際シ芽苗ヲ庇

護スル方如何。春ニ於テノ木汁ノ流行。芽苗ノ漸次ニ開展シテ完

全ナル葉及ヒ花ト成ルニ關スル觀察。

地誌〇〇〇〇 歐羅巴洲ヲ結了ス、國政上ノ區分、政府、人民、由來、人

種、性質、風俗、人智、工業、相異ナル國民ノ比較、人民ノ住居

食物、衣服、氣候及ヒ自然ノ形勢ニ適應スル事、國々ノ輸出品。市

府、位置如何、天然ノ利益、人工ノ補助、相對ノ大小、主要ナル

特質—工業。

語學科

讀方〇 第五讀本ニ着手ス。文辭學上ノ演習ヲ繼續ス。ハルレツク、ツロウブリツヤ、ウヰリス、ベヤード、テイロルノ拔萃ヲ誦讀ス。此諸家ノ略傳ヲ示シ、其主要ナル著述ノ目錄ヲ製ス。文章家ヲ分類シテ詩人、小説家、及ヒ歴史家ト爲ス。

作文〇 人類ノ職業ヲ繼續ス。交易—亞米利加ノ主要ナル諸港—輸出品—其種類—何レノ國ニ輸出スルヤ。主要ナル輸入品—何レノ國ヨリ輸入スルヤ—茶—咖啡—砂糖—香物—椰子—燕脂—紅—蘇木—マホガニー—紅木—梟橙—檸檬—芭蕉葉—乾葡萄—無花菓—大棗—馬尼羅—米—及物類—毛織類—玻璃器—陶器—苧布—麻織類—精製木綿—時計—小綠—象牙—黑檀—皮類—柔革—陶磁器等

右ノ外ノ作文ハ歐羅巴洲ノ地誌、目下研究スル礦物、及ヒ常時修讀スル著者ノ文詞ニ關係スル者ナルベシ。僅々數課ノ事目ノミニ專ラ注意ヲ向ケ、諸科ノ課業ヲシテ一點ニ歸着スルノ趣アラシムルトキハ、進歩ノ速ナルコト一時ニ數多ノ學科ニ注意ヲ散スルノ場合ニ十倍スベシ。

數學科

算術〇 名號數量ヲ結了ス。加法、減法、乘法、除法。單純數量並ニ名號數量ノ運算ヲ包括スル一般ノ規則ヲ設定ス。

第八級

文部省令第八號ノ高等小學科第四年級又ハ尋常中學校ノ第一年級ニ當ル

第一學期即十秋期

理學科

生理學〇〇 骨即チ成分—構造—職分—種々ノ骨ノ稽查—其形狀—其効用ニ適應セル事—突起—關節。韌帶即チ構造—効用。筋骨即チ構造—効用—接着—筋骨ノ諸種。筋骨及ヒ骨盤ノ運用ニ關スル重學上ノ原理—手及ヒ足ノ特別研究。種々ノ動物ノ前肢及ヒ後肢ノ極端ノ解剖及ヒ生理上ノ比較。

植物學〇〇 一週間ニ一回ツ、菓實及ヒ種子ノ課業ヲ投ク。種子ノ發類—如何ニ保護セラル、カ—如何ニ配布セラル、カ。萌發ニ必要ナル部分。傳播ノ他ノ諸方。

地誌〇〇 亞細亞ヲ結了ス、—略圖ヲ製ス—位置—形體—邊境—高低—山丘—高原—平野—水流—川河—湖水—氣候—產物—動物—金屬

—政治上ノ區分。諸國ノ輸出品—人民—人種—性質—風俗—人智。市府—位置如何—相對ノ大小—位置ノ利益—何ヲ以テ著明ナルカ—古代ノ都會。

語學科

讀方〇〇 教師及ヒ生徒ノ選擇ニ係ル文詞ノミヲ誦讀ノ資トスベシ。

ヘレン、ハント(エチ、エチ)、トーマス、ヒュース(トム、プラチン) 名チイ、プラチヤナン、リイド及ヒロスプラチンノ著述ノ拔萃ヲ誦讀セシム。略傳ヲ綴リ、主要ナル著書ノ目錄ヲ作ル。

作文〇〇 人類ノ職業ヲ繼續ス。獵狩—即チ獵狩スル動物ノ種類—食物ニ供ス可キ者—皮ヲ採ル可キ者—骨ヲ用弁可キ者等—人ヲ害スル者—狩獵ニ用弁ル武器、棒、鎗、弓、矢、及ヒ銃砲—狩獵ニ用弁ル動物、犬、豹、猿、猴、鹿等—獅子、獵—虎、象、獵等。陷穽—陷穽ノ種類—陷穽

ヲ以テ捕フル獸類。

生理學、植物學、及ヒ文詞學ニ關スル事目ヲ題トシテ他ノ作文ヲ書寫セシム。

數學科

算術〇〇 百分算—一般ノ原理—母金—歩合—百歩算—關係。種々ノ場合ニ應用スル事。心中ノ分解。規則ヲ設定シ應用ス。

第二學期即チ冬期

理學科

生物學〇〇 消化機ノ復習、腸—脾—膽—膽汁—胸膜管—乳糜管。消化ノ產物ヲ血液循環ニ投入スル事。肺ノ血液ノ上ニ施ス作用—肺臟ノ排泄物。消化循環及ヒ呼吸ハ同一統系ノ異部ナル事。消化機ノ

養生ニ關スル衛生法—適當ナル食物ノ選擇—食物ノ調理—喫食ノ時間—運動ハ消化ヲ助ケル効アル事。

地誌〇〇 亞非利加洲及ヒ大洋洲。天然ノ形勢ノ他ノ大陸ニ於テノ如ク完備セル事。人民、人智、工業等。市府。土人ノ開化、教法及ヒ政治ニ關スル一般ノ觀測。想像上ノ航海ヲ爲シテ一所ヨリ他ノ所ニ至ルノ方向、旅行ノ方便、及ヒ經過スル順路ヲ教示ス。商業上ノ航海ニ於テ所須ノ貨物ヲ外國ノ津港ニ運致シ、之ヲ以テ其到ル所ノ國ニ於テ生産シ輸出スル物品ト交易スル事。

語學科

讀方〇〇 文詞上ノ著述ヲ繼續ス。ミツシスウイットニ、マリイ、ハウイット、ロベルト、サウセイ、オリバル、ウエन्दル、ホルムスノ著述ノ抜萃。略傳及ヒ主要ナル著述ノ目錄ヲ作ル。

作文〇 人類ノ職業ヲ繼續ス。捕魚及ヒ魚獵―捕魚ノ方法釣針、大網、
係蹄、―通例捕獲スル魚ノ種類―遊戯ノ爲メニスル捕魚―魚ヲ得ン
ガ爲メニスル捕魚―多口魚ノ獵―鯖獵―メソハデン獵―鯨獵―鯨
ノ種類―如何シテ捕獲スルカ―用ニ供スベキ鯨ノ部分―魚油ノ爲
メニ捕獲スル他ノ魚類。此事目ノ一般、及ヒ之ニ類スル他ノ事目ニ
關シテ最モ貴重ス可キ知識ハ雜誌類ニ就テ得ルニ如カズ。平日斯
ル事目ニ關スル雜誌ヲ得ル毎ニ之ヲ保存シ置キテ、須要ニ備フベシ。
生徒モ此類ノ事目ヲ喜フニ至ルキハ、實際上ノ知識ヲ得ントシテ自
ラ活眼ヲ開テ、雜報ヲ索探スルナルベシ、然ルトキハ自然ニ何ニ依ラ
ズ目ニ觸ル、所ノ事ヲ修讀シ稽查スルノ習慣ヲ生スベシ。此學期
中ノ他ノ作文ハ題ヲ生理學及ヒ文辭學ニ採ルベシ。

數學科

算術〇 利息。四元素、即チ母金、歩合、百分算、期月。期日ノ利息ニ對ス
ル關係。單利法、年利法、重利法。手形ノ利息。攤拂。合衆國ノ法屬
規則。

第三學期即チ春期

理學科

生理學〇 皮膚、其構造及ヒ官能。吸收及ヒ排泄。神經統系、―腦髓―
構造―脊髓―一般ノ神經―發動神經―受感神經―各神經ノ作用。
特殊感覺ノ神經―觸覺―味覺―嗅覺―聽覺―視覺―神經ノ衛生法
―勞働―休息―睡眠―保養ノ必須。生理學一般ノ復習。
植物學〇 花ノ構造及ヒ部分ニ關スル課業ヲ一週間ニ二回ツ、授ク。
地誌〇 合衆國ノ特別研究。諸州ノ局部、一州ノ聯合即チ道。相異ナ

ル道ノ特ニ善ク相異ナル工業ニ適當スル事。主要ナル市府ノ位置。其斯ル位置ヲ占ムル理由如何—各市府ノ天成及ヒ人造ノ利益。天然ノ街道。諸區分ノ間ノ旅行ノ順路。想像ニテ旅行ヲ爲ス。

語學科

讀方〇〇〇 文詞學上ノ演習ヲ繼續ス。パンクロフト、プレスコット及ヒブレットハルテノ著述ノ拔萃。略傳及ヒ著述ノ目錄ヲ作ル。論說スル所ノ事目ノ種類ニ從テ著述家ヲ分類ス。同一部門ニ屬スル諸家ヲ比較ス。例ヘバ詩人部ニ屬スルフライアント、ロングフェル、ロートヲ比較スルノ類ナリ。

作文〇〇〇 人類ノ職業ヲ繼續ス。特種ノ職業—即チ銀行取引—鐵道列車ノ管理—測量—土木工學。専門職、即チ説法師—醫士—法律家—教員—成効ヲ期スルニ必要ナル準備。

此學期ノ中ノ他ノ作文ハ生理學、植物學及ヒ文詞學ヲ題トスベシ。

數學科

算術〇〇〇 百分算ヲ種々ノ商業上ノ作用ニ應用ス—銀行取引—割引取引—仲買取引—株式取引—兩換取引—平均仕拂法等。

第九級

學ホ文部省令第十四號ノ尋常中學校ノ第二級ニ當ル

第一學期即チ秋期

理學及ヒ哲學科

自然地理〇〇〇 現今發動スル勢力ニシテ、地球ノ表面ニ變化ヲ生スル者ノ憶度—水ノ流行ニ因テ岩石ヲ破碎シ、土砂ヲ集堆スル事—海洋ノ波濤ニ因テ岩石ヲ洞鑿シ、片碎ヲ整圓シ、土砂及ヒ小石ノ提防ヲ築ク

事—海洋ノ流通—風ニ因テ土砂ヲ吹キ送ル事—霜ニ因テ岩石ヲ破碎スル事—氷原ニ因テ岩石ヲ轉置スル事—火山及ヒ地震ニ因テ激烈ナル噴出及ヒ突起ヲ生スル事—突起及ヒ低落ノ邇々タル動移—植物ニ因テ表面ノ性質ヲ變スル事—動物ニ因テ珊瑚島及ヒ其他之ニ類スル者ヲ生スル事。

世界ノ山丘ノ諸大脈及ヒ其斜腹ニ依テ大陸ヲ構成スル事。大陸ノ輪廓及ヒ高低。水流及ヒ川河ノ諸脈。

歴史—合衆國ノ歴史。土民時代ノ亞米利加。築丘人種、アゼテツク人種、インデヤン人種、風俗、習慣、職業、政府等。西班牙人、英吉利人、佛蘭西人及ヒ和蘭人ノ爲セシ發見。通商上ノ遠征。殖民—西班牙人—佛蘭西人—英吉利人—和蘭陀人—瑞典人—噠馬人。種々ノ居留人ノ意志。居留地政府。インデヤン人トノ戰爭。内亂。革命時代ニ

至ルマデノ工業、人智、及ヒ技術ノ一般ノ進步。

語學科

讀方—詞學上ノ演習ヲ繼續ス。ウオルタル、スコット、セ、ジイ、サツク、ス、モトレイ、及ヒホウソルンノ拔萃ノ誦讀。略傳及ヒ著述ノ目錄ヲ造ル。

作文—當學期中ノ課業ニ關係スル事目ヲ題トシテ日々作文ヲ書寫セシム。左ニ舉クル如キ疑問ニ注意セシムルヲ善シトス、然ルハ自ラ講習スル課業ニ對シテ歡喜ノ情ヲ發スルヲ一層深厚ナルベシ。諾威國ノ西岸ヲ名狀シ、其構造ノ奇異ナルノ理由ヲ述ヘヨ。佛蘭西國ノ砂堤ヲ名狀セヨ。海濱ニ打テ立ツケタル、アラブ山上ノノルデグラース湖ヲ名狀セヨ。陸地ノ高低ニ漸次變動アルノ証據如何。珊瑚島ヲ名狀シ、其構成ノ次第ナリト臆測スル所ヲ述ヘヨ。

西班牙人侵入ノ時ニ際ソノ墨西哥府ノ景情ヲ記述セヨ。土着ノイ
ノデヤン人ノ生活ノ情態ヲ述ヘヨ。シヨン、スミスノ略傳ヲ記セヨ。
「清淨教徒」ノ最初マサチユセツトニ殖民セシ後數年間ノ日々ノ生活
ノ情態ヲ述ヘヨ。パンクロフト氏及ヒロングフエルロー氏ノ記述
ニ見エタルアケデイマン人ノ情態ヲ略記セヨ。イロヨハ人ノ「聯邦」
即チ之ヲ組成セル諸國民及ヒ其政体宗教等ヲ記述セヨ。
右ノ如キ問題ハ素ヨリ其數ニ限アルヲ無シ、既ニ枚舉スル所ハ、以テ
此ニ主張スル事業ノ性質ヲ知ルニ足ルヘシ。要點ハ日々文章ヲ作
ラシメ、傍ラ生徒ヲシテ自ラ搜索討尋スルノ氣習ヲ獲得セシムルニ
在リ。

文法フ——思想ヲ以テ基本トスル言語ノ分解。節。節ノ元素。本元元
素則チ主位及ヒ賓位—倍貳元素、即チ目的格元素、形樣格元素、複詞格

元素。節ノ解剖。構造ノ理法。此等ノ理法ニ依據スル構造ノ習練。
數學科

算術ス——比例—單比例及ヒ重比例。比例ノ作用及ヒ結果ヲ分解ノ作
用分ヒ結果ト比較ス。

第二學期即チ冬期

理學及ヒ哲學科

自然地理リ——大洋即チ大小—波濤—潮汐—流通。大氣、即チ氣候—風
—熱帶常風—風靜ノ帶—風變ノ帶—「モンヌウン」時「サイムウン」熱風、シ
ロツコ風。大氣ノ潤濕、即チ本源—散布—凝結—無雨地方。植物生
育、即チ諸帶及ヒ大陸ノ植物錄—配布ノ理法。動物生育、即チ諸帶及
ヒ大陸ノ動物錄—配布ノ理法—其氣候及ヒ產物ニ係屬スル次第。

人類一般ノ配布。人類ノ有形造化（氣候地形產物）ニ對スル關係
歷史——合衆國ノ歴史ヲ繼續ス——革命、即チ其原因、事變、結果——合衆國
政府ノ結構——憲法——政黨、即チ其根元及ヒ變遷——行政部——新屬地ノ
領取——諸新州ノ行政部——外國國民トノ紛議及ヒ戰爭——內國ノ政治
上ノ疑問、紛議——內亂、即チ其根源、經過、結果。

語學科

讀方——文詞學上ノ演習ヲ繼續ス。エドガトル、アレクサンダー、ボイセ、ケイ、ボ
ール、デング、ウインブル及ヒカーチスノ拔萃ヲ誦讀シ、略傳并ニ著書
ノ目錄ヲ製ス。

作文——當學期ノ諸學科ニ關係スル事目ヲ題トシテ日々作文ヲ書寫
セシム。例件。暴風、砂漠ノ砂嵐、及ヒ龍上水ヲ名狀シ、其相關係スル
次第ヲ示セ。アマゾン川邊地方ノ植物錄ヲ記述セヨ。澳斯太利ノ

動物類ヲ記述セヨ。ベンジャミン、フランクリンノ略傳——トーマス
セツフェルソンノ略傳——パトリック、ヘンリーノ略傳ヲ示セ。バルゴ
インノ遠征ヲ記述セヨ。グリインノ南邦ノ役ヲ記述セヨ。殖民地
及ヒ大陸ノ會議并ニ其結果ヲ叙紀セヨ。獨立宣告ノ擧ヲ細述セヨ。
合衆國憲法編成ノ次第ヲ細述セヨ。

文法——「エテモロヤ」（同類）——詞類——變詞法——節體學——節ノ構造——一
般ノ習慣ニ基ツク構造ノ理法——構造ノ練習ニ基キテ批評ノ規則ヲ
設ク。

數學科

算術——開平開立。面積算。智算ニ着手ス。
前ノ諸學期ニ於テモ書寫演習ト共ニ必ス多少ノ智算ノ演習ヲ爲シ、
シノタルモノトス、然レドモ高等科ノ末期ニ至ルニ及テハ、進テ中學

科ニ入ルノ豫備トシテ、別ニ智算ノ一課ヲ設ケ、以テ一方ニ於テハ推理力ヲ教練シテ、思想及ヒ修述ヲ精密ニシ、又一方ニ於テハ算術一般ヲ温習スル爲メニスルヲ善トス。按スルニ智算トハ智力ヲ運用シテ解答ノ路ヲ探求セザルヲ得サシル類ノ例題云フ

第三學期即チ春期

理學及ヒ哲學科

天文地誌 || 地球ノ形樣及ヒ之ヲ究定スル法ノ如何。大小即チ一周圍一兩極直徑一赤道直徑一中心ノ斜傾一兩極。運動即チ一晝夜運動一週年運動一結果一晝夜ノ交迭一春分秋分一冬至夏至一春夏秋冬一熱帶線一兩極線一諸帶一晝夜長短ノ不同一諸帶ノ溫度。位置及ヒ遠近ヲ究定スルノ諸法一緯度一經度一赤道一併行線一子午

線一本初子午線。

植物 || 每週二回ツ、植物學ノ課業ヲ授ク。花ノ解剖。解剖ニ基ツク分類。十種ノ植物ヲ採集シ、稽查シ、分類シ、保存ス。

歴史 || 合衆國ノ歴史ヲ結了ス。測量遠征及ヒ其結果、農業ノ進歩一商業ノ進歩一内地改良ノ進歩。發明ノ歴史。學校、即チ其設置及ヒ進歩。理學、美術、文專、及ヒ定期刊行物一般ノ進歩。今日人民ノ留心スル所ノ問題ハ何ゾ。合衆國ハ他ノ國民ニ對シテ如何ナル關係ニ立ツヤ。國家ニ關スル紛議ハ如何シテ之ヲ結定スルヤ。

語學科

讀方 || 亞米利加ノ著述家ノ一般ノ拔萃并ニ零傳。著書ノ性質ニ從ヒ著述ヲ分類ス。同部門ニ屬スル相異ナル著述家ノ著書ノ對比。作文 || 當學期ノ諸學科ニ關係スル所ノ專目ヲ題トシテ日々作文ヲ

書寫セシム。日々復誦ニ從事スル時ニ此等ノ事目ヲ選定シテ生徒ニ配布シ、又參考書ヲ指名シテ搜索セシム。此學期中ノ題目ハ主トシテ内國ノ歴史及ヒ文詞學ノ一般ニ關係スル者ニ取ル。此等ノ事項ニ留意セシムルハ、爲メニ生徒ノ智力ノ範圍ヲ強メ、搜索ヲ盡シ且ツ之ヲ喜ブノ氣習ヲ生シ、高尚ナル事物ヲ喜ブノ故ニ陋劣ナル事物ヲ忌ムニ至ラシムルノ効アリ。

文法——文章學ノ原理ヲ提出シテ實例ヲ示ス。詞類學及ヒ節休學ノ溫習。文法ノ原理ヲ解剖ニ應用ス。

數學科

算術——算術連數及ヒ幾何連數。雜例。溫習。智算ヲ結了ス。

中學校

一般ノ說明——中學校ニ於テノ課程ハ主トシテ卒業ノ後直チニ商法又ハ工業ニ從事セントスル者ノ利益ヲ計リテ選定シタルモノナリ。何レノ聯合學校ニ於テモ、苟モ科級ノ設アル上ハ、生徒中此科ノ授業ヲ志願スル者甚タ多數ニ居ラザル無シ。

中學校ニ於テ講究セシムル諸學科ハ、實ニ諸ノ工業ニ從事シテ成功ニ至ルノ關鍵ヲ呈スルノミナラズ、又明智以テ各自ノ職業ヲ選定スルニ必要ナル智識ノ全体ニ關シテ遠大ナル見解ヲ得ルニ缺ク可カラザルモノナリ、加之各自ヲシテ人世ノ文化ノ現時ノ情態如何ヲ了知セシムルノ功アリ。

中學科ニ於テ施行スル授業法ハ、漸々分解及ヒ、評究ヲ密ニスル者ニシテ其關係スル所ハ、勢力ト原因ト理法トニ在リ。先ツ外界物体ノ形狀及ヒ實質ヲ憶度シ、之ニ依テ心意ヲ導テ虛形ノ原理及ヒ神靈ノ理法ヲ思觀スルニ至ラシム、而シテ時ヲ候テ之ヲ以テ人事ニ影響スル各般ノ所業ニ應用セシメントス。

授講スル學科中其全体ヲ詳悉スル者ハ一モ無シ、然リト雖モ亦生徒ヲシテ各科ノ階梯ヲ十分ニ習得セシメ、且ツ各科ニ於テ論究スル事目ノ範圍及ヒ本性ニ通曉セシムルニ足ラント計ル、且ツ向後尙ホ研究ヲ積テ各科ニ熟達スルノ方法ヲ指示スルノ効アルベシ。

此科ノ各級ニ於テモ諸ノ形而下理學ヲ繼續セザルニ非ズ、然リト雖モ諸ノ人文學ヲ漸々深ク修習スル所アラシメントス。第十級ニ至ルマテハ語學ノ演習ヲ以テ特別ノ一科トスルヲ繼續スト雖モ、第十一級

及ヒ第十二級ニ至ルニ及テハ、語學上ノ課業ヲシテ一般ノ課業ニ埋没モシム、其故ハ此等ノ學科ノ性質タル、思想ヲ鍛練スルガ爲メニ十分ノ範圍ヲ開ク者ナルヲ以テ、從テ或ハ口ニ説キ、書ニ寫シテ、思想ヲ修述スルガ爲メニ十分ノ範圍ヲ開ク者タレバナリ。此等ノ級ニ於テハ又臨時演習ヲ授クルモ可ナリ、其目的ハ生徒既ニ講究セシ事目ニ關シテ有スル知識ノ深淺ト、種々ノ學科ニ於テ開示セシ原理ヲ配合參照スルノ能力ノ虛弱ト新奇ノ事物ニ會テ之ヲ辨知スル才能ノ高下トヲ檢討スルニ在リ。最後ニ言フ一事ニ對スル能力ハ、教育上ノ宿習ノ最モ緊要ナル者トス、何トナレバ是レ即チ生徒ヲシテ其在學ノ間ニ習ヒ得シ智心上ノ勢力ノ全体ヲ轉シテ其一生中ニ遭遇スル各般ノ事目ノ分解又ハ各般ノ事業ノ成功ニ施用スルヲ得シムル所以ノ者ナレバナリ」

大學ニ入ルノ準備ヲ爲サントスル者、又ハ古典科ノ初步ヲ修メント欲。

スル者ノ爲メニハ、羅句語學ヲ以テ構造語學ニ換ヘ、修辭學ヲ以テ第十級ノ英吉利文辭及ヒ第十二級ノ言詞ノ分解ニ換ヘ、第十二級ノ美術ノ歴史ニ換フルニ、哲學ノ歴史及ヒ一般ノ文學ヲ以テスベシ。初級十級第書學ハ中學科ノ各級ニ於テ繼續シテ日々之ヲ授クベシ。初級十級第ニ於テハ、書學中ニ遠近經營法、明晦法并ニ自然及ヒ人工ノ物体ヲ模寫スルコトノ練習ヲ包括セシム。第十一、十二ノ兩級ニ於テハ、此學科ヲ繼續シテ或ハ本眞美術ヲ教示シ、或ハ工業ノ一科ニ於テ用弁ベキ者ヲ教示スヘシ、但シ生徒各自ノ嗜好及ヒ事情ヲ酌量シテ其孰レニ付カシムベキヤヲ決スベキナリ、下等ノ諸級ニ於テ授クル所ノ豫備演習ハ、其孰レニ付クニ於テモ最モ善シトスルノ初步ナリ。此科ニ於テ授クル音樂ハ清淨且ツ高尚ニシテ精神ヲ感動スルニ適シタル調曲ヨリ成リ立ツベシ。又音樂ノ理學ヲモ其中ニ包括セシノ樂

器ノ誦讀法ヨリ順テ進テ進テ旋律ノ結合法ニ至ル迄ノ事ヲ教フベシ。

第十級

昭和文部省令第十四號ノ母
當中學科ノ第三年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

理學及ヒ哲學科

物理〇〇 物体ノ性質ヲ温習ス。重學上ノ勢力、槓杆、斜面、鐵棚、滑車、螺旋。引力即チ運動、加速動及ヒ減速動、摩擦力、壓体ノ理法、合力動等。水靜論、即チ水壓、機械上ノ利益、實例。水力學。氣學、即チ氣重、唧筒、晴雨計、滯尼、間歇泉等。音學、即チ空氣ノ波動、音ノ聲ノ傳達、音ノ反射等。國政〇〇 政府一般ノ性質、進化、血族ノ長ノ督制、即チ族長政治、最

強者即チ會長ノ督制—權力ヲ世襲シテ帝王アルニ至ル次第—貴族政治—寡頭政治—祭司政治—人民政治—共和政治。政府三重ノ性質—立法權—行政權—裁判權—合衆國憲法ノ分解。權力ノ本源所。政府ノ各部ノ權力及ヒ制限。市府政廳、郡政廳、州政廳及ヒ國政廳ノ章程。

語學科

讀方—ヂツケンス、サツカレイ及ヒワヨルヲ、エリヨットノ拔萃及ヒ略傳。三氏ノ著書ノ精神、論題、文態ヲ比較ス。
作文—現時ノ歴史ヲ以テ日々作文ノ基本トス。事實ハ教師之ヲ示シ、或ハ生徒チシテ書籍、雜誌、新聞ニ於テ搜索セシム。村內若シクハ郡內、若シクハ州內、若シクハ國內ニ於テ現ニ公衆一般ノ留心スル所ノ問題ハ何ソ。英吉利政黨—首倡—政治上ノ疑問—教育—文辭—

理學—工業等。佛蘭西、伊太利、日耳曼、露西亞等チ一々稽査シテ現時留心スル所ノ疑問ヲ究定シ、以テ新聞ノ報スル所ヲ十分ニ理會スルノ資トス。

數學科

羅句語—書寫作文ニ換ヘテ有志ノ生徒ニ研究セシム。
代數—一次方程式ヲ結了ス。

第二學期即チ冬期

理學及ヒ哲學科

物理學—熱理論—本源—勢力—蒸汽機關。電氣性質—之ヲ起スノ法如何—ボルテイク、ベック拔帝理—ガルバニツク、拔帝理—電氣機械—電氣性磁氣—天然磁石—電信機。光明—波動說—色—日光分析色—

光明ノ速力一玻璃鏡分析一光明ノ傳達一透鏡一光線曲折一光線反
射一平面鏡凹形鏡凸形鏡。眼一眼ノ機制及ヒ官能一視力。
万国史一古代詩文ニ見エタル鬼神誌。アリヤノ人種即チ其根原并
ニ傳播。開明ノ初步及ヒ始メテ開明ノ域ニ進ムニ最モ便利ナル事
情。印度埃及亞細利亞。信憑ス可キ歴史ノ端緒。バビロン、エ、ハ、ベ
亞細利亞。彌度及ヒ波斯帝國。希臘其編年紀其鬼神誌其文辭其美
術。羅馬其建國其進步其滅亡。羅馬ノ美術文辭及ヒ法律。羅馬ノ
滅亡ニ尋テ起リシ數世代ノ變動。

語學科

讀方一マコウレ、ソヨ、スチウアルト、ミル、カアライル、及ヒ、ラスキ
ソノ拔萃。其著書ヲ比較シ分類ス。
作文一此學期中ノ書寫作文ハ歴史科ニ於テ研究スル時代ノ事變ニ

關スル史論及ヒ修辭學ノ研究ヲ十分ニスルニ必用ナル演習ノミニ
限ルベシ。

修辭學一文章著述ノ体裁。字畫及ヒ其使用ノ理法。字畫ノ用法ヲ
示スニ足ル實例ノ文章中ヨリ搜索ス。字畫ヲ使用スル構成課業徒

習セシムル課業ヲ云フ。
羅句語一生徒ノ隨意ニ修辭學ニ替ヘテ之ヲ修メシム。

數學科

代數一二次方程式ニ至ル。

第三學期即チ春期

理學及ヒ哲學科

植物學一花ノ解剖及ヒ植物ノ分類。顯微鏡ヲ以テスル植物ノ研究。

二十種ノ植物ヲ採集シ、稽查シ、分類シ、保存ス。
万国史——中古ノ紛亂中ヨリ近代ノ國民ノ漸ク成リ出テシ次第。西班牙ニ起リシ、モスレム、帝國ノ權力。教法上ノ信仰ノ影響。宗教改革。印刷術ノ發明。亞米利加ノ發見。英吉利ニ於テノ立憲政府ノ起源。西班牙ノ權力ノ衰微。近代ノ佛蘭西、—專制政府—宗教戰爭—革命變動—尙武精神。伊太利及ヒ日耳曼ノ國体ノ團結。都兒格ノ權力、其起源、進步、滅亡。露西亞、其進步、及ヒ遺訓ニ係ル國是。

語學科

讀方——ウタルタル、スコット、コレリツヂ、ウオルズウオルス、ホウード、ラム、テニソンノ拔萃。其著書ヲ比較シ、分類ス。
作文——日々作文ハ史論及ヒ修辭學ニ關係スル演習ヨリ成リ立ツベシ。史論ハ須ラク左ノ如キ題ニ依ルベシ、トーマス、ア、ベツケット、ガ

リ、チ、ギ、ユー、テン、ベルグ、コルチリヤス、アグリッパ、ロベルド、ブルース、クリストフアル、コロンバス、ナボレオン、ボナバルト、フレデリック、ゼ、グ、レイト、ヒュシボルト、等ノ略傳。ローデフ島、コンスタンチノッブル、モルタ、グラナダ和蘭陀、サクスホルド大學校、ケヤムブリッヂ大學校、ボログナ大學校等ノ略歴。西班牙ノ、マルマダ艦隊、中古ノ通商組合、僧侶ノ會同等ノ紀事。

修辭學——文態ノ解剖。文態ニ關スル善長ナル好尚ノ法則。思想及ヒ修述ノ性質ニ基ツク批評ノ元素。思想ノ種々ノ部門ニ適シタル文態ノ優劣ヲ示スニ足ル實例。

羅句語——生徒ノ意ニ任シ修辭學ニ換ヘテ修メシム。

數學科

代數——代數ノ初步ヲ結了シ、溫習ス。代數ト算術トニ於テ用弁ル方

法及ヒ原理ノ比較。

第十一級

尋常中學校ノ第四年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

理學及ヒ哲學科

化學〇〇 普通金屬ノ形質ヲ溫習ス。稍、普通ナル金基抽類ヲ稽查ス。
 實驗ニ依テ化學上ノ結合ノ理ヲ教示ス、但シ生徒ヲシテ試驗ヲ實行
 セシムベシ。アルカリ性物、及ヒ酸性物、單純結合物。酸素及ヒ其結
 合。水及ヒ空氣、其成分及ヒ結合ノ如何。熱ノ化學上ノ結果生徒ヲ
 シテ自ラ施サシムル試驗ニ依テ限定比例ノ實例ヲ示ス。
 心理哲學〇〇 心意ノ諸能力ノ分解、各能力ノ特殊ノ官能及ヒ諸能力ノ

發育ノ順序。正當ナル順序ニ從テ此等ノ發育ヲ確保スルノ最善良
 法。心意ノ身軀ニ對スル關係、及ヒ他人ノ神經ニ對スル關係。知識
 ノ心意ノ發育ニ對スル關係。

語學及ヒ文詞科

英文詞課〇〇 英語ノ歷史上ノ觀測。ケルト語ノ元素、羅馬人侵入ノ時
 ニ入り來リシ羅甸語ノ元素、撒遜語ノ元素、噠馬語ノ元素、諾曼語ノ元
 素、及ヒ其他種々近代ノ本源ニ出ツル元素。古代文詞ヲ簡略ニ觀測
 シ、特ニチャウサルノ詩篇ニ注意ス。女王以利沙伯時代ノ文詞ヲ觀
 測シセクスピアヲ以テ中心ノ大家トス。セクスピアノ戯曲ノ二三
 篇ヲ教場ニ於テ朗讀センノ之ヲ情緒、思想ノ統一、及ヒ修述法ニ關シ
 テ分解ス。バイコンノ著書、及ヒ其理學ト、文詞トニ及ホセシ影響。
 作文〇〇 古代ノ英文詞並ニ心理哲學及ヒ化學上ノ演習ニ關係スル種

々ノ專目ヲ題トシテ文ヲ作ラシム。
羅○簡○語○——生徒ノ隨意ニ英文詞ニ換ヘテ修メシム。

數學科

幾○何○——幾何ヲ因物的ニ提出ス、而シテ當學期中ニ初メノ三卷ヲ結了シ、生徒ヲ導キ種々、命題ノ原造微理ヲ自身ニ已メ、工夫ヲ以テ爲スニ至ラシム。

第二學期即チ冬期

理學及ヒ哲學科

化○學○——分子論。限定比例ノ理法ノ實例ヲ十分ニ示ス。化學上ノ新名目ヲ教示シ應用ス。試驗ヲ以テ親和力ノ理法ヲ設定ス。化學上ノ反應、抱合。光明、電氣ノ化學上ノ結果。地味ノ化學。生活ノ化學

上ノ抱合ニ及ボス結果。有機化學—生長—醱酵—產物—敗腐。
必○理○哲○學○——教育ノ諸學科ヲ其各科ニ依テ發動セシメ得ベキ心意ノ能力ニ關シテ殘ラズ稽查ス。種々ノ職業及ヒ專門ヲ同様ニ稽查ス。此等ノ稽查ニ依テ一切ノ有爲思想ノ引指ト爲ル可キ普關理法ヲ設定ス。智心鍛鍊ノ全途ニ於テ諸學科ヲシテ占ノシムベキ地位ヲ教示ス。

語學及ヒ文詞科

英○文○詞○——「清淨教徒」ノ起源及其文詞上ノ影響。ミルトンノ著述及ヒ其將來ノ思想ニ及ホセシ結果。女王安時代ノ文詞アヤソン—雜誌—名—ボ—ー—プ—ノ—著—書—及—ヒ—其—ノ—影—響。ザミュエル、ジョンソンノ著作、文体及ヒ文詞ニ及ボセシ影響。ウチタル、スコット公—エ—ウ—ン—プ—ラ—評—論—者—バ—イ—ロ—ン。歴史家—

ヒューム、ギッボン、ロバートソン、ハラム、マコウレ、イ、フ、ル
イ、ド、日耳曼文詞ノ英人ノ思想ニ及ボセシ影響。今日ノ英文詞。
作文ニ文詞ヲ題トスルノ論文、及ヒ化學並ニ心理哲學ノ論文。
羅旬語ニ生徒ノ意ニ任シテ英文詞ニ換ヘテ修メシム。

數學科

幾何ニ第四、第五、及ヒ第六ノ卷ノ課業ヲ結了シ、生徒ヲシテ教科書ニ
載スル微理法ニ拘泥セズシテ、自ラ之ヲ原造セシム。

第三學期即チ春期

理學及ヒ哲學科

比較生理學ニ動物ノ劣等ナル者ヲ稽查ス。空中、水中、等ニ生活スル
極微動物。消化統系、呼吸統系、循環統系、神經統系、等ノ漸次分化スル

次第。動物ノ元型ニ射型動物、關節動物、軟體動物、有脊動物等ノ差別
アルニ從テ種々ノ統系ノ備フル所ノ形ニ差同アル事。植物類ト動
物類トノ活體ノ運營ノ比較。

植物學ニ每週二回ツ、授ク。十種ノ植物ヲ採集シ、分類シ、保存ス。
無花植物ノ特別研究。

道德哲學ニ道德ノ範圍ハ一ノ人ヨリ他ノ人ニ對スル一切ノ關係ヲ
包含スルモノナル事。道德上ノ行爲ノ基礎。人類ノ存在ニ依テ生
スル人類ノ所須。義務ノ權利ニ因テ生スル事。權利ノ所須ニ根原
スル事。反面本分及ヒ正面本分ノ由來。努力ノ必須、及ヒ人タル者
ノ各、盡スベキ努力ノ分量。清潔、秩序、節儉、明智ノ道德。勉強、保養、遊
戯、勞動、舞踏、抽圖、賭博、投機、亞耳箇兒性ノ酒類ヲ販賣シ、飲用スル事等
ニ關係スル道德ノ原理ノ分解。通商、政治、及ヒ一般ノ社會ノ交際ノ

上ノ道德。道德上ノ原理ヲ人生一切ノ事物ニ應用スル事。

語學科

言詞ノ分解 || アリアノ種ニ屬スル國語ノ歷史上ノ觀測。言詞ノ根元及ヒ其變轉。字母及ヒ音便ノ相通變交ノ普關理法。語頭及ヒ語尾—其變化及ヒ應用。結合及ヒ分派ノ理法ヲ解明スルニ足ル言語ヲ列記ス。英語ノ成長、其規則及ヒ理法。常語ノ來歷、即チ其根源及ヒ變轉ヲ實例ニ因テ明示ス。

作文 || 生理學及ヒ道德哲學ノ論文、及ヒ言詞分解ノ演習。

羅句語 || 生徒ノ隨意ニ言語ノ分解ニ換ヘテ修メシム。

數學科

幾何 || 初步幾何學ノ十卷ヲ結了シ、生徒ヲシテ前ノ二學期ニ於テノ如ク必要ノ圖形ヲ工夫シ、原造ノ課業ヲ窮究セシム。

第十二級

教育部省令第十四號ノ尋常中學校ノ第五年級ニ當ル

第一學期即チ秋期

理學及ヒ哲學科

地質學 || 主要ナル石屬ヲ溫習シ比較ス。石屬ノ指置及ヒ次序。火成石屬及ヒ水成石屬。地質上ノ勢力、即チ霜、霰、雨、雪、風、氷原、電氣、火山、地震等ニ因テ地球ノ表面ニ變化ヲ生スルノ作用。

論理學 || 歸納推論法及ヒ演繹推論法。二法ニ關スル心意ノ作用。推論ノ理法ヲ開示シテ討究、工業及ヒ百般ノ人事ニ應用ス。

數學科

美術史 || 古代ノ國民即チ埃及、印度、亞細利亞及ヒ希臘ノ美術ノ建飾

形狀、裝飾、並ニ彫像ニ現ハル、所ヲ示ス。自然ノ美術ハ自然ノ形狀及ヒ境遇ノ事情ノ結果ナル事自然ナチユラハ國民則チナシヨナノ誤植建築ニ現ハル、羅馬美術ゴシック美術、サラセン美術及ヒ東洋美術。詩歌ニ現ハル、埃及、エトルリヤ、希臘、支那、佛蘭西及ヒ英吉利ノ美術。繪畫。中古ノ大ナル畫流、伊太利派、フレイミンク派、西班牙派及ヒ和蘭陀派。佛蘭西及ヒ英吉利ノ畫家。音樂、其進化及ヒ數多ノ部門。伊太利及ヒ日耳曼ノ音樂。演說堂及ヒ奏樂堂。

數學科

三角術平面三角術ノ原理ヲ提出シ、實例ヲ舉示シ、實際ニ應用ス。

作文地質學及ヒ論理學ノ演習並ニ美術ノ論文。

羅旬語生徒ノ隨意ニ美術史ニ換ヘテ修メム。

第二學期即チ冬期

理學及ヒ哲學科

地質學石屬ヲ建造ス、珊瑚蟲ノ諸種ノ成積。地質上ノ變化ト有機的ノ活物トノ相互ニ及ボス結果。古生物學、即チ石屬中ニ見エタル古代ノ生物ニ關シテノ證據。地質上ノ變化ノ人類ノ歴史及ヒ情態ニ對スル關係。

星學星宿ノ位置及ヒ其相互ノ關係ノ觀察。他人ノ作セシ觀察ニ依テ位置及ヒ變化ニ關スル事實ヲ得ル事。星宿及ヒ主要ナル星ノ名稱。直昇、斜傾、及ヒ變位。

經濟學種々ノ工業ノ進化。開明ノ進步ニ關スル漸次ノ進化。開明ノ歴史ノ事實ノ研究ニ因テ進步ノ方向ニ關スル普關理法ヲ開示ス。工業ノ境遇ニ依テ異ナルノ度如何。種々ノ工業ヲ窮究スルニ

從ヒ分業及ヒ產物ノ改良アルニ至ル事。經濟及ヒ教育ノ點ヨリ定ムル分勞ノ制限。貿易ハ事情ノ差同ト分勞トノ必然ノ結果ナル事。固有ノ富資及ヒ交易上ノ富資并ニ之ヲ生スル法如何。

語學及ヒ文辭科

哲學史——古代國民ノ鬼神誌。鬼神誌漸ク轉シテ釋思上ノ信仰ト成ル事。希臘人ノ哲學統系——ソクレテース——プラトーン——アリストートル。古代ノ哲學ノ學派——エピキュリアン派——ストイック派。近代ノ哲學ノ再興。佛國哲學士——デガルト——コムト——クウザン——マールブランシ。蘇逸哲學士——スピノザ——カント——セルリグ——イゲル——フヒテ等。英吉利哲學士——ベイクン——ロック——スチユアルト——ハミルトン——ミル——スペンセル等。近代理學ノ起源及ヒ其哲學ニ及ボセシ影響。

作文——經濟學及ヒ哲學ノ論文。地質學及ヒ星學上ノ演習。
羅旬語——生徒ノ隨意ニ哲學史ニ換ヘテ修メシム。

數學科

三角術——圓形三角術其原理及ヒ應用。

第三學期即チ春期

理學及ヒ哲學科

星學——太陽統系ニ關シテ觀察シタル事實ニ因ル推度。地中論及ヒ天中論。太陽其位置其大小及ヒ其運動。惑星其大小相對ノ位置及ヒ運動。望遠鏡種々ノ惑星ノ表相及ヒ其說明。光線ノ速力。彗星——其特異ノ形狀及ヒ離中軌道。恒星ノ距離。星雲。其位置及ヒ表相世界ノ成長ニ關スル星雲思想星雲深聚シテ世界ヲ成フ恒星ノ運

助及ヒ衆天休ノ結合ニ關シテ稜三角玻璃鏡ノ分解ニ依テ得タル結果
經濟學——商業ノ漸次進化。商業運營ノ方策並ニ其成功ヲ致スノ要
狀。商業ニ從事スル事ニ關スル道德ノ原理。交易ノ媒介ノ必須此
ノ如キ媒介物ノ必ス備フベキ實質。貨幣其發行及ヒ融通。銀行
事業ノ進化。爲替銀行—貯蓄銀行—割引銀行。紙幣其必須及ヒ價
格ノ準度。貨幣ノ商業ニ對スル關係。資本及ヒ勞力二者ノ間ノ似
有ノ敵對。傭主及ヒ被傭者。政權ニ依テ起業ヲ督制スル事。株式
會社。資本ノ結合。商賈一致。職人一揆。其倫理及ヒ結果。此敵
對ヲ調停スル者知識ノ傳播ト公衆一般ニ經濟及ヒ道德ノ原理ヲ認
識スル事トノ外ニ無キ事。協同事業—其性質、歴史、及ヒ結果。

語學及ヒ文辭科

万國文辭學——古代國民即チ埃及希臘羅馬波斯印度及ヒ支那ノ文辭
ノ簡單ナル觀測。近世文辭ノ漸次興起及ヒ進步。理學上ノ研究及
ヒ有形上ノ改良ノ文辭ニ及ホセシ影響。世界ノ貴要ナル國々ノ文
辭ノ現狀。
作文——星學ノ演習及ヒ經濟ト万國文辭學トニ屬スル專目ヲ題トス
ル作文。

數學科

測量——幾何學及ヒ三角術ノ原理ヲ測量ニ應用ス。

第十五章
地方學校及ヒ其編制

◎地位ノ對比 〓 市府ニ在テモ、地方ニ在テモ、教育ノ目的トスル所
ハ一ナリ、然リト雖モ其事情ニ至リテハ相同シカラザル者アルガ故ニ、
學校ノ如キモ多少編制及ヒ全体ノ規模ヲ異ニセザル可カラザルコト
必然ノ理ナリ。市府ニ於テハ數多ノ生徒一地ニ集合スルヲ以テ、科級
ヲ編成シ、教師ノ勞力ヲ分割スルコト極ノテ易シト雖モ、地方ニ在テハ、
到底之ニ及フヲ難シ、且ツ資金ノ如キモ、地方ニ在テハ大ニ散亂セルニ
反シテ、市府ニ在テハ輻輳セルヲ以テ、校舍ノ建築及ヒ其他一切ノ教育
上ノ器用ニ關シテ利益地方ニ勝ルモノアリ。サリトテ又地方ニ於テ

モ得ル所無キニ非ズ、若シ地方ノ學校ニシテ措置善ク明智ニ稱ヘルハ
ハ其結果ノ優等ニシテ市府ノ學校ノ最モ高尙ナル標準トスル所ニ近
キヲ世人ノ意想ノ外ニ出ツル者アリ。
米國數多ノ部分ニ於テノ地方ノ學校ノ形狀ノ陋劣ナル所以ノ者一部
ハ固有ノ缺點ニ因リ、一部ハ偶發ノ原因ニ由ルモノトス。其固有ノ缺
點ハ、大ニ之ヲ改良スルヲ得ベク、其偶發ノ原因ニ出タル者ハ、特ニ地
方ニ屬スル一切ノ利益ヲ十分ニ弘張スル事ト其所需ヲ十分ニ酌量ス
ル聰明ナル管理法トニ依リテ之ヲ除クヲ得ヘシ。
利益 〓 地方ノ學校ノ教育上占ムル所ノ地位ニ屬スル利益ノ輕少
ナラザル事ハ、教授ノ方法漸次進歩シテ正理ニ合ヘルニ至ルニ從ヒ、世
人ノ益、明瞭ニ理解スル所ト爲ルベシ。地方ニ於テハ材料ニ資金ヲ費
サズシテ一切ノ初等教育ノ基本タル博物學上ノ課業ヲ授クルヲ得

ベシ、而シテ生徒日々直チニ「造化」ニ接スルガ故ニ、此課業ヲシテ興アリ
 利アラシメ得ヘキコト市府ニ二倍ス。且ツ心意成長ノ作用ハ遅々タル
 者ニシテ、發動ノ時ト静息ノ時ト相次テ出テノコトヲ要セリ。然ルニ市
 府ニ在テハ轟々擾攘絶エズ、動搖斷エザルニ因リ、只タ心意ノ發動ヲ誘
 促スルノミ、之ヲシテ静息ノ機會アラシメズ、此機會ハ獨リ地方ニ於テ
 悉ムルノ外無シトス。心意ノ能力ヲ醒起スルノ方策ヲシテ正當ナラ
 シムルノ準備ニ缺乏無クシテ、心意ヲシテ健全ニ成長セシムルニ必要
 ナル事情ハ却テ地方ノ學校ニ於テ多ク存スルモノナリ。然リト雖モ
 亦教師タル者ハ宜ク注意シテ生徒ノ思想ヲ活潑ナラシメ、以テ或ハ知
 覺ノ習練不足スルヨリ心意ノ停滯ヲ來シ、或ハ經驗不足スルヨリ偏狹
 ニ流ル、等ノ事ヲ豫防セザル可カラズ。
 田舎ノ生活ニ屬スル今一ノ利益ニシテ學者ヲ養成スルノ効アル者ハ

實業學術相共ニ授ケ得ヘキ專是レナリ。田舎ニ於テハ、男兒ノ爲メニ
 モ女兒ノ爲メニモ、學フヘキ物ノルト同時ニ又爲スヘキ事アラザルハ
 無シ、是ヲ以テ若シ正當ナル制限ヲ守テ實業ヲ授ケ、之ヲ過度ニシテ疲
 勞ヲ招クカ如キコト無キトキハ、必ス以テ智心上ノ活潑ヲ添フル原因ノ
 一ト爲スコトヲ得ヘシ。市府并ニ地方ノ學校ノ教育ノ事ヲ經驗セシ教
 師ハ、皆舉テ市府ノ生徒ニ比スレバ地方ノ生徒コソ課業ニ熱心シ且ツ
 一定ノ歲月ノ間ニ進歩スルコト一層較著ナルヲ保証セリ。此事タル、必
 ス一部ハ地方ノ學校ニ於テ授ケル實業ノ、銳意ト克壯トヲ起スニ適シ
 タルト、一部ハ其學期ノ、市府ノ學校ノ學期ニ比スレバ短キトニ因ルコ
 トアラザルヲ得ズ。

有名ノ生理家タリ、醫士タル「ドクトル」セグイン氏ノ主持スル所ニ依レ
 バ、戶外ノ勉強コソ身體ノ健康、心意ノ活潑ヲ促進スルニ最モ大功アル

モノナリ。氏以爲ク、生徒ヲシテ尙ホ甚タ幼少ナル時ヨリ、直チニ「造化」ニ接セシムベク、苟モ戶外ニ於テ授ケ難キニ非ザル課業ハ、必ス之ヲ戸内ニ於テ授クベカラズト、而シテ市府ニ於テハ此企圖ヲ實行セシガ爲メニ、公園ヲ轉シテ教育上ノ一大設管ト爲シ、此ニ於テ生徒ヲシテ直チニ「造化」ニ當テ講究セシムルノ策ヲ主張セリ。此策タル假令現時ニ實行セシ難キモノナリトスルモ、到底教育上甚タ必要ナル改革ノ方向ヲ指示スル者ナルヲ疑テ容レズ。然ルニ地方ハ初ヨリ斯クノ如キ改良教育法ニ緊要ナル事情ヲ備フルコト市府ニ比スレバ遙ニ大ナリ、サレバ先ツ地方ノ學校ヨリ着手シテ斯ル考案ヲ實地ニ施行セント計ルコト至當ノ義ナレト信ス。

缺點 || 地方ノ學校ニ本來附着スル不利中ノ最モ著大ナル者ハ他無シ、生徒ノ員數僅少ナルガ爲メニ、正當ナル科級編成法ヲ施スニ由シ

無キ事是レナリ。年齢及ヒ學力ノ種々相異ナル生徒同一ノ教場ニ來集シテ、互ニ進歩ノ機會ヲ妨碍シ、初學ノ授業モ高等ノ授業モ同時ニ施行スルガ故ニ、互ニ相支障シ、又教師タル者モ、其力ヲ用弁ルノ範圍甚タ汎濫ナルガ爲メニ、何レノ一科ニ於テモ熟練ニ至ルコト無ク、孰レノ級ニ對シテモ十分ノ効績ヲ見ルコト能ハザルナリ。凡ソ斯クノ如キ弊害ハ、地方ノ學校ノ性質ニ於テ到底避ケ難シトスル所ナリト雖モ、其之ニ因テ生スル不良ナル結果ニ至リテハ、編成法及ヒ管理法ヲシテ宜シキヲ得シムルニ因テ之ヲ減省セシコト亦難キニ非ザルナリ。

監督委員 || 地方學校ノ編成タル種々ナリト雖モ、其成功特ニ顯著ナル者ハ、例ヘバ一郡ノ内ニ在ル數ヶ所ノ學校ヲシテ、一箇ノ監督委員ノ指揮スル所ヲラシムルノ法是レナリ。此法ノ各地方ニ委員ヲ置クノ法ニ勝レル所以ノ者多シ、一ニ處置更ニ善ク明智ニ合ヘル事、二ニ一